

シク其手段ハ電信ノ柱木器械等ヲ損壞シトアルヲ以テ之ヲ損壞セスシテ金屬其
 他誘導性アル物質ヲ以テ電氣ヲ他ノ方向ニ導ク等ノ場合ヲ罰スルヲ得ス又第百
 六十五條ハ詐欺ノ標識ヲ指示シタル場合ヲ包含セシムルニ由ナカラン
 第二、立法官ハ斯ク犯罪ノ手段ヲ特定シ置キ而シテ其手段タル所爲ニシテ故意
 アル以上ハ交通妨害ノ結果ニ對シテハ故意ノ有無ヲ問ハスシテ之ヲ罰セントセ
 シカ故ニ法律ノ保護スヘキ主眼タル所爲ノ結果ヲ罰スルニハ故意ニ出ルト過失
 ニ出ルトヲ區別セス同一ノ刑ニ處セサルヘカラサルノ不權衡ヲ生セリ即第百六
 十條ハ道路橋梁等ヲ損壞スルノ所爲ニシテ苟モ故意アル以上ハ往來ヲ妨害スル
 ノ故意アルト否トヲ問ハスシテ只其結果ノ生シタル時ニ於テ此罪ヲ構成シ第百
 六十四條モ亦電氣ヲ不通ニ致スノ結果ニ付テハ故意ノ有無ヲ問ハス更ニ進テ第
 百六十九條ニ至リテハ故意ナキモ尙無期徒刑若クハ死刑ノ重刑ヲ以テ處斷スヘキ
 重罪ト定メテリ豈其罪ニ比シテ不權衡ト云ハサルヘケンヤ
 第三、立法官ハ斯クノ如ク往來妨害ノ結果ニ付テハ故意ノ有無ヲ問ハサルモノ
 ト定メテ第百七十條ニ於テハ此罪ハ輕罪ヲ犯セントシテ未ダ遂クサル場合ト

雖モ仍ホ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷スヘキコトヲ定メタレトモ故意ナキ犯罪即
 チ過失罪ニ未遂犯ナキハ三歳ノ童子ト雖モ已ニ經驗スル所タルヘキヲ以テ此罪
 ニ就テモ亦未遂犯罪ヲ罰スルハ單ニ故意アル場合ニ限ラサルヲ得ス設例ヘハ往
 來ヲ妨害スルノ意ヲ以テ道路ヲ損壞シテ現ニ往來ヲ妨害シタルトキハ其未遂犯
 チ問フコトヲ得ヘキモ道路ヲ損壞シタルカ爲メ豫メ期セサル所ノ往來妨害ノ結
 果ヲ生シタルトキハ罰スヘキ未遂犯ナカルヘシ第百六十四條及第百六十九條ノ
 場合ニ於テモ亦同一理ニ歸スヘシト雖モ第百六十四條第二項ハ故意ナキ場合ニ
 就テハ結果ノ不通ニ至ラサルモノヲ罰シ故意アル場合ニ就テハ未遂犯ノ特例ヲ
 設ケタルモノト解釋セサルヲ得ス
 以上講述シタル所ハ往來通信ヲ妨害スル罪ニ關スル現行法ノ性質ニシテ他ノ文
 明諸邦ニ於テ其比ヲ見サル所ノ一大奇觀ナリ然レトモ此等異常ノ要點ニシテ已
 ニ明カナルトキハ此罪ニ就テハ特ニ詳述ヲ要スルモノナキヲ以テ左ニ現行法律
 ノ規定ヲ立サム
 一、道路橋梁河溝港埠ヲ損壞シ因テ往來ヲ妨害シ又ハ偽計威力ヲ以テ郵便ヲ妨

害シ若クハ阻止シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第百六十二條及第百六十三條往來ヲ妨害シ因テ人ヲ殺傷シタルトキハ毆打創傷ノ例ニ照シ重キニ從フ(第百六十八條)

二、電信ノ器械柱木ヲ損壞シ又ハ條線ヲ切斷シ電氣ヲ不通ニ致シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其電信ヲ妨害スルモ不通ニ至ラサルモノハ一等ヲ減ス(第百六十四條)

三、往來ヲ妨害スル爲メ鐵道及其標識ヲ損壞シ其他危險ナル障礙ヲ爲シ又ハ航海ノ安寧ヲ保護スル標識ヲ損壞シ若クハ詐僞ノ標識ヲ點示シタルモノハ重懲役ニ處ス(第百六十五條及第百六十六條)仍テ汽車ヲ顛覆シ又ハ船舶ヲ覆没シタル時ハ無期徒刑ニ處シ人ヲ死ニ致シタルトキハ死刑ニ處ス(第百六十九條)

四、第百六十二條乃至第百六十六條ノ罪ハ其事務ニ關スル人自ラ犯シタル時ハ各本刑ニ一等ヲ加フ(第百六十七條)

第三章 商業及農工ノ業ヲ妨害スル罪

商業及農工ノ業ヲ

妨害スル罪

抑モ商業及農工ノ業ヲ妨害スル者ヲ罰スル所以ハ全ク經濟上ノ理由ニ出テタルモノニシテ商工業ノ自由ヲ保護セントスルニアリ而シテ此犯罪ヲ構成スルノ手段ハ偽計若クハ威力ノ二者トス但シ物品ノ價格ヲ昂低スルノ罪ハ虛偽ノ風説ヲ流布スルニ依テ構成セラル、モノナリ

此犯罪ヲ構成センニハ一般ニ故意アルヲ以テ充分ナリトスレトモ第百七十條及第百七十一條ノ場合ニ於テハ雇賃ヲ増減シ又ハ農工業ノ景況ヲ變更セシムルノ意思アルヲ要ス而シテ此犯罪ニ依リ損害ヲ蒙ル所ノ物體タルモノハ賣買ノ自由、糶賣入札ノ自由、及農工業ヲ營ムノ自由ナリトス其物體ノ區別ニ依リ刑罰ニ輕重アルコト左ノ如シ

(一)衆人ノ需用ニ欠クヘカラサル食物ノ賣買ヲ妨害スル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但シ日用欠クヘカラサル食料品以外ノモノニ係ルトキハ一等ヲ減ス(第百六十七條)

茲ニ所謂衆人ノ需要ニ欠クヘカラサル食料品トハ如何ナルモノヲ云フ乎我邦ニテハ米麥ノ如キ之ヲ必要ノ食料ト云フテ可ナリ然レトモ米麥若クハ牛

肉ヲ食セスモテ尙ホ他ニ生活ノ方法アルヲ見レハ到底右ノ條文ハ曖昧タルヲ免レサルナリ又偽計ヲ以テ食料品ノ賣買ヲ妨害スルトハ如何ナルコトヲ指シヤ之ヲ想像スルニ由ナシ故ニ實地ノ適用ニ際シテハ稍困難ヲ感セサルヲ得サルヘシ

(二) 農工ノ業又ハ糴賣若クハ入札ヲ妨害スルモノハ十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第二百六十八條、第二百六十九條)

農工ノ業ヲ妨害スルトハ大工ノ鉋ヲ掛クルヲ妨害スル如キ所爲ヲ云フニアラス世上ニ於テ一ノカトシテ現ハル、所ノ農工業ヲ妨害スルヲ云フナリ

(三) 農工ノ雇人其雇賃ヲ増シ若クハ雇主ニシテ其雇賃ヲ減シ又ハ農工業ノ景況ヲ變スル爲メニ妨害スル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第二百七十條、第二百七十一條)

(四) 虚偽ノ風説ヲ流布シ衆人需用品ノ價直ヲ昂低セシメタルモノハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス(第二百七十二條)

公務ヲ行フコトヲ拒ム罪

第四章 公務ヲ行フコトヲ拒ム罪

公務ヲ行フコトヲ拒ム罪ハ刑法第七十九條乃至第八十一條ニ規定セラル、モノヲ云フ其他第七十七條及第七十八條モ亦此罪ノ内ニ列セラル、ト雖モ此二ヶ條ノ犯罪ハ公務ニ對スルモノニアラサルヲ以テ余ハ之ヲ他ノ章ニ於テ講述セントス

醫師化學家其他専門ノ職業アル者官署ヨリ其職業上知り得ヘキ事實又ハ其他ノ者ト雖モ裁判所ヨリ證人トシテ其知了シ得タル事實ヲ陳述スヘキコトヲ命セラレ故ナク之ヲ肯セサル者ハ公務ヲ行フコトヲ拒ムノ罪ヲ犯シタルモノトス此罪ニ關シ注意スヘキ要點左ノ如シ

第一、此犯罪ノ主体タルモノハ醫師化學家其他特ニ専門ノ職業アル者及何人ト雖モ裁判所ヨリ證人トシテ召喚セラレ其宣誓ヲ爲シタル者ナルヲ要ス

第二、右等ノ者ノ陳述ヲ命セラレタル事實ハ其職業上知り得ヘキモノナラザルヘカラス換言スレハ裁判官ニ於テ右ノ者等カ知り得ヘカラサル事實ノ陳述ヲ命シ之ヲ罰スルヲ得サルナリ故ニ證人トシテ召喚セラレタル者ニ對シ刀ニ附着セ

ル赤キモノハ血塊ナルヤ否ヤノ分析ヲ命スルヲ得ス又化學家ニ對シテ創傷ノ鑑定ヲ命スルヲ得サルナリ

第三、此犯罪ハ故ナク陳述ヲ肯セサルトキニ於テ始メテ成立スルモノトス而シテ故ナクトハ職業上知り得タル事實ナルニ之カ陳述ヲ肯セサルヲ云フ茲ヲ以テ職業上知り得ヘカラサル事實又ハ法律上陳述ヲ拒ムコトヲ得ヘキ場合ニ於テ其陳述ヲ肯セサルハ故ナキニアラサルナリ

第四、我刑法ハ陳述ヲ命シタル事實ノ種類ニ依リ其刑罰ヲ異ニセリ即チ解剖分析又ハ鑑定及證據ノ陳述ヲ肯セサルトキハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處シ傳染病流行ノ際等ニ當リ病患ヲ検査シ或ハ消毒ノ方法ヲ陳述スルコトヲ肯セサルトキハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス其獸類傳染病ニ係ル場合ハ一等ヲ減ス(第百七十九條乃至第百八十一條)

第五、我刑法ニ於テハ徵兵ヲ忌避スル罪ヲ以テ此犯罪中ニ列スルト雖モ其性質稍異ナル所アリ加之既ニ徵兵令ヲ以テ之ヲ改正セラレタレハ茲ニ講述ノ勞ヲ取ラサルヘシ(第百七十八條)

公ノ信用ヲ害スル罪
貨幣偽造變造ノ罪

第五章 公ケノ信用ヲ害スル罪

第一節 貨幣ヲ偽造スル罪

第一 貨幣偽造變造ノ罪

貨幣ヲ偽造スル罪ハ往々之ヲ政府ノ造幣權ヲ傷害スルモノトシ之ヲ國家ニ對スル犯罪ノ内ニ列スルノ論者アリト雖モ是必竟皮相ヨリ此犯罪ヲ觀察シタルニ過キス且外國ノ貨幣ニシテ内國ニ通用ヲ許シタルモノニ對シテモ尙ホ偽造罪ヲ構成スルコトヲ得ヘキモノナルカ故ニ實體上ヨリ之ヲ公ケノ信用ヲ害スル罪ノ内ニ列スルヲ以テ其當ヲ得タルモノトス

此罪ハ我刑法第百八十二條乃至第百九十一條ニ於テ規定セラル、モノニシテ此九ヶ條ニ就テハ諸君カ熟讀スヘキ點居多ナリトス

物体 貨幣トハ一國ノ政府カ准了シタル交換ノ手段ヲ云フ (Means of exchange) 准了トハ其國ノ政府カ交換ノ手段タルヘキコトヲ許容スルヲ云フナリ故ニ交換ノ手段トシテ使用セサルモノハ金銀銅塊若クハ紙片タルニ過キス又交換ノ手段トシテ使用スルモ政府ノ准了シタル者ニアラサル外國ノ貨幣若クハ其他ノ物品ハ

之ヲ貨幣ト云フコトヲ得サルナリ故ニ天保通寶十錢紙幣其他小判ノ如キハ之ヲ偽造スルモ貨幣偽造ノ罪成立スルコトナシ借其交換ノ手段ノ物質ニ至テハ各國多少ノ差異ナキニアラスト雖モ概シテ金銀銅若クハ「ニツケル」ノ如キ金屬ヨリ製造セラレ及紙幣若クハ免許ヲ得テ發行スル銀行ノ紙幣ノ如キ非金屬ヨリ製造セラレタルモノヲ使用ス

所爲 此犯罪ノ所爲タルニハ偽造或ハ變造ヲ以テ充分ナリトスレトモ或場合ニ於テハ尙ホ其偽造貨幣ヲ行使スルヲ要ス故ニ偽造變造及行使ノ三者ニ就テハ學者間議論紛々甲論乙駁未ダ正當ナル說ヲ得サルノミナラス我刑法上ヨリ云ハハ其區別劃然タラサルモノアリ是ヨリ余ハ學理的ニ此三者ヲ論述シ次ニ我刑法ノ規定ノ何タルヤヲ講述セントス

(一)偽造及變造ノ區別ヲ論ゼンニハ貨幣自体ノ眞實 (Verity of the currency itself) ト貨幣ノ價值ノ眞實トヲ區別セサル可ラス貨幣自体ノ眞實トハ眞確ナル官署ノ證明シタル定形ヲ云ヒ價值ノ眞實トハ實價 (Intrinsic value) ヲ聲價 (Nominal value) トノ二者ノ符合スルヲ云フ而シテ實價ト聲價ト相符合セサルノ一事ハ貨幣自体

ノ眞實ヲ失フコトナシ例ヘハ我政府カ金七分及銀若クハ銅三分ヲ以テ一圓ノ金貨ノ成分ト規定シタリトセンニ若シ造幣局ニ於テ鑄造セル一圓金貨ニシテ金六分及銀若クハ銅ノ四分ニ依リ成立スルコトアルモ其金貨ハ敢テ貨幣形体ノ眞實ヲ害シタルニアラスシテ其實價ト聲價ニ變更アルモノナリ此點ヨリ觀察スレハ貨幣自体ノ眞實ト其價值ノ眞實トノ二者ハ其間劃然タル區別ノ存スルコトヲ知ルニ足ルヘシ

右ニ述ヘタルカ如ク實價及聲價ノ相符合セサルコトハ貨幣ノ眞實ヲ害スルコトナシト雖モ價值ノ完全即チ實價及聲價ノ相符合スルノ一事ハ以テ眞實ナラサル貨幣ヲ眞實ナラシメ又通用授受ノ不完全ヲ消滅セシムルコトヲ得サルナリ蓋通用授受ノ安全ハ全ク貨幣ノ眞實ナルト然ラサルトニ關係スルヲ以ナリ

(二)偽造トハ貨幣自体ノ眞實ヲ模擬即眞實ナル其貨幣ノ製造ヲ云ヒ變造トハ貨幣ノ價值ノ眞實ヲ紊スヲ云フ換言スレハ實價及聲價ノ間ニ差異ヲ生セシムルハ即チ變造ナリ例ヘハ我造幣局ノ鑄造シタル一圓金貨ノ縁ヲ削リ或ハ其一部ヲ截斷スルトキハ其量ニ差異ヲ生シ實價ヲ減シテ聲價ト齟齬スルニ至ラシメタ

ルモノナルヲ以テ即チ變造ナリトス故ニ偽造シタル貨幣ノ成分ニシテ縱令政府規定ノ價值ニ符合スルト雖モ敢テ其偽造タルヲ妨ケズ又其偽造サレタル貨幣ノ物質ニシテ造幣局鑄造ノモノヨリハ一層純良ナルコトアルモ是亦偽造タルヲ免レス何トナレハ右ノ二者ハ等シク政府ノ准了シタルモノニアラスシテ一私人ノ鑄造シタルモノナルカ故ニ貨幣自身ノ眞實ヲ紊亂シタルモノナレハナリ

今例ヲ擧ケテ之ヲ説明センニ前述セル如ク我政府ニ於テハ金七分及銀或ハ銅ノ三分ヲ以テ一圓金貨ノ成分ト規定シタリト假定シ茲ニ甲者アリ此量ニ從ヒ金塊銀塊ヲ以テ一圓金貨ヲ造リタルトキハ又若シ甲者ニシテ金九分及銅一分ヲ以テ一圓金貨ヲ鑄造シタリトセハ是即チ眞正ノ貨幣ヨリハ一層純良ナルモノナリト雖モ尙ホ偽造罪タルヲ免レサルモノトス何トナレハ二者共ニ貨幣ノ眞實ヲ紊レハナリ

又他人カ既ニ偽造シタル貨幣ヲ偽造スル者アルトキハ是亦偽造罪ニ問フヘキモノトス何トナレハ其模擬セントスル所ノモノハ即チ眞實ノ貨幣ナルヲ以テ

ナリ

變造ハ金銀銅貨等ノ如キ金屬ノ貨幣ニ對シテ之ヲ行フコトヲ得ルニミ紙幣ノ如キ非金屬ノ貨幣ニ對シテハ決シテ之ヲ行フコトヲ得サルナリ何トナレハ變造ナルモノハ實價及聲價ノ間ニ差異ヲ生セシムルノ謂ナルニ紙幣ハ一ノ實價ヲ有セサルヲ以テナリ故ニ紙幣ニハ偽造アルノミニシテ變造ハ行ハレサルモノトス例ヘハ貳十錢ノ紙幣ヲ取り貳ノ字ヲ改メテ五トシ其色ヲ青クシタリトセンニ之カ爲メ其紙幣ノ量ニ變更ヲ生シタルコアラサルヲ以テ之ヲ變造ト云フヲ得サルナリ然ラハ斯ノ如キ所爲ハ法律ノ罰スル所ニアラサルヤト云フニ法律ハ之ヲ以テ偽造ノ罪ヲ犯シタルモノトスルヲ得ヘシ然レトモ此點ニ就テハ學者間議論紛々或ハ之ヲ變造ナリト論シ或ハ之ヲ偽造ナリト論スルモノアリ彼ノベルネル氏ノ如キハ千圓ノ紙幣ヲ一万圓ノ紙幣ニ偽造スルノ所爲ヲ以テ九千圓ノ偽造ヲ爲シタルモノト論セリ然レトモ余輩ハ斯ノ如キ說ニ感服スルヲ得ス余輩ハ斯ル場合ニ於テ原体ノ千圓紙幣ヲ以テ一万圓ヲ偽造スルノ材料ニ供シタルモノナリト論スルニ於テ躊躇セサルナリ

次ニ偽造ハ如何ナル點ニ達スルヲ要スルカノ問題ヲ論究セントス
 諸君ハ夜中街衢ヲ散步セラレ、ニ當リ路傍ニ砂糖ヲ以テ製造シタル十錢札或
 ハ一圓札ヲ賣ル者アルヲ目撃セラレタルコトアルヘシ斯ノ如キ札ハ之ヲ目ス
 ルニ偽造紙幣ヲ以テスルコトヲ得ヘキカ否ナ未タ之レヲ以テ一般ニ通用シ得
 ラルヘキ程度ニ至ラサルヲ以テ之ヲ偽造トスルヲ得サルコト猶ホ金拾圓ナル
 文字ヲ記載シタル紙片ヲ以テ偽造紙幣トスルヲ得サルカ如シ然ラハ模擬ノ標
 準ハ如何ナル點ニ於テ存スルヤト云フニ通常人カ其偽造貨幣ヲ以テ眞實ノ貨
 幣ナリト思惟シ之ヲ通用スルノ程度ニ至レハ是即チ模擬シタルモノト云フヲ
 得ヘシ

(三)銅貨ニ金銀ヲ鍍シ銀貨ニ金ヲ鍍スルノ所爲ハ變造ナルカ如シト雖モ余輩ハ此
 所爲ヲ以テ變造ニモアラス又偽造ニモアラスト論斷セントス何トナレハ此所
 爲タルヤ敢テ貨幣ノ眞實ヲ害セス又其價值ヲ損セサルモノニシテ銅貨ニ金銀
 ヲ鍍スルモ純然タル銅貨ナリ銀貨ニ金ヲ鍍スルモ純然タル銀貨ナレハナリ然
 レトモ其鍍金シタル貨幣ヲ金銀貨ニ擬シテ行使シ物品ヲ買フトキハ詐欺取財

ヲ以テ論スヘキノミ然レトモ單ニ銅貨又ハ銀貨ニ鍍金スルノミナラス之レニ
 加フルニ其貨幣ノ文字ト形狀ヲ改メ世人ヲシテ之ヲ金貨ト誤認セシムル迄ニ
 加工スルトキハ偽造罪ヲ構成スヘシ之ヲ要スルニ鍍金ニシテ貨幣ノ眞正ヲ模
 擬シ何人ト雖モ之レヲ金銀貨トシテ授受スルノ度ニ達シタルトキハ偽造タル
 ヘキモ變造タルコトナシ語ヲ換ヘテ之ヲ言ヘハ鍍金ノ所爲ハ往々偽造タルヘ
 キモ決シテ變造タルコトナシ

(四)現行刑法ニ於テハ金銀貨ノ偽造若クハ變造ト銅貨ノ偽造若クハ變造トハ大ニ
 其刑罰ヲ異ニスヲ以テ其區別ニ就テハ學者ノ議論ヲ惹起セシコト屢々ナリ則
 チ銅貨ニ銀ヲ鍍シタルモノハ銅貨ノ變造ナリヤ若クハ銀貨ノ偽造ナリヤ又銀
 貨ニ金ヲ鍍シタルモノハ銀貨ノ變造ナリヤ或ハ金貨ノ偽造ナリヤノ問題ナリ
 予ノ考ニヨレハ銅貨ニ鍍銀シタルモノハ銀貨ノ偽造ヲ以テ論スヘク銀貨ニ鍍
 金シタル者ハ金貨ノ偽造ヲ以テ論スヘキ者ト信ス何トナレハ其犯人ノ模擬セ
 ントスル者ハ銀貨若クハ金貨ニシテ銅貨及銀貨ハ之ヲ偽造ノ材料ニ供シタル
 ニ過キサレハ他ノ銅若クハ銀ヲ以テ製シタルト敢テ異ルコトナケレハナリ

以上ハ理論上ヨリ偽造及變造ノ區別ヲ論究シタルモノナリ我刑法ヲ註釋スルノ學者多クハ此區別ニ就テ一ノ確說ヲ提出スル能ハス却テ素人考ヲ以テ偽造ハ新タニ貨幣ヲ造ルヲ云ヒ變造ハ既ニ鑄造シタル貨幣ヲ變更スルヲ云フト謂ヘリ故ニ此說ニ從ヘハ一圓金貨ノ一字ヲ改メテ五ノ字ト爲スカ如キハ即チ變造ナルナラシ然レトモ余ヲ以テ見レハ斯ノ如キノ定義ハ康熙字典ヨリ取リ來リタル字引的ノ解釋タルニ過キスシテ敢テ取ルニ足ラサルモノト信スルナリ又實際ノ斷例ニヨレハ情狀輕キモノハ變造トシ其重キモノヲ偽造トスルカ如シ例ヘハ十圓ノ銀行紙幣ヲ百圓ニ改ムル所爲ノ如キハ之ヲ偽造トセリ然レトモ是亦不當ノ區別タルヲ免レス

(五)我刑法ニ於テハ偽造變造ノ所爲ヲ罰スルノミナラス仍ホ之レヲ行使シタル者ハ更ニ重キ罪トシテ之ヲ罰スヘキモノト規定セリ然ラハ行使トハ如何ナルコトヲ指スカト云フニ例ヘハ五厘ノ銅貨ニ鍍銀シテ何人モ之ヲ廿錢ノ銀貨ト誤認スルマテニ加工スルモ或ハ之ヲ以テ賣買ノ手段トナシ或ハ之ヲ貨幣トシテ他人ニ附與スルニアラサレハ未ダ以テ行使シタルモノニアラサルナリ故ニ行

使トハ犯人カ其目的ヲ達シタルト否トナ問ハズ其偽造シタル貨幣ヲ貨幣トシテ通用セシムルヲ云フニ在リ

犯意一此罪ハ特ニ惡意ヲ必要トス即チ單ニ偽造若クハ變造ノ故意アルヲ以テ足レリトセス飽迄モ眞實ノ貨幣トシテ之ヲ通用セシムルノ惡意アルヲ要スルナリ茲ヲ以テ更ニ通用セシムルノ意思ナク唯博物館ニ出シテ衆人ノ觀ニ供セント欲シ金貨ヲ摸造スルカ如キハ偽造罪ヲ以テ問フヘキモノニアラス又商業學校等ニ於テ實踐科用ノ爲メ貨幣ヲ摸造スルモ是亦通用セントスル意思ヲ欠クモノナレハ偽造罪ハ成立セサルヘシ

刑罰 此犯罪ニ依テ損害ヲ蒙ル所ノ物体ノ種類及偽造若クハ變造ノ差別ニ依リ刑罰ニ輕重アルト左ノ如シ

(甲)偽造變造シテ行使スル罪

(イ)金銀貨及政府並ニ銀行紙幣ヲ偽造スルモ若クハ無期徒刑ニ處シ之ヲ變造スルモノハ輕懲役ニ處ス(第百八十二條及第百八十四條)

(ロ)外國ノ金銀貨及外國銀行紙幣ヲ偽造スルモノハ有期徒刑ニ處シ之ヲ變造スル

モノハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス(第百八十三條及第百八十四條)
(ハ)内國ノ銅貨ヲ偽造スルモノハ輕懲役ニ處シ之ヲ變造スルモノハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス(第百八十五條)

(乙)偽造變造ノ罪

(ニ)貨幣ヲ偽造若クハ變造スルモノ未ダ行使セサルモノハ前項ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス(第百八十六條)

(丙)偽造變造シテ未ダ成ラサル罪

(ホ)偽造變造罪ノ未遂犯及中止犯ノ場合ニ於テハ前例ノ區別ニ從ヒ各々二等ヲ減ス(同上)

(丁)偽造ノ器械ヲ豫備スルノ罪

(ハ)偽造ノ器械ヲ豫備シタルトキハ前例ニ倣ヒ三等ヲ減ス(同上)但シ其他ノ豫備ハ總則ニ從ヒ法律ノ罪トスルモノニアラス
既遂及未遂 未遂犯ハ刑法ノ總則ニ從ヒ右ニ列舉シタル(イ)ヨリ(ハ)マテノ刑ヨリ一等又ハ二等ヲ減シタルモノヲ以テ本刑トス又第百八十六條ノ場合ハ必スシモ

未遂犯ノ特例ヲ示シタルモノニアラス蓋偽造變造ノ所爲ハ獨立セル一ノ犯罪ナルヲ以テ法律ハ偽造變造シテ行使シタルモノ、刑ニ一等ヲ減スヘキ旨ヲ定メタリト雖モ是特ニ一個ノ刑ヲ配當スルノ代リニ一等ヲ減スト記載シタルモノニ外ナラス偽造ノ罪ハ偽造シテ行使シタル罪ノ豫備ニアラス又其未遂犯ニモアラサレハ恰モ先ツ偽造變造ノ罪ニ對スル刑ヲ定メ偽造變造シテ行使シタルモノハ一等ヲ加フヘキモノト定メタルニ異ナラス茲ニ以テ(イ)ヨリ(ハ)ニ至ル各場合ニ於テハ行使ニ着手シタルトキヲ以テ其未遂トシ(ホ)ノ場合ハ(ニ)ノ未遂犯ノ特例ヲ規定シタルモノト解釋セサルヲ得ス何トナレハ未遂犯ノ未遂犯及中止犯ノ未遂犯ハ法理上之ヲ推定スルヲ得サルヲ以テナリ

偽造貨幣
ヲ受取行使
タルノ
罪

共犯 我刑法ハ貨幣偽造罪ニ付キ共犯ノ特例ヲ設ケタリ即チ其情ヲ知テ雇ヲ受ケタル職工ハ各一等ヲ減シ職工ノ補助ヲ爲シテ雜役ニ供シタル者ハ更ニ一等又ハ二等ヲ減シ房屋ヲ給與シタル者ハ二等ヲ減ス(第百八十七條及第百八十八條)
第一 偽造貨幣ヲ受取行使スルノ罪
偽造變造ノ貨幣ヲ受取行使スル罪ハ之ヲ分テ三種トス(一)情ヲ知テ受取り且之ヲ

行使スルノ罪(二)情ヲ知テ之ヲ受取ルノ罪(三)受取ノ際情ヲ知ラサルモ後ニ至リ之ヲ覺知シテ行使スル罪是ナリ(一)ノ罪ハ偽造變造シテ行使シタル者ノ刑ニ照シ各二等ヲ減シ(二)ノ罪ハ各三等ヲ減シ(三)ノ罪ハ其價格二倍ノ罰金ニ處ス但其罰金ハ二圓以下ニ降スコトヲ得サルナリ(第九十條及第九十三條)此等ノ犯罪タル頗ル簡短ナルハ特ニ説明スルノ必要ヲ見サレトモ茲ニ一二ノ要點ヲ掲クレハ(第一)右三種ノ犯罪ハ何レモ眞實ノ貨幣トシテ之ヲ行使スルノ惡意アルヲ要シ(第二)第九十條第二項(即チ第二ノ罪)ハ(第一)ノ罪ノ未遂犯ニモアラヌ又其豫備ニモアラヌシテ全ク別種ノ犯罪ナルカ故ニ其未遂犯ハ總則ノ例ヲ適用セサルヘカラス若シ夫レ之ヲ以テ未遂犯ノ特例ナリトセンカ第一ノ罪モ亦偽造變造シテ行使シタル罪ノ未遂犯ト云ハサルヘカテサルニ至ランノミ豈斯ノ如キ理アラザヤ

以上講述シタル所ヲ以テ貨幣偽造罪ニ付キ注意スヘキ原理ノ大要ヲ講了シタルトモ尙ホ一二ノ注意スヘキ必要ノ點ヲ示サン

(二)第九十三條ノ罪ヲ除キ其他ノ偽造罪ハ輕罪ノ刑ニ處スルトキト雖モ六月以上二年以下ノ監視ニ附ス(第九十一條)貨幣ヲ偽造變造シ若クハ輸入受取リタル

文書偽造ノ罪

第二節 文書偽造ノ罪

モノ及職工雜役或ハ房屋ヲ給與シタル者未ダ行使セサル前ニ於テ官ニ自首シタルトキハ本刑ヲ免シ職工雜役若クハ房屋ヲ給與シタル者ノ外六月以上三年以下ノ監視ニ付ス(第九十二條)

(二)犯罪ノ用ニ供シ或ハ犯罪ニ依テ得タル物件ハ素ヨリ總則ニ照シテ之ヲ沒收スヘシト雖モ情ヲ知ラスシテ偽造貨幣ヲ受取り若クハ之ヲ所有スルモ之ヲ沒收スルコトヲ得サルナリ然レトモ特別ノ布告アリテハ之ヲ沒收スルカ如シ

文書偽造ノ罪トハ或ル文書ヲ偽造シテ行使スルノ所爲ヲ云フ然シ其文書ナルモノハ特ニ法律ヲ以テ規定シタルモノニ限ルヘク詔書ニ係ル場合ハ行使スルヲ要セス偽造若クハ毀棄ノミヲ以テ本罪ヲ構成スヘシ

(物体) 此犯罪ノ物体タルヘキモノハ官私ノ文書トス而シテ其文書ハ筆記ニ係ルト將ク刊行ニ係ルトニ論ナク或ル事實ノ存否ヲ證明スルモノタルヲ要ス又其文書ハ必スシモ權利義務ノ存否ニ關スルモノナリヤ否ヲ問ハス只或ル事實ニ對スル信據力アルモノナラサル可ラス若シ其文書ニシテ信據力ナキ反古紙或ハ信據

力ヲ有スルモ事實ノ存否ニ關係ナキ文書ノ如キハ偽造罪ノ物体タルコトヲ得ス
彼ノ英國法ノ繪畫ヲ以テ此犯罪ノ物体タルヲ得サルモノトシタルハ誠ニ當テ得
タルモノト謂フヘシ我國ノ文人カーノ美術トスル詩文繪畫ノ如キモ事實ヲ證明
スルモノニアラサレハ茲ニ謂フ所ノ文書中ニハ含蓄セサルモノ、如シ

文書ニ二種アリ一ヲ官文書トシ二ヲ私文書トス

官文書トハ官署若シハ官吏其資格ヲ以テ一定ノ式ニ從ヒ其ノ職權ノ範圍内ニ於
テ認メタル文書ヲ云フ

之ヲ分析スレハ左ノ三要件アルヲ見ルヘシ

一、官吏カ官吏タルノ資格ヲ以テ調成シタルモノナルヲ要ス 若シ文書ヲ造リタ
ルモノ官吏タルモ官吏タルノ資格ニ於テ造リタルモノニアラサレハ官文書ト
云フヲ得ス

二、職務ノ範圍内ニ於テ造リタルヲ要ス 已ニ官吏カ官吏タルノ資格ヲ以テ文書
ヲ調製スルモ其事柄タルヤ該當官吏ノ作ルヘキモノニアラサルトキ即チ職務
以外ノ事柄タルトキハ又官文書ト云フヲ得ス

三、以上二要件ヲ充タシ官吏カ官吏タル資格ヲ以テ其職務ノ範圍内ニ於テ作リタ
ルモノナルモ一定ノ式ニ從フタルモノニアラサレハ亦官文書ト云フヲ得サル
ヘシ然シ茲ニ式ト謂フモ彼ノ何行何字詰テ云々スヘシト云フカ如キ嚴格ナル
形式ヲ云フニアラス通常用ヒ來リシ普通一般ノ式ト云フニ過キサレハ讀書文
字ニ掲昵シテ意ヲ狂クルナカランヲ望ムノミ

私文書トハ文書ニシテ官文書タラサル其他ノ文書ヲ云フ

〔所爲〕 此犯罪ノ所爲ハ文書ノ偽造、變造、使用若クハ毀棄ナリ

一、變造トハ權利若クハ承諾ナクシテ文書ノ信據力ヲ有スル部分ヲ増減スル所爲
ヲ云フ故ニ文書中ノ部分ヲ増減スルモ信據力ヲ害セサル以上ハ之ヲ變造ト云
フヲ得ス例ヘハ十圓ノ十ノ字ヲ改メテ拾ト爲シ或ハ字劃ノ不足ヲ補ヒ餘レル
ヲ削ルカ如キハ毫モ信據力ニ害ヲ及ホス恐レナカルヘシ又卑近ナル一例ヲ示
サハ本來無効ノ證書ヲ變更スルモ其證書ハ素ヨリ無効ナルヲ以テ信據力ナキ
ハ勿論タルヘキカ故ニ害スヘキ信據力ナルモノ存セサルヘシ彼ノ佛派學者カ
害ヲ生シ若クハ害ヲ生シ得ヘキコトヲ以テ文書偽變造ニ必要ナル條件トナシ

タルモ蓋シ此意ヲ指シタルモノナルヘケレトモ未タ學理ノ適切ナラサルヨリ所説ノ漠然トシテ採ル所無キモノ、如シ其所謂害ヲ生スルコト、ハ信據力ヲ破リタル結果ヲ指シ害ヲ生シ得ヘキモノトハ己ニ信據力ヲ破ルモ未タ其結果ヲ見サル場合ニ適合セリ

文書ノ變造ハ單ニ文書ノ外形ヲ増減スルモノニアラスシテ文書中ニ包含スル所ノ事項ヲ變更スルモノナレトモ、文書ノ偽造ハ其文書中ニ包含スル所ノ事項ノ信實ヲ變スルニアラスシテ其文書ノ記錄者タル資格ヲ僞ルニ在リ。故ニ文書偽造ハ事實ノ信實ヲ變セサル可ラスト云フ説ハ誤レリ文書ニ包含スル所ハ如何ナル不實詐欺ノ事項タリトモ之ヲ以テ何某ノ記錄スル所タリト明記スルニアラサレハ偽造變造ノ文書ニアラス若シ其記錄者ニシテ現存セサル虛無的ノ人ニ係ルトキハ他ノ犯罪トシテハ格別文書偽造ノ罪トシテ之レヲ論スル能ハサルモノトスル佛國學者ノ所論ハ能ク學理ニ適シ英國法カ仍ホ之ヲ以テ文書偽造ノ罪ニ問フヘキモノトスルハ當チ得タルモノニアラス且夫レ記錄者ノ氏名ヲ記載シタル以上ハタトヒ其調製記入シタル事實ハ信實ナルモ既ニ記錄者

ル資格ヲ僞リタルモノナルヲ以テ仍ホ之ヲ偽造變造ノ證書ト云ハサルヲ得ス故ニ人ノ氏名アル白紙ニ權利ナクシテ或ル事實ヲ記入スルモノハ其事實ノ信否ヲ問ハス記錄者タル資格ヲ僞リタルモノナルヲ以テ之ヲ偽造變造ノ罪ニ問フコトヲ得ヘシ但シ記錄者自ラ其氏名ヲ署シタル白紙ヲ以テ他人ニ委任シタルトキニ係ルトキハ若シ其事實ノ不實ナルニ於テハ之ヲ變造若クハ詐僞取財等ニ問フコトヲ得ヘキモ文書偽造ノ罪ヲ構成スルコトナカルヘシ之ヲ要スルニ如何ナル場合タルヲ問ハス或ル文書ニ僞リノ氏名ヲ署シ又ハ文書ノ署名ヲ變更シタルトキハ全文書ヲシテ不正ノ文書ヲラシムヘキモノナルヲ以テ其所爲ハ偽造ニシテ變造ニアラス

二偽造トハ眞實ナラサル文書ノ製作ヲ云フ前項ノ原理ハ概チ偽造ニ就テモ亦適用スルヲ得ヘシト雖モ偽造ノ所爲ニ付キ茲ニ一言スヘキ區別アリ

即チ或ル眞實ナラサル文書ヲ以テ何某ノ記錄セルモノト僞ル者ト或ル眞實ナラサル事項ヲ記載スルモノトヲ混同スヘカラス自己ノ氏名ヲ用ヒ自ラ眞實ナラサル事項ヲ記載スルモノハ眞正ノ文書ニシテ文書ヲ偽造シタルモノニアラ

ス何トナレハ此場合ニ於テハ毫モ記録者タル資格ヲ偽リタルモノニアラサレ
 ハナリ例ヘバ自己ノ氏名ヲ用ヒ不實ニ何某ニ金若干圓ヲ貸シ與ヘタル旨ヲ記
 載シタル文書ヲ作ルモ偽造罪ヲ以テ論スルコトナキカ如シ以上論述シタル文
 書ノ外形ニ關スル偽造ト相對立スル一種ノ偽造アリ例ヘハ不實ノ陳述ヲ爲シ
 官吏ナシテ不實ノ事柄ヲ公然ノ帳簿ニ記入セシムルノ類ナリ是等ハ事實ニ關
 スル不實ヲ文書ニ記入セシムル所爲ナレトモ單ニ無實ノ陳述ヲ爲スコ止ラス
 其陳述タルヤ必ス一ノ信據力ヲ有スル文書ナル場合ニ限ルモノトス
 三、毀棄トハ文書ノ信據力ヲシテ全ク消滅セシメ文書ヲシテ文書タル性質ナキニ
 至ラシムル所爲ヲ云フ文書ヲ破壊シ又ハ火中ニ投スル等其方法數多アルヘシ
 ト雖モ必ス形体ヲ損スルヲ要セス文書ノ一面ヲ塗抹シ全ク讀ム能ハサルニ至
 ラシメ又ハ文書ニ署名シタル部分ヲ消リ抜キスルカ如キ皆是毀棄ノ所爲ナリ
 トス
 併シ毀棄ノ罪ヲ構成セシムルハ己レニ屬セサル文書ヲサレサルヘカラス官ノ文書
 ト雖モ一私人ニ附與シタル後ニ至リテハ毀棄ノ罪ナカルヘシ又私文書ノ毀棄

ハ偽造ノ罪ヲ以テ罰セス單ニ刑法第四百二十四條ニヨリ財產毀棄ノ罪ヲ問フ
 モ權利義務ニ關スル證書類ナラサル可ラス

四、使用トハ他人ニ對シ信據力ノ證據トシテ文書ヲ利用スルヲ云フ文書ヲ偽造變
 造スルモ之ヲ筐底ニ収メテ使用スルコトナクハ毫モ犯罪ヲ構成スルモノニ
 アラサレトモ之ニ據リテ其目的ヲ達シタルヤ否ヲ問フコトナク只文書ヲ信據
 力ノ用ニ供スレハ則チ足レリトス故ニ已ニ信據力ノ用ニ供シタル文書ヲ偽造
 變造スルトキハ其偽造變造ノ所爲ト同時ニ使用シタルモノトス例ヘハ甲アリ
 乙ノ債主丙ニ對シテ乙ノ保證人トナリ期限ニ至リ或ハ乙ノ逃亡シテ義務ヲ盡
 サルコトアラシキ恐レ一夜竊カニ丙家ニ至リ其證書ヲ搜出シ自己ノ氏名ニ
 代ユルニ他ノ氏名ヲ以テシタルトキハ設令乙ハ其翌日負債ヲ返済スルモ乙ハ
 文書ヲ偽造シテ行使シタルモノトセサルヲ得ス之レニ反シテ右ノ證書ヲ變更
 セス新ニ丙ノ受取證書ヲ作り他日丙ヨリ返金請求セシトキ之レヲ出シテ抗辯
 ノ理由ト爲サント欲シ我家ニ藏セシトキハ之レヲ以テ行使シタルモノト云フ
 ナ得ス是レ他ナシ前例ニ於テハ已ニ信據力ノ用ニ供シタルモ後例ニ於テハ未

又公然官署ニ備ヘタル簿冊ノ如キハ常ニ信據力ノ用ニ供シタルモノナルヲ以テ詐欺ノ陳述ヲ爲シテ之ヲ官署ノ簿冊ニ登記セシメタルトキハ文書ノ偽造ト同時ニ使用シタルモノトス

(犯意) 偽造罪ハ他人ノ利害若クハ自己ノ利得ノ爲メ偽造ノ文書ヲ行使スル意思アルヲ要ス今之ヲ分析スレハ

一、他人ノ利害若クハ自己ノ利得トハ必スシモ金錢上ノ利害損得ニ限ラス自由名譽其他ノ權利等苟モ利害ノ關係アレハ充分ナルヲ以テ其範圍甚々廣大ナルヘシ而シテ他人トハ必スシモ特定ノ人タルヲ要セス一般不定ノ人公衆又ハ國家ノ利害ニ關係アルモ妨ケナシ

二、使用スルノ意思ハ法律ニ於テ使用ヲ罰スル場合ノミニ限ラス詔書ノ如キ單ニ偽造若クハ變造ノ所爲ノミヲ以テ罪トスル場合ト雖モ仍ホ使用スルノ意ヲ以テ爲シタルコトヲ要ス

(既遂及未遂) 未遂ハ總則ニヨリテ罰スヘキモ單ニ偽造若クハ變造シタルノミヲ

以テ直ニ未遂トスルヲ得サルヘシ是非トモ此未遂ヲ構成センニハ偽造變造シテ後行使セントシテ未タ遂ケサルモノナラサル可カラス何トナレハ單ニ文書ヲ偽造變造スルモ筐底ニ収メテ未タ行使セサレハ本罪構成セサレハナリ之レニ反シテ詔書ノ如キハ行使ヲ待タズ偽造若クハ變造シタルノミニテ本罪ヲ構成スルヲ以テ宜シク例外トナスヘキナリ

(刑罰) 官ノ文書ヲ偽造スルニ因テ官印ヲ偽造シ又ハ盜用シタルモノハ各印章偽造偽造ノ各本條ニ照シ重キニ從テ所斷ス(第二百六條)且文書偽造ノ罪ハ凡テ輕罪ノ刑ニ所スル場合ト雖モ六月以上二年以下ノ監視ニ附スヘキモノトス(第二百七條)及第二百十二條)左ニ文書偽造罪ノ刑ニ關スル我現行法ノ成規ヲ示ス

一、詔書ヲ偽造及ヒ毀棄スルノ罪ハ無期徒刑第二百二條)

二、官文書ノ毀棄及官文書公債證書地券其他官吏ノ公證シタル文書ヲ偽造變造シテ行使シタルモノハ輕懲役ニ處シ無記名公債證書並ニ官吏ノ自ラ管掌スル文書ニ係ルトキハ各一等ヲ加フ(第二百三條乃至第二百五條)

三、爲換手形其他裏書ヲ以テ賣買スヘキ證書若クハ金額ト交換スヘキ約定手形ヲ

偽造變造シ及其手形證書ニ詐欺ノ裏書ヲ爲シ行使シタルモノハ輕懲役ニ處ス
(第二百九條)

四、賣買貸借等權利義務ニ關スル證書ヲ偽造シテ行使シタルモノハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其餘ノ私書ニ係ルトキハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第二百十條)

第三節 印章偽造ノ罪

印章偽造ノ罪

偽造罪ノ性質原理ハ已ニ前章ニ於テ講述シ了リタルヲ以テ今印章偽造罪ヲ論述スルニ當テハ再ヒ之ヲ翻覆スルコトヲ爲サズ單ニ二三ノ要點ノミヲ講述スルニ止ムヘシ

(物体) 印章トハ信確ヲ證明スルノ用ニ供スル記號ノ原体即チ印類ヲ云フ紙上ニ署シタル姓名ノ如キ文書ニ捺用シタル印影ノ如キハ原体ニアラサルカ故ニ之ヲ印章ト云フコトヲ得サルナリ然レトモ凡ソ事物ノ性質ヨリ云フトキハ手段ノ彫刻ニ出ツルト否トヲ論セス既ニ文書ニ顯ハレタル印影若クハ花押等ヲ偽造スルコ

ト却テ印書偽造ノ通常ナルヘキニ我刑法ニテハ唯印類ヲ偽造スルモノヲ罰スルハ蓋犯罪ノ本源ヲ絶ツノ意ナルヘシ故ニ印章偽造罪ハ文書偽造ノ罪ト密接ノ關係ヲ有スルヨリハ寧ロ貨幣偽造ノ罪ニ類似スルモノト謂フヘシ

(所爲) 此犯罪ヲ構成スル所爲ハ偽造盜用及使用ナリトス其所謂偽造ナルモノハ既ニ貨幣偽造罪ノ講義ニ於テ詳述シタルモノト同一ナルヲ以テ又茲ニ贅セス盜用トハ他人ノ意ニ反シ其印章ヲ押捺シテ之ヲ使用スルヲ云フ又使用トハ既ニ偽造シタル印章ヲ以テ信確ヲ證明スルノ用ニ供スルヲ云フモノニシテ單ニ其印影ヲ文書ニ移シタルモノニ限ラサルナリ

(犯意) 此罪ヲ構成セシムルハ如何ナル犯意ヲ要スルヤ又其既遂及未遂ノ區別ハ如何ナル點ニ於テ存スルヤノ二點ハ總テ文書偽造罪ノ例ニ同シ(第二百十一條)

(刑罰) 印章偽造罪ニ關スル刑罰左ノ如シ又其監視ハ總テ文書偽造罪ノ例ニ同シ(第二百七條及第二百十二條)

- (一) 御璽國璽ヲ偽造シ又ハ偽璽ヲ使用シタル者ハ無期徒刑ニ處ス(第九十四條)
- (二) 各官署ノ印ヲ偽造シ又ハ偽印ヲ使用シタル者ハ重懲役ニ處ス(第九十五條)

(三)產物商品ニ押用スル官印記號ヲ偽造シ又ハ偽印ヲ使用シタル者ハ輕懲役ニ處シ書籍什物等ニ押用スルモノニ係ルトキハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス(第九十六條)

(四)同上ノ印章ヲ盜用シタル者ハ右數項ノ例ニ照シテ一等ヲ減シ監守者自ラ犯シタルトキハ偽造ノ刑ニ同フス(第九十七條)

(五)他人ノ私印ヲ偽造シテ使用シタル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加シ其盜用ニ係ルモノハ一等ヲ減ス(第二百八條)

(六)官ヨリ發行スル印紙界紙及郵便切手ヲ偽造變造シ又ハ情ヲ知テ使用シタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其既ニ貼用シタルモノヲ再用シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス(第九十八條及第九十九條)

第四節 免狀鑑札及疾病証書ヲ偽造スル罪

官ノ免狀鑑札ヲ偽造シテ之ヲ行使シ詐僞ノ所爲ヲ以テ之ヲ受ケ又ハ公務ヲ免ル

免狀鑑札及疾病証書ヲ偽造スル罪

ヘキ爲メ醫師ノ疾病証書ヲ偽造シ或ハ偽造シタルモノヲ變造シテ行使スルノ所爲ハ皆文書偽造變造罪ノ性質ヲ具備スルモノナリ然レトモ我刑法ニ於テハ是等ノ所爲ヲ以テ輕微ナル犯罪トシテ特例ヲ設ケ文書偽造罪ノ如キ重刑ヲ科スルコトナカラシム且ツ醫師ニシテ他人ノ囑托ヲ受ケ詐僞ノ証書ヲ作爲スルカ如キハ自己ノ姓名ヲ用ユルモノナレハ文書偽造ノ罪ニ問フコト能ハサルヤ明カナリ故ニ特ニ之ヲ罰スルノ條ヲ規定シタルハ實ニ其當ヲ得タルモノナレトモ苟モ是等ノ特例ニ該當セサルモノハ如何ニ瑣細ナル所爲ト雖モ文書偽造ノ罪ヲ以テ問ハサルヲ得ス又文書偽造ノ性質ヲ具備セサルモノハ同等ノ所爲ト雖モ之ヲ無罪トセサルヲ得サルノ不權衡ヲ生スルコトナキニアラス例ヘハ生命保險會社ヲ欺クノ目的ヲ以テ健康証書ヲ偽造スルモノハ文書偽造罪ヲ以テ之ヲ論シ他人ノ囑托ヲ受ケタルコアラサシテ醫師自ラ其氏名ヲ用ヒ自己ノ疾病証書ヲ作爲シ之ニ詐欺ノ記載ヲ爲スモノ、如キハ之ヲ無罪トセサルヲ得サルヘシ此罪ノ物體所爲及犯意等ハ文書偽造罪ノ例ヲ推及シテ容易ニ之ヲ知了スルコトヲ得ヘシト信スルヲ以テ茲ニ之ヲ贅セス左ニ唯ダ我刑法ノ規定ヲ掲クルニ止ム

(一)官ノ免狀鑑札ヲ偽造變造シテ行使スル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第二百十三條及第二百十七條其詐僞ノ所爲ニ依リ之ヲ受クル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス官吏情ヲ知テ其免狀ヲ下附スルモノハ一等ヲ加フ(第二百十四條)

(二)公務ヲ免ルヘキ爲メ醫師ノ疾病證書ヲ偽造變造シテ行使シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮及三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處シ醫師其囑托ヲ受ケテ之ヲ作爲シタルモノハ一等ヲ加ヘ其徵兵ヲ免ルヘキ爲メニシタルモノハ總テ一等ヲ加フ(第二百五條及第二百十六條)

第五節 度量衡ヲ偽造スル罪

(第一)官許ヲ得タル製造人タルト通常人タルトヲ問ハズ定規ニ違フタル度量衡ヲ偽造シテ販賣シ又ハ通常人ニシテ定規ニ違ハサルモノト雖モ之ヲ製造シタルモノハ真正ヲ害スルモノナルカ故ニ之ヲ偽造トシ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處

度量衡ヲ偽造スル罪

身分ヲ詐稱スル罪

シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其偽造變造ノ情ヲ知テ販賣シタル者及人ノ囑托ヲ受ケテ偽造變造シタルモノハ各一等ヲ減ス(第二百二十七條第二百二十八條及第二百三十條)但シ法律ハ單ニ之ヲ販賣スルモノニ限りタルヲ以テ交換或ハ賃貸ノ場合ハ刑法ノ間フ所ニアラサルヘシ

(第二)商賈農工ニシテ其職業上ニ用ユヘキ不正ノ度量衡ヲ所有(所持)シタルモノハ一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第二百二十九條)但シ不正ノ度量衡トハ法文ノ所謂定規ヲ増減シタル者ノ義ニシテ縱令偽造即チ真正ノ度量衡ニアラサルモ定規ヲ變更セサルモノハ此限ニアラサルヘシ

(第三)此罪ヲ犯スニ依リ官印ヲ偽造變造盜用シタル者ハ重キニ從テ處斷シ不正ノ度量衡ヲ使用シ利ヲ得タルモノハ詐欺取財ヲ以テ論スルナリ

第六節 身分ヲ詐稱スル罪

(物体)詐稱罪ノ物体ハ姓名、自己、年齡、屬籍、及職業ノ五者ニシテ是等ノ者ハ皆社會活動上人ノ異同ヲ證明スルノ標識ナリ今是等ノ五者ニ就キ逐一其定義ヲ下サンニ姓名トハ他人ヨリ各人各個ヲ識別スル爲メ法律上必ス有セサルヘカラサル各

自ノ稱號ヲ云ヒ身分トハ人類自然ノ存在ニ免ルヘカラサル事爲ヨリ必ス發生スヘキ法律上ノ結果ヲ云フ茲ニ所謂事爲トハ即チ出産結婚及死亡ノ三者ノ謂ニシテ此三事爲ヨリ發生スル結果トハ父母子孫夫妻戸主相續人等ノ資格ヲ云フナリ又年齢トハ人々存在ノ時限ヲ云ヒ屬籍トハ人類自然ノ存在ニ免ルヘカラサル事爲或ハ人爲ニ係ル適法ノ所爲(入籍ノ許可)ニ依リ人々ノ屬スル所ノ地(本籍)及生存ノ道ヲ計畫スルノ地(住所)ヲ云ヒ職業トハ生存ノ道ヲ計畫スル方法ヲ云フ是等ノ點タル非常ニ錯雜ナルヲ以テ其間疑團ヲ發生スルヤ明カナリト雖モ苟モ右ノ區別ニ基キ之ヲ決定スルトキハ亦一點ノ疑ナキニ至ルヘシ例ヘハ文人雅士ノ別號ノ如キハ法律上必ス有セサルヘカラサル稱號ニアラス地主株主タルコトハ人々ノ隨意ニ存廢スルコトヲ得ヘキモノナレハ人類自然ノ存在ニ欠クヘカラサル事爲ヨリ生シタル身分ニアラサルナリ

右ノ外法律ニ於テ身分ニ準シ其詐僞若クハ僭用ヲ罰スルハ官職位階勳章及官ノ記章等ナリ

(手段) 此罪ヲ構成スルノ所爲ハ官署ニ對シテ姓名身分等ヲ詐稱シ又ハ官私ニ對シ

官職位階ヲ詐稱僭用スルニアリ而シテ身分ノ詐稱ハ言語又ハ文書ヲ以テスルコトヲ要ス茲ヲ以テ形容等ニ依リ老若ヲ少壯ニ裝ヒ或ハ妾ヲ以テ正妻ニ擬スルカ如キハ毫モ罪ノ問フヘキモノナシ

(所爲) 官署ニ對シテ姓名身分等ヲ詐稱シ又ハ官私ニ對シ官職位階ヲ詐稱僭用スルヲ以テ此犯罪ノ所爲トス抑詐稱ハ自己ノ身分姓名ヲ詐ルニ限ルト雖モ必スシモ直接ナルヲ要セス設令ハ何某ハ己ノ子ナリト云フハ間接ニ自己ヲ以テ某ノ親タリトスルニ異ナラス

(犯意) 此犯罪ヲ構成センニハ故意アルヲ以テ足レリトス故ニ若シ自己ヲ利シ或ハ他人ヲ害スルノ意思アリ且詐稱ノ事項ニシテ之ヲ信據力ヲ有スヘキ書類ニ記入スヘキモノナレハ文書僞造ノ罪ヲ構成スルニ足ルヘシ

(刑罰) 官職位階ヲ詐稱シ又ハ官ノ服章勳章等ヲ僭用スルモノハ十五日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其姓名身分等ノ詐稱ニ係ルトキハ單ニ罰金ノミヲ科スルモノトス(第二百三十一條及第二百三十三條)

風俗道義
ヲ紊亂ス
ル罪

第六章 風俗道義ヲ紊亂スル罪

第一節 偽證ノ罪

偽證罪トハ訴訟ノ争點又ハ審問ノ要點ニ重要ナル事實ニ關シテ知リツ、詐僞ノ陳述ヲ爲スノ所爲ヲ云フ但シ現行法ニ於テハ其刑事ニ係ルモノニ就テハ特ニ被告人ヲ曲庇陷害スルノ意思アルコトヲ必要トス(第二百十八條第二百十九條及第二百二十三條)

(主体) 刑事民事商事若クハ行政ノ裁判ニ於テ證人鑑定人又ハ通事トシテ呼出サレタル者及賄賂等ノ方法ヲ以テ人ニ囑托シ此罪ヲ犯サシメタル者ハ即チ偽證罪ノ主体トス故ニ事實參考人ノ如キハ此罪ヲ犯スコトヲ得サルナリ(第二百十八條第二百二十四條及第二百五條治罪法第八十條乃至第八十二條)

(犯意) 詐僞ノ陳述タルコトヲ知リツ、之ヲ爲ス以上ハ特ニ原告又ハ被告ヲ利シ或ハ之ヲ害スルノ意アルヲ要セス(刑事ヲ除ク)茲ヲ以テ裁判ナシテ眞正公平ノ結果ヲ得セシメンカ爲メ詐僞ノ陳述ヲ爲スモノ、如キモ尙ホ此罪ヲ構成スヘシ然レトモ現行刑法ニ於テハ刑事ニ就テハ特ニ被告人ヲ曲庇シ又ハ陷害スルノ意思ヲ以テ偽證ヲ爲スコトヲ必要トス故ニ民事又ハ商事等ニ就テハ犯罪ヲ構成スルモ

刑事ニ就テハ無罪タルノ場合甚ダ多カルヘシ而シテ刑法ノ規定ニ依ルトキハ陷害又ハ曲庇セントスル所ノ罪ノ重罪輕罪又ハ違警罪ナルトニ依リ其罪刑ヲ異ニシタルヲ以テ重罪ヲ曲庇陷害スルノ意アリシトキハ其實輕罪ナルモ尙ホ之ヲ以テ重罪ヲ曲庇陷害スルノ意アルモノトセサルヲ得サルカ如シ然ルニ事件ノ重罪ナルト輕罪ナルト若クハ違警罪ナルトハ法律上ノ問題ニ屬シ何人モ之ヲ知ラサルヘカラサルモノナルヲ以テ其意ノ如何ヲ論セス苟モ其實重罪タルトキハ重罪ヲ曲庇陷害シタルモノトナシ輕罪ナルトキハ輕罪ヲ曲庇陷害シタルモノトセサルヲ得ス此理由ニ依リ事實ノ識不識ニ關スル教唆罪(第八條)ノ例ニ照シテ之ヲ論スルコト能ハサルナリ(第二百十八條及第二百二十條)

(物体) 詐僞ノ陳述ハ訴訟ノ争點又ハ審問ノ要點ニ重要ナル事實タラサルヘカラス即チ

(一)事實ナルヲ必要トス 單ニ證人ノ意見或ハ法律ノ解釋等ニ就テハ詐僞ノ陳述ヲ爲スモ偽證ヲ以テ之ヲ論スルコトヲ得サルナリ然レトモ鑑定人ノ意見ノ如キハ其技術上ノ範圍内ニ於テ之ヲ證據トスルコトヲ得ヘキモノナルカ

故ニ尙ホ偽證罪ノ物体タルコトヲ得ヘシ

(二)訴訟ノ争點又ハ審問ノ要點ニ關スルモノタルヲ要ス 即チ證據ト名クヘキ事實ニ屬スルコトヲ要スルモノニシテ證人或ハ鑑定人等ノ陳述ニ係ルモノハ悉ク此罪ノ物体タルヘキ事實ニハアラサルナリ學者往々此意ヲ誤解シ害ヲ生シ得ヘキコトヲ以テ此犯罪ノ一要素トスレトモ苟モ證據ノ範圍ニ屬スル事實ナル以上ハ必スシモ害ヲ生シ得ヘキモノタルヲ要セス左レトモ前ニ述ヘタルカ如ク現行法ハ刑事ニ就テハ特ニ曲庇陷害ノ意アルコトヲ要スルヲ以テ必スシモ其結果ノ發生スルヲ要セサルモ其偽證ニ關スル事實ハ曲庇陷害ノ結果ヲ生シ得ヘキ能力ヲ有スルコトヲ必要トシ單ニ證據タルヘキ事實ニ屬スルヲ以テ足レリトセス

(所爲)此犯罪ノ所爲タル陳述ハ虚言ナルヲ要スレトモ其述ル所ノ事實ハ必スシモ虚妄タルヲ要セス即チ事實ハ現ニ眞實ナルモ其陳述ハ尙ホ虚妄タルコトヲ得ヘシ偽證ノ罪ハ詐僞ノ陳述ヲ爲スノ罪ニシテ虚妄ノ事實ヲ陳述スルノ罪ニアラス例ヘハ裁判官ニ於テ證人ニ對シ原被告ハ何月何日ニ云々ノ契約ヲ締結シタルヤ

否ヤヲ訊問スルニ當リ其證人ハ毫モ其事實ノ有無ヲ知ラサルニ拘ハラズ尙ホ其契約ノ成立スルモノナルコトヲ確答シタリトセンニ縱令實際ニ於テハ此契約ノ成立スルアルモ該證人ハ偽證罪ヲ犯シタルモノトセサルヲ得ス何トナレハ縱令其事實ハ虚妄ナラサルモ證據トシテハ詐僞タルヲ免レサレハナリ然レトモ刑事ノ場合ニ於テハ現行法ハ特ニ曲庇陷害ノ意アルコトヲ要スルヲ以テ詐僞ノ陳述ヲ爲スモ實際其事實ノ虚妄ナラサルトキハ其陳述ハ曲庇又ハ陷害ノ結果ヲ生シ得ヘキ能力ヲ具備セサルモノナルカ故ニ偽證罪ヲ構成スルコトナシ又自己カ充分ニ知了セサル事實ト雖モ裁判官ニ對シテ之ヲ確言シタルトキハ正當ノ理由ナクシテ眞實ヲ證スルモノナルヲ以テ亦詐僞ノ陳述タルコトヲ免レサルナリ (刑罰)現行法律ハ民事刑事及曲庇陷害ノ區別ニ就キ刑罰ノ差等ヲ設クルコト左ノ如シ

- (一)民事商事及行政裁判ニ關シテ偽證ヲ爲シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第二百二十三條)
- (二)被告人ヲ曲庇スル爲メニセル偽證罪ノ刑罰ハ左ノ如シ

(イ)重罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加シ輕罪ニ係ルトキハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加シ違警罪ニ係ルモノハ違警罪ノ本條ニ依テ處斷ス(第二百十八條)

(ロ)偽證ノ爲メ被告人正當ノ刑ヲ免レタルトキハ前項ニ照シ各一等ヲ加フ(第二百十九條)

(三)被告人ヲ陷害スル爲メニセル偽證罪ノ刑罰ハ左ノ如シ

(イ)重罪ニ陷ラシムル爲メ偽證シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加シ輕罪ニ係ルトキハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加シ違警罪ニ係ルトキハ一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第二百二十條)

(ロ)偽證ノ爲メ被告人刑ニ處セラレタル後ニ於テ偽證ノ罪發覺シタルトキハ偽證者ヲ其刑ニ反坐シ若シ被告人ノ處セラレタル刑ノ期限内ニ於テ發覺

シタルトキハ現ニ經過シタル日數ニ照シ反坐ノ刑期ヲ減スルコトヲ得但シ減シテ前項偽證ノ刑ヨリ降スコトヲ得サルナリ然レトモ偽證ノ爲メ被告人正刑ニ處セラレタルトキニ於テ尙ホ之ヲ反坐スルハ殘酷ニ失スルノ恐アルカ故ニ一等ヲ減シ其未タ刑ヲ執行セサル前ニ於テ發覺シタルトキハ二等ヲ減ス但シ被告人ヲ死ニ陥ル、目的ヲ以テ偽證ヲ爲シタルトキハ之ヲ死刑ニ反坐シ未タ刑ヲ執行セサル以前ニ發覺シタルトキハ一等ヲ減ス(第二百一一條及第二百二十二條)

(四)偽證ノ罪ハ其裁判宣告ニ至ラサル前ニ於テ自首シタルトキハ本刑ヲ免セラ

誣告ノ罪

第二節 誣告ノ罪

我刑法ハ誣告罪及誹毀罪ノ二者ヲ同一視スレトモ此二罪ノ間劃然タル區別ノ存スルアリテ毫末モ關係スル所ナシ即チ誹毀罪ハ人ノ名譽ニ對スル罪ナレトモ誣告ノ罪ハ然ラサレハナリ學者往々誣告罪ト誹毀罪トノ區別ニ就キ喋々之ヲ論述

スル所アリト雖モ若シ此二罪ノ區別ヲ論述スルノ必要アリトセハ誣告罪ト其他一切ノ犯罪トノ區別ヲ説明スルモ亦必要ナルヘシ豈斯ノ如キノ理アラザヤ予ハ茲ニ此等ノ區別ヲ喋々スルノ徒勞ヲ取ラス單ニ誣告罪ノ性質如何ヲ講究セント欲スレトモ一言諸君ニ注意スヘキモノアリ即チ或學者ノ如キハ此罪ヲ以テ官ノ犯罪搜查權ヲ紛亂スルモノトナセトモ是亦大ニ其性質ヲ誤解スルモノナリ何トナレハ誣告罪ハ人ヲ誣告スルニ依テ成立スルモノニシテ單ニ或犯罪ニ付キ不實ノ申告ヲ爲スニヨリ成立スルモノニアラサレハナリ

誣告罪トハ不實ナルコトヲ知リツ、人ヲ犯罪人トシテ官ニ申告スルノ所爲ヲ云フ(三百五十五條)以下此罪ニ就キ注意スヘキ要點ヲ示サン

(物体)此罪ハ或人ヲ以テ不實ニ犯罪ノ所爲アリタリト申告スルモノナリ故ニ此罪ノ物体タランニハ左ノ三個ノ條件ヲ要ス

- (イ)申告セラレタル者ハ必ス何某タルコトヲ知り得ヘキ現存ノ人タルヲ要ス、既ニ死亡セル人、假設人又ハ姓名人相等ノ知レサル者ヲ誣告スルモ其罪ナシ
- (ロ)犯罪ノ事實ヲ申告スルヲ要ス、此犯罪トハ刑法上罪ト認メタル所爲ヲ指スト

雖モ其申告セラレタル事實ニシテ罰スヘキモノタランニハ必スシモ刑罰ニ處セラルヘキモノト否トヲ論セス故ニ未丁年者ノ犯罪又ハ既ニ期滿免除ヲ得タルモノニテモ尙ホ此罪ヲ構成スルニ足ルヘシ

(ハ)事實ノ不實ナルコトヲ要ス、故ニ如何ニ惡意ヲ以テスルモ其申告セラレタル人ニシテ眞ニ犯罪人ナルトキハ、誣告ノ罪ヲ以テ論スルヲ得サルナリ又其申告ハ必ス事實ヲ以テセサルヘカラス單ニ何某ハ重罪ヲ犯セリ又ハ輕罪ヲ犯セリト申告スルモ其事實ヲ申告セサル以上ハ此罪ヲ構成スルコトナシ或學者ハ輕罪ヲ以テ重罪犯ト申告スル場合ニ於テモ亦誣告罪ヲ構成スルモノト論スレトモ苟モ輕罪ノ事實ヲ以テ重罪ノ事實ニ作爲シタル場合ニアラサレハ誣告ト云フヲ得サルナリ例ヘハ甲者カ人ノ物品ヲ竊取シタル後乙者ハ其竊取ノ事實ヲ詐ラス此事實ヲ以テ重罪ナリトシテ申告スルモ誣告ニハアラサルヘシ蓋該事實ノ輕罪ナルカ將々重罪ナルカハ法律上ノ問題ニ屬スルヲ以テ官署ノ當然知了スヘキモノナレハナリ

申告シタル事實ハ全部虛妄ナルヲ要セス苟クモ重要ノ事實ナランニハ其幾

部分ノ虚妄ナルヲ以テ充分ナリトス例ハ有罪ノ事實ノミチ申告シ其事實ハ真正ナルモ他ニ無罪トナルヘキ事實アルヲ隠蔽シタル場合ノ如キハ誣告罪ヲ構成スヘシ

(犯意)自己ノ申告スル事實ノ不實ナルコトヲ知リツ、故意ヲ以テ申告スルトキハ此罪ヲ成立セシムルモノニシテ敢テ害意アルヲ必要トセス又其事實ノ實否如何ヲ確知セス粗忽ニ之ヲ申告シタル場合亦同シ
(所爲)申告トハ相當官署ニ向ヒ告訴告發ヲ爲スヲ云フ若シ告訴告發ニ依ラサルモノハ其意思次第ニテ偽證罪ノ成立スルコトアルヘシ
(刑罪)誣告ヲ爲スト雖モ未タ被告人ノ推問ヲ始メサル前ニ於テ誣告者自首シタルトキハ本刑ヲ免シ本罪ハ之ヲ偽証ノ例ニ照シテ處斷シ誣告ニ依テ被告人刑ニ處セラレタルトキハ第二百二十一條及第二百二十二條ノ例ニ照シテ處斷ス(第三百五十五條乃至第三百五十七條)然レトモ前ニ述ヘタルカ如ク此等ノ偽證罪ハ特ニ被告人ヲ曲庇シ又ハ陷害スルノ意アルヲ要ス之ニ反シテ誣告罪ハ單ニ不實ナルコトヲ知リツ、申告スルノ故爲アルヲ以テ充分ナリトス故ニ之ヲ同一ノ刑ニ處

賭博犯及富籤興行ノ罪

第十二回

第三節 賭博犯及富籤興行ノ罪

第一 賭博犯

賭博トハ財物ノ得喪ヲ以テ偶然ノ事爲ニ任スル所ハ勝負事ヲ云フ風俗警察及ヒ經濟上ノ目的ヨリシテ法律ハ之ヲ禁止シ其違背者ヲ所罰ス(第二百六十一條)左ニ此犯罪ニ付キ一二ヲ論セン

(第一)抑モ賭博ナルモノハ一ノ勝負事ナリト雖モ万般ノ勝負事ハ皆賭博犯ヲ構成スルモノニアラス即チ犯罪ヲ構成セサル勝負事ト之ヲ構成スヘキ勝負事トハ劃然ニ之ヲ區別セサルヘカラサルナリ犯罪ヲ構成セサル勝負事トハ其結局ヲ以テ巧拙ニ任スルモノニシテ其勝敗ヲ決スルモノハ常ニ力量熟練及思慮ノ三者ナリトス例ヘハ角力ノ如キハ力量ヲ以テ其勝敗ヲ決シ玉奕、紙牌、圍碁及象棋ノ如キハ熟練ト思慮トヲ以テ其勝敗ヲ定ムルモノトス又犯罪ヲ構成スヘキ勝負事トハ其結局ヲ以テ偶然ノ事爲ニ任スルモノヲ云ヒ偶然ノ事爲ヲ以テ勝敗ノ判定者トスル

モノナリ例ハ雙六、ハツセツト、ファロー(二者共ニ紙牌戲中ノ一ナレトモ勝敗ノ巧拙ニ關セサル者)等ノ類チ云フ是等ノモノハ則チ法律ノ認メテ以テ博奕ノ所爲トスル所ナリ但シ巧拙ニ依テ勝敗ヲ決スル所ノ勝負事ハ法律ノ咎メサル所ノモノナレトモ其勝敗ノ結果勝敗者相互ノ間ニ止マラスシテ他人ノ勝敗ヲ以テ輸贏ヲ決スルニ至リテハ尙ホ之ヲ偶然ノ事爲ニ任シタルモノトセサルヲ得ス是ヨリ賭博犯ニ關スル二三ノ要點ヲ示サントス

(第二)勝敗ノ決ハ金錢ノ得喪ニ關スルモノニアラサレハ之ヲ賭博ノ所爲トスルコトヲ得ス換言セハ偶然ナル事爲ノ發生スルト否トハ一時ノ利得トナリ或ハ一時ノ損失トナルヘキモノタルヲ要ス然レトモ直ニ消費スルコトヲ得ヘキ飲食物ヲ賭スルハ一時ノ遊戯ニ過キサレモノトシ法律之ヲ問ハサルナリ又本邦ノ慣習ニ依レハ尙モ飲食物ニアラサル其他ノ財物ヲ賭スル以上ハ彼ノ圍碁ノ如キ巧拙ニ依テ勝敗ヲ決スルモノト雖モ尙ホ賭博罪ヲ以テ論スルカ如シ茲ニ注意スヘキハ縱令飲食物ナルモ非常ニ多量ナルモノヲ賭スルニ至リテハ亦賭博罪タルヲ免レサルナリ例ヘハ米何俵ト云フカ如キ是ナリ(第二百六十一條但書)

富籤興行ノ罪

(第三)賭博ノ罪ハ現行犯ニアラサレハ之ヲ罰セス然レトモ賭場ヲ開張シテ利ヲ圖リ又ハ博徒ヲ招結スルノ罪ニ至テハ此限ニアラサルナリ(第二百六十條)

第二 富籤興行ノ罪

富籤トハ、或、代價ヲ拂渡シ、偶然ノ結果ニ依リ、或ル豫定ノ財物ヲ得有シ、若シハ拂渡シタル代價ノ全部又ハ幾部ヲ失フハ權ヲ得ヘキ計畫ヲ云フ故ニ賭博罪ト同シク偶然ノ結果ヲ以テ財物得喪ノ判定者トナスモノナリ又其賭博ト異ナル所ハ其僥倖セントスル所ノ利益ハ一定ノ財物ニ關シ其失フ所ハ拂渡シタル代價ノ全部若クハ幾部ニ過キヌ又富籤ニ於テハ必ス豫メ其僥倖ヲ得ヘキ方法ノ計畫(Plan)アルヲ要スルノ點ニ在リ

財物ヲ醜集シ富籤ヲ以テ利益ヲ僥倖スルノ業ヲ興行シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第二百六十二條)規定セリ故ニ富籤ヲ買ヒタル者ハ刑法上之ヲ罰セスト雖モ特別ノ布告(明治十五年第二十五號布告)ニ依テ其購買者、賣買ノ牙保及幫助者ヲ罰スルノ方法ヲ規定シタリ茲ニ序ニ講述スヘキハ本邦ニ於テハ斯ノ如ク富籤ノ興行ヲ以テ刑法上ノ犯罪ト

ナスト雖モ歐米ニテハ富饒興行ヲ以テ政府ノ特權トスルノ國アリ又政府ノ許可ヲ經レハ之ヲ興行スルコトヲ許スノ國アリ

猥褻姦淫
重婚ノ罪

第四節 猥褻姦淫重婚ノ罪

第一 猥褻ノ罪

猥褻罪ノ定義ニ就テハ學者ノ大ニ困難ヲ感シタル所ナリト雖モ余ハ陰陽ニ關係スル醜陋背徳ノ所業ナリト云ハントス醜陋背徳ノ所爲ハ實ニ數多ナリト雖モ陰陽ニ關係スルモノニアラサレハ猥褻ノ罪ヲ構成セサルナリ換言スレハ陰陽ニ關係スルコトハ此罪ヲ構成スルニ最モ必要ナル原素ナリトス以下此罪ニ關シ注意スヘキ要點ヲ述ヘン

(主体)男女ヲ問ハス總テ此罪ノ主体タルコトヲ得ヘシ則チ男ヨリ男ニ對シ若クハ男女相對シテ此罪ヲ行フコトヲ得ヘキナリ

(物体)此罪ニ於テハ猥褻ノ公然ナルコトヲ要スルト然ラサル場合トノ區別アリ

(一)公然タルコトヲ要スル場合(第二百五十八條及第二百五十九條)ニ在テハ特ニ直接ナル被害者ナキコトヲ得ヘシ即チ他人ニ關係ナク自ラ猥褻ノ事ヲ行ヒ

又ハ獸類ニ對スル醜行ノ如キハ其被害者タルモノナカルヘク夫婦間又ハ馴染ノ男女及ヒ同性間ノ姦淫ニ於ケルモ亦同シカルヘシ

(二)猥褻ノ公然タルト否トヲ問ハサル場合(第三百四十六條及第三百四十七條)ニ於テハ必ズ特定ノ被害者アルヘキモノトス但シ其被害者ハ男子タルト女子タルトヲ論スルコトナシ然レトモ夫ハ其婦ニ對シテ此罪ヲ犯スコトヲ得ルヤ否ヤニ就テハ學者間多少ノ議論アリ佛國ノフオースタンエリー氏及同國ノ裁判例ノ如キハ積極論ヲ主張シ縱令夫ト雖モ暴行脅迫ヲ爲シ通常有ル間敷所業ヲ爲ストキハ尙ホ此犯罪ヲ構成スルコトヲ得ヘシト論斷セリ

(犯意)此罪ヲ構成センニハ單ニ故意アルヲ以テ足レリトシ敢テ淫慾ヲ達セントスルノ惡意アルヲ要セス例ヘハ木造ノ陰莖ヲ市中ニ昇クカ如キハ毫モ淫慾ヲ逞フスルノ意思アルニアラスト雖モ猥褻ノ罪タルヲ免レサルヘシ春畫ヲ賣ルノ所爲モ亦同シ

(所爲)猥褻ノ所爲ノ公然タルコトヲ要スル場合ニ於テハ其所爲ノ範圍極メテ廣ク苟モ猥褻ノ性質アル以上ハ姦淫ハ勿論猥褻ノ圖畫ヲ公然陳列スル等ノ所爲ヲ

モ含蓄スルモノナリ然レトモ公然ヲ要セル猥褻ノ所爲ハ單ニ第三百四十六條及第三百四十七條ノ場合ノミニ限リ姦淫強姦等ハ之ヲ別種ノ所爲トナシ猥褻ノ所爲トシテ罪ヲ問フコトナシ

茲ニ注意スヘキハ法律ニ於テ公然猥褻ノ圖書ヲ陳列スルコトヲ禁スト雖モ其公然トハ如何ナルコトヲ云フヤ場所ノ公然タル謂ナリヤノ問題はナリ此問題ニ就テハ店頭ニ於テ陳列販賣スルトキハ則チ公然ナリト答フルヲ得ルカ如クト雖モ若シ之ヲ以テ正當ナル答トセハ店頭ニ屏風一枚ヲ立テ其内部ニ於テ猥褻ノ圖書ヲ賣ルハ公然ノ販賣ニアラスト云フヲ得ルニ至ルヘシ豈奇怪ナラズヤ畢竟スルニ公然ノ販賣トハ一ハ營業トシテ販賣スルノ意ニ外ナラサルナリ

(刑罰)公然猥褻ノ所業ヲ爲シタルモノハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處シ風俗ヲ害スル冊子圖書其他猥褻ノ物品ヲ公然陳列シ又ハ販賣シタル者ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處シ公然ナルト否トヲ問ハス十二歳未満ノ男女ニ對シ猥褻ノ所業ヲ爲シ又ハ十二歳以上ノ男女ニ對スト雖モ暴行脅迫ヲ以テナシタルトキハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處シ其十

姦淫ノ罪

二歳未満ノ男女ニ對シテ暴行脅迫ヲ用ヒタルモノハ二倍ノ刑ヲ科ス但シ公然ノ猥褻罪ノ外ハ被害者若クハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論スト雖モ人ヲ死傷ニ致シタルトキハ殴打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第一 姦淫ノ罪

姦淫ノ罪トハ男女ノ姦合ヲ云フ現行刑法ニ於テハ此罪ヲ區分シテ(一)幼女姦淫ノ罪(二)強姦ノ罪(三)姦通ノ罪(四)淫行勸誘ノ罪トセリ幼女姦淫トハ十二才未満ノ幼女ヲ姦淫スルノ所爲ヲ云ヒ強姦トハ暴行脅迫ヲ用ヒテ婦女ヲ姦淫スルノ所爲ヲ云ヒ姦通トハ有夫ノ婦ニ通スルノ所爲ヲ云ヒ淫行勸誘トハ十六歳未満ノ男女ノ淫行ヲ媒合スルノ所爲ヲ云フ(第三百四十八條乃至第三百五十三條)

以下姦淫ノ罪ニ關シテ注意スヘキ要點ヲ示スヘシ
(主体)幼者ヲ姦淫スル罪及強姦ノ罪ノ主体ハ必ス男子ニ限ルヲ要シ姦通罪ハ有夫ノ婦及其姦淫ヲ爲シタル對手ノ男子タルヘシ淫行勸誘ノ罪ハ男ナルト女ナルトヲ問ハス何人ト雖モ之ヲ犯スヲ得ヘシ而シテ男ヨリ男ニ對シ又ハ女ヨリ女ニ對シテ強姦ノ罪ヲ犯スコトヲ得サレトモ其共犯タルコトニ妨ケナシ例ヘハ甲ナル

女アリ乙ナル男子ニ勸ムルニ丙女ヲ強姦スヘキコトヲ以テシ乙ニ共力シテ丙女ノ手足ヲ捕ヘ以テ姦淫ヲ遂ケシメタルカ如キ場合ニ於テハ甲ナル婦女ハ乙ノ共犯ナルコト明カナリ何トナレハ強姦ノ罪ハ局所ヲ犯スノミニ限ラサルヲ以テ夫ハ他人ニ共力シテ自己ノ婦ヲ姦淫セシムルコトヲ得ヘク女子ハ他ノ男子ヲ器械トシ又ハ共力シテ他ノ婦女ヲ犯サシムルコトヲ得レハナリ

物体姦通罪ニ於テハ被害者ハ夫タルヘク強姦及幼女姦淫罪ノ被害者ハ必ス女子タラサルヲ得ス然レトモ十二歳未滿ノ女子ヲ除キ被害者ニシテ最初ヨリ任意ノ承諾ヲ爲シタル場合ニ於テハ全ク犯罪ヲ構成セサルナリ故ニ娼妓其他賣淫者ニ對シテハ強姦罪ノ成立スルコトアルモ夫婦間ニハ此罪成立スルコトナシ何トナレハ夫婦ノ間ニハ常ニ任意ノ承諾アルモノト推測シ苟モ離婚スルニアラサレハ此承諾ヲ取消スコトヲ得スト雖モ娼妓及其他ノ賣淫者ハ一事件毎ニ承諾ヲ與フルモノナレハ何時ニテモ其思フ儘ニ之ヲ取消スコトヲ得ヘク既ニ此承諾ヲ取消シタル以上ハ強姦罪ノ構成ヲ妨クヘキ條件ノ存スルナキヲ以テナリ

(手段強姦罪ハ必ス暴行脅迫ノ手段ナルコトヲ要ス然レトモ此手段ニシテ存在ス

ルトキハ必スシモ婦女ノ承諾ナキモノニアラス就中強迫ノ如キハ概テニ承諾アルヘキハ已ニ汎論ニ於テ論述シタル所ナレハ強姦ハ只婦女ニ任意ノ承諾ナキモノト謂フニ過キサレハ然ルニ學者往々強姦ノ暴行ニ係ル場合ノミヲ想像シ強姦罪ヲ構成センニハ婦女ニシテ引繼キ間斷ナク抵抗シタルコト婦女ト犯者トノ力量等ニ重大ナル差異アルコトヲ要スト説クモノナキニアラサレトモ是レ一ニ脅迫ニ係ル強姦ノ場合ヲ看過シタルニ過キス

暴行強迫ノ外藥酒等ヲ用ヰテ人ヲ昏睡セシメ又ハ精神ヲ錯乱セシメテ姦淫シタルモノハ強姦タルコトハ法文ニ明カナリト雖モ熟睡ニ乘シ又ハ詐欺ノ手段ヲ用ヒテ姦淫シタルモノハ強姦ニアラサルヘシ

(所爲)交媾トハ男子ノ生殖器ニ依リテ肉体ノ知覺ヲ感スヘキ陰具ニ多少ノ没入ヲ爲シタル所爲ヲ云フモノニシテ必スシモ情ノ通スルコトヲ要セス但シ古代ニ在テハ強姦ヲ以テ血統ヲ紊亂スルモノトナシタレトモ今日ハ斯ル主義ヲ採ルモノナシ此没入ヲ要スルノ一事ヲ以テ之ヲ身体ニ對スル罪トスルコトアルヘカラス唯之ヲ婦女ノ節操ヲ破ルノ一手段ト見做スモノニ過キサレトモ姦淫罪

ノ既遂及未遂ヲ區別スルニ就テハ專ラ没入ノ有無ニ依ルヘキモノトス
 (犯意姦淫罪ヲ構成セシムルハ單ニ故意アルヲ以テ足レリトシ亦惡意ノ有無ヲ問フ
 ナ要セス學者往々此罪ニ就テハ特ニ惡意アルヲ必要トスルモノナキニアラサレ
 トモ恐クハ是故意ノ何モノタルヲ了解セサルニ依ルナラン
 (刑罰)十二歳ニ滿サル幼女ヲ姦淫スルノ罪及十二歳以上ノ婦女ヲ強姦スルノ罪ハ
 輕懲役ニ處シ十二歳ニ滿タサル幼女ニ對スル強姦罪ハ重懲役ニ處シ姦通ノ罪ハ
 六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ十六歳ニ滿サル男女ノ淫行ヲ勸誘シテ媒合ス
 ルノ罪ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
 但シ淫行勸誘ノ罪及公然ノ猥褻罪ヲ構成スル場合ノ外強姦及其他ノ姦淫罪ハ被
 害者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論スト雖モ因テ人ヲ死傷ニ致シタルトキハ
 毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷シ強姦ニ因テ廢篤疾ニ致シタル者ハ有
 期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ無期徒刑ニ處ス又姦通ノ罪ハ本夫ノ告訴ヲ待テ
 其罪ヲ論スルモノトス(第三百五十四條乃至第三百五十三條)

第三 重婚ノ罪

重婚ノ罪トハ配偶者アルモノ重テ婚姻ヲ爲スノ所爲ヲ云フ(第三百五十四條)茲
 ナ以テ男ヲリ女タルヲ問ハス配偶者アル者ニアラサレハ此犯罪ノ主体タルコト
 ナ得サルナリ而シテ我刑法ニ於テハ知リツ、配偶者アル者ト婚シタル未婚者ヲ
 罰スルコトナシ茲ニ注意スヘキハ男女共既ニ配偶者アル者重テ婚姻ヲ爲スト
 キハ必ズ姦通ノ罪ヲ構成スルヤ否ヤノ疑問是ナリ凡ソ斯ノ如キ場合ニ於テハ姦
 通罪ノ成立スルコトアリ或ハ否ラサルコトアレハ一ニ其場合ノ情況ニ依リ之ヲ
 判定セサルヘカラス何トナレハ重婚罪ナルモノハ敢テ姦淫ノ事實アルヲ要セサ
 ルカ故ニ縱令配偶者アル者相婚スルモ苟クモ同衾セサル以上ハ未ダ姦通罪ヲ構
 成スルニ至ラサレハナリ但此場合ニ於テ重婚罪ノ成立スルハ勿論トス
 又此罪ニ關シ國際私法上ノ疑問タルヘキモノハ重婚ヲ許ス所ノ邦國即チ一夫數
 婦又ハ一婦數夫ヲ認ムル諸國ニ於テ既ニ結婚シタル内外人カ本邦ニ來リテ重
 テ婚姻ヲ爲シタルトキハ我刑法ニ依テ之ヲ處斷スルコトヲ得ルヤ否ヤノ點是ナ
 リアツヘル氏及其他一二ノ學者ハ消極論ヲ主張シ或學者ハ積極論ヲ主張スレト
 モ凡ソ身分ニ關スルコトハ概テ其本國ノ法律ニ從フヲ以テ國際私法ノ原則トナ

スガ故ニ予ハアツヘル氏ノ説ニ左袒セシト欲ス
 前ニ述ヘタル如ク重婚ノ罪ニ敢テ姦淫ノ所爲アルヲ要セス唯前後ノ婚姻共ニ公
 認セラル、カ又ハ法律上ノ儀式手續ヲ盡スニ依テ成立スルモノナリ辭ヲ換ヘテ
 之ヲ言ハ、第一ノ婚姻ヲ取消サル内ニ第二ノ結婚ヲ爲スノ所爲タルニ過キサ
 ルヲ以テ縱令第一ノ婚姻ハ實際無効ナルコトアルモ相當ノ手續ニ依テ其婚姻ヲ
 取消サル以上ハ此犯罪ヲ構成スルニ充分ナルヘシ或學者ハ反對ノ説ヲ主張シ
 第一ノ婚姻ニシテ無効ナル以上ハ第二ノ婚姻ハ有効ニシテ重婚ノ罪ヲ構成スル
 コトナシト論斷スレトモ若シ此説ニ從フトキハ實ニ奇怪ナル結果ヲ生スヘシ則
 チ苟モ第一ノ婚姻ニシテ無効ナル以上ハ其無効ノ裁判言渡又ハ其解除ヲ待タス
 シテ法律ハ隨意ニ第二ノ婚姻ヲ爲スコトヲ許スモノトセサルヲ得サルニ至ラン
 豈斯ノ如キ理アラゾヤ
 重婚ノ罪ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加
 ス(第三百五十四條)

宗教ニ關スル罪

第五章 宗教ニ關スル罪

宗教ヲ蔑如スル罪

第一節 宗教ヲ蔑如スル罪

宗教ヲ蔑如スルノ罪ハ之ヲ小別シテ禮拜所ニ對シ公然不敬ヲ爲スノ罪及說教若
 クハ禮拜ヲ妨害スル罪ノ二種トス(第二百六十三條)
 禮拜所ニ對スル不敬ノ罪ハ信仰者ノ宗教上ノ感覺ヲ害スルノ所爲ナルカ故ニ信
 者ノ出入スヘキ禮拜所ニ於テ公然不敬ノ所爲アルニアラスンハ此罪ニ問フコト
 ナシト雖モ敢テ其手段ノ何タルヲ問ハサルナリ
 說教禮拜ヲ妨害スルノ罪ハ宗教ノ自由ヲ妨害スルノ所爲タルヲ以テ必スシモ公
 然タルコトヲ要セスト雖モ說教者及信者等ニ對シテハ暴行脅迫ノ手段ヲ用ヒタ
 ルモノニアラサレハ此罪ニ問フコトヲ得サルヘシ然レトモ公然ノ說教又ハ禮拜
 ニ係ルトキハ暴行脅迫ヲ用ヒサルモ尙ホ不敬ノ罪ヲ構成スルコトアリ
 不敬ノ罪ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處シ妨害ノ罰ハ四圓以上四十圓以下ノ
 罰金ニ處ス

死屍ノ毀棄及墳墓ノ發掘ノ罪

第二節 死屍ノ毀棄及墳墓發掘ノ罪

(物体)此犯罪ノ物体ハ死屍及墳墓トス(第二百六十四條及第二百六十五條)

(一)死屍トハ一般ニ人ノ死骸ヲ云フモノナレトモ法律上之ヲ埋葬スヘキ死屍ニシテ未タ埋葬セサル死骸及既ニ埋葬シタル死骸ノ二様ニ區分セサルヘカラス何トナレハ此二者ノ區別ニ依リ之ヲ適用スル所ノ刑罰ヲ異ニスルヲ以テナリ

(二)ハ埋葬スヘキ死屍ニシテ未タ埋葬セサルモノヲ云フ故ニ已ニ埋葬シタル死屍及ヒ人ノ所爲トナリ得ヘキ骸骨及ヒ已ニ火葬シタル遺骨ヲ毀棄スルモ此罪成立スルコトナシ

(三)ハ已ニ埋葬シタルモノニ關ルトキハ其白骨タルト新鮮ナルト又全部ナルト一部ナルトニ差異アルコトナシ

(四)墳墓ノ定義ニ就テハ學者間大ニ議論アリシカ現今ノ學者ハ人ノ死体ヲ永遠ニ安置スル場所ト云フ定義ヲ下スカ如シ故ニ第一人ノ死体ヲ安置セサルモノ即チ猫塚又ハ犬塚等ハ墳墓ニアラス第二現ニ死体ヲ安置セサルモノ即チ名譽ノ爲メニ建設シタル石碑又ハ未タ死亡セサル前ニ建立セル墓ノ如キモノモ亦墳墓ニアラス第三永遠ニ安置セサルモノ即チ一時假リニ死骸ヲ納メタル場所亦同シ但シ永遠ニ安置スルト云フ條件ニ就テハ學者間多少ノ議論アル所ニシテ

三六

オツペンホツフ氏ノ如キハ之ヲ以テ墳墓ノ必要條件トシヘルチル氏ノ如キハ之ニ反對ノ説ヲ主張スレトモ所謂假埋葬ナルモノハ將來ニ於テ之ヲ改葬スルコトノ分明ナルモノニアラサルヲ以テ埋葬ノ當時ニ在テハ永遠ヲ期シタルモノト云ハサルヲ得ス若シ夫レ永遠タルコトヲ要セストセハ遂ニ死骸ノ存在スル所ハ何レノ所タルヲ問ハス盡ク之ヲ墳墓ト云ハサルヲ得ザルノ不都合ヲ生スルニ至ルヘシ

(所爲及犯意毀棄及發掘ノ所爲ハ總テ權利ナクシテ之ヲ爲シタルコトヲ要ス故ニ法律上ニ許容シタル火葬又ハ埋葬ノ權利アル者既ニ埋葬シタル遺骸ヲ改葬シタルカ如キ所爲ハ此罪ニ問フコトヲ得ス例ヘハ父タル者既ニ埋葬シタル其子ノ遺骸ヲ改葬スル所爲ノ如キ是ナリ然レトモ苟モ權利ナクシテ之ヲ爲ス以上ハ縱令善意ナルニモセヨ此罪ヲ構成スルニ充分ナリトス例ヘハ他人ニ屬スル墳墓ノ小ナルヲ憂ヒ其遺骨ヲ他處ニ改葬シテ莊麗ナル墓ヲ建立セシトスル所爲ノ如キハ毫モ惡意アルニアラスシテ善意ヲ以テシタルモノニ相違ナシト雖モ元來其所爲ハ權利ナクシテ之ヲ行フタルヲ以テ墳墓發掘ノ罪ヲ成立セシムヘシ畢竟スルニ權

利ノ有無ヲ以テ此罪ノ成立不成立ヲ判定スルノ標目トナスヘク敢テ惡意ニ出テ
 タルヤ否ヤヲ問フヲ要セサルナリ米國ペンシルバニア州ノ裁判所ハ此理ヲ推シ
 テ實ニ嚴格ナル裁判ヲ下シタル實例アリ即チ妻タル者既ニ埋葬シタル先夫ノ遺
 骸ヲ改葬シタル場合ニ於テ同裁判所ハ夫ノ死亡シタル後ハ夫妻ノ關係全ク斷絶
 スルカ故ニ妻ハ他人ト同シク先夫ノ遺骸ヲ左右スルノ權利ナキモノトシ縱令良
 意ニ出タルモ之ヲ墳墓發掘ノ罪トセリ此判例タル之ヲ一見スレハ實ニ過嚴ナル
 カ如シト雖モ若シ斯ノ如ク判決セサルニ於テハ到底停止スル所ヲ知ラサルニ至
 ルヘシ何トナレハ先夫ノ父ハ現在ノ墳墓ヲ以テ満足スルニ拘ハラヌ妻ハ己レノ
 好ム所ニ之ヲ移轉スルノ權利アリトセシカ遂ニ一家ノ安寧ヲ保維スヘカラサル
 ニ至レハナリ

〔刑罰埋葬スヘキ死屍ヲ毀棄スル罪ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上
 二十圓以下ノ罰金ヲ附加シ既ニ埋葬シタル死屍又ハ棺槨ヲ暴露スル罪ハ二月以
 上二年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處シ因テ死屍ヲ毀棄シ
 タル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加シ

皇室ニ對
 ルス罪
 總說

仍ホ其未遂犯ヲ問フヘキモノトス(第二百六十四條乃至第二百六十六條)
 以上ハ社會ノ靜謐ヲ害スル罪ヨリ宗教ニ關スル罪迄ニテ社會ニ對スル罪ヲ講了
 セリ依テ是ヨリ皇室ニ對スル罪ニ就キ講述セントス

第三篇 皇室ニ對スル罪

第一節 總說

皇室ニ對スル犯罪ハ其性質上ニ於テハ犯罪ノ物体ニシテ在位ノ君主タルト其他
 ノ皇族タルトノ區別ニヨリ國事犯ニ屬スルモノト常事犯ニ屬スルモノトアリ
 抑モ立君政体タル邦國ニ於テハ在位ノ君主ハ必ス國家ノ元首タルヘキモノニシ
 テ君主ハ即チ主權者ニシテ君主ノ名譽ハ主權者ノ名譽ナリ故ニ犯罪ノ目的ノ國
 事ニ關スルト否トヲ問ハス苟モ一國ノ君主タルコトヲ知リツ、之ヲ害スルモノ
 アレハ其所爲タル直接ニ主權者ヲ害スルノ罪ニシテ其名譽ヲ損スルモノハ主權
 者ノ威嚴ヲ損スル不敬ノ罪ナリ假令嚴刑ヲ以テ此等ノ罪ヲ處スルモ決シテ一私
 人ニ對スル犯罪トナスコトヲ得ス論者往々目的ヲ以テ此罪ヲ區別シ國事ノ目的
 ニ出ツルモノチ國事犯トシ其他ハ盡ク之ヲ常事犯トスレトモ是大ナル誤謬ニシ

テ苟モ君主則チ主權者ヲ害スル以上ハ其私怨ニ出ツルト否トナ問ハサルナリ
 之ニ反シ既ニ位ヲ讓リタル君主皇后皇太子及其他ノ皇族ノ如キハ在位ノ天皇ニ
 服從スルノ義務アルモノニシテ之ヲ主權者ト同視スルコトヲ得サレハ此等ノ皇
 族ニ對スル犯罪ハ常事犯ニ屬スルモノトス故ニ學理上ヨリ現行刑法ヲ論スルト
 キハ皇室ニ對スル犯罪ハ之ヲ國事犯ニ屬スルモノト常事犯ニ屬スルモノトノ二
 種ニ區別セサルヲ得ス

然レトモ在位ノ君主ニ對スル罪ヲ以テ國事犯トスルトキハ罪人引渡條約ニ依リ
 外國政府ニ對シ外國ニ逃走シタル犯者ノ引渡ヲ請求スルコト能ハサルカ如キ疑
 ナキ能ハスト雖國際法ハ各國ニ固有ナル憲法政体ノ如何ニ拘泥スルコト能ハサ
 ルヲ以テ國際法上ニ於テハ條約文ノ解釋モ自ラ其方法ヲ異ニスルノミナラス又
 特約ヲ以テ此等ノ場合ヲ規定スルコトヲ得ルカ故ニ決シテ此等ノ犯者ノ引渡ヲ
 請求スルコト能ハサルモノニ非サルナリ彼ノ白耳義國ノ如キハ其條約文ニ明記
 シテ君主ニ對スル危害罪ヲ犯シタル者ハ之ヲ引渡スコトニセリ

第二節 皇室ニ對スル國事犯

皇室ニ對スル國事犯ハ在位ノ天皇ニ對シ危害ヲ加ヘ又ハ如ヘントスルノ罪及不
 敬ノ罪トス今之ヲ分析説明セシニ

此犯罪ノ主体タルヘキモノハ我天皇陛下ニ對シテ服從ノ義務アル者即チ日本人
 民及ヒ日本ニ滞在スル外國人ナリトス故ニ外國ニ在ル外國人外國ニ於テ此罪ヲ
 犯スモ敢テ我刑法ノ問フ處ニアラスト雖其犯人ニシテ我國內ニ來ルトキハ我刑
 法ヲ以テ之ヲ處斷スルコトヲ得ヘキモノトス

(物体)此犯罪ノ物体ハ在位ノ天皇ノ生命身體自由及名譽トス即チ

(二)在位ノ天皇ナラサルヘカラス故ニ太上天皇三后皇太子及皇族ニ對スル罪ハ常
 事犯ニシテ國事犯ニ非ス又攝政ハ君主自ラ政ヲ行フ能ハサルトキ假リニ國政
 ヲ行フモノナルカ故ニ攝政ニ對スル罪ハ國事犯ニ非ス然レトモ皇室典範ニ依
 レハ攝政ハ皇室ニ限ルヲ以テ皇室ニ對スル常事犯トナルヘシ
 又篡位ノ君主ハ正當ノ主權者ニ非サルヲ以テ之ニ對シテ國事犯ナキモノトス
 是蓋篡位ノ君主ハ適當ナル即位及ヒ在位ノ條件ヲ有セサレハナリ即位ノ條件
 トハ君主ノ崩御讓位等ニ依リ當然位ニ即クヲ云フ我皇室典範ニ依レハ即位ノ

條件ハ唯崩御ノミナリトス又在位ノ條件トハ天皇タルニ必要ナル資格ヲ云フ然レトモ騷乱ノ際實力ヲ以テ此地位ヲ得正當ノ君主トナリ其權力ヲ實行スルモノハ此限ニ非ス

(二)此種ノ犯罪ハ天皇ノ生命身体自由若クハ名譽ニ對スルモノニシテ財産ニ對スルモノハ國事犯ニ非サルナリ而シテ不敬罪ノ物体タル名譽ナルモノハ通常人ノ名譽トハ異ナルモノニシテ君主ノ君主タル地位ニ相當スヘキ威嚴尊榮ナリトス

(犯意)此種ノ罪ヲ構成セシムルハ危害若クハ不敬ヲ加フルノ故意アルヲ要シ過失ニ係ル罪ヲ問ハス然レトモ古代ノ學者ガ君主ニ對シ敵意ヲ挾ムコトヲ要スルトノ説ハ危害ノ罪ヲ以テ必ス國事ニ關スル目的ニ出テサルヘカラストスル誤謬ニ坐スルノミ但シ君主タルコトヲ知ラスシテ犯シタルモノハ故意ナキニアラスト雖モ罪トナルヘキ事實ヲ知ラサルモノナレハ(第七十七條第六項)通常ノ犯罪トシテ之ヲ罰スルノ外他ニ其道ナカルヘシ

(三)先帝及皇族ニ對シテハ危害ノ罪ナシト雖モ不敬罪ニ至リテハ之アルモノトス

即チ在位ノ天皇ニ對スル間接誹毀ナリトス

(所爲)刑法ハ天皇三后皇太子ニ對シ危害ヲ加ヘ又ハ加ヘントシタル者ヲ同一ノ刑罰ニ處スルト雖モ加ヘントシタルトハ如何ナル程度ノモノナルカ或ハ未遂犯マテナモ含蓄スルヤノ疑問アリ今日學者ノ解釋ニ依レハ豫備隱謀及未遂犯ヲ含蓄スルモノトセリ

(手段)犯罪ノ手段如何ニ就テモ法文ハ時ニ之ヲ規定スルコトナキヲ以テ如何ナル手段ト雖モ此犯罪ヲ構成スルコトヲ得ヘシ不敬罪ノ如キモ亦必スシモ公然ノ演説刊行ノ文書等通常人ノ名譽ニ關スル犯罪ニ必要ナル手段ヲ用ユルコトヲ要セス

(刑罰)危害ノ罪ハ死刑ニ處シ不敬ノ罪ハ三月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス其輕罪ノ刑ニ止ルモノト雖モ仍ホ六月以上二年以下ノ監視ニ附ス

第三節 皇室ニ對スル常事犯

皇室ニ對スル常事犯ハ在位ノ天皇ノ外其他ノ皇族ニ對シ危害ヲ加ヘ又ハ加ヘン

皇室ニ對スル常事犯

トスル罪及ヒ不敬罪ノ二種トス(第百十六條乃至第百十九條)而シテ其犯罪ノ主体ニ就テハ別ニ記スヘキモノナク所爲及手段ニ就テハ國事犯ノ場合ト異ナルコトナシ

(物体)此犯罪ノ物体ハ太上天皇三后皇太子及ヒ其他ノ皇族トハ纂位ノ君主ノ皇族及ヒ攝政ニ就テハ國事犯ニ於ケルモノト同シケレハ畧スヘシ
(犯意)此罰ヲ構成センニハ必ス危害ヲ加ヘ又ハ不敬ヲ加フルノ故意アルヲ要ス然レドモ在位ノ天皇以外ノ皇族ニ對スル罪ハ前章ノ理由ヨリ設令國事ニ關スル目的ニ出ツルモ尙其罪質ニ至テハ之ヲ常事ニ屬スルモノト云ハサルヲ得ス
(刑罰)太上天皇三后皇太子ニ對スル危害ノ罪及ヒ不敬罪ハ在位ノ天皇ニ對スルモノト同一ノ刑ヲ科シ其他ノ皇族ニ對シテハ危害ヲ加ヘタルモノハ死刑ニ處シ危害ヲ加ヘントシタルモノハ無期徒刑ニ處シ不敬ノ所爲アルモノハ二日以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス其輕罪ノ刑ニ係ルモノハ六月以上二年以下ノ監視ニ附ス

第四篇 國家ニ對スル罪

國家ニ對スル罪

第一章 國事犯

第一節 國事犯一般ノ性質

國事犯一般ノ性質

國事犯罪ニハ廣狹ノ二意アリ其廣義ニ於テハ在位ノ天皇ニ對スル罪朝憲ヲ紊亂スルノ罪外國ニ對スル罪及ヒ公權ノ施行ヲ抗拒スル罪ノ四者ヲ包含シ狹義ニ於テハ君主ニ對スル危害ノ罪及朝憲紊亂ノ罪ヲ包含スルモノトス而シテ今茲ニ論ゼントスル所ノモノハ所謂狹義ノ場合ナレトモ君主ニ對スル罪ハ既ニ論シタルヲ以テ唯タ狹義中ノ者則チ我刑法ノ以テ國事犯トナス朝憲紊亂ノ場合ヲ論ゼントス

國事犯ニ付キ古來學者ノ下セル定義ハ其數甚タ少ナカラスト雖モ概チ皆味味模糊トシテ其眞意ヲ明ニスルニ足ラス偶々其定義ヲ示シタルモノアレハ昔時學者ノ曾テ與ヘタル所ノ糟粕ニシテ一モ取ルニ足ルモノナシ蓋此犯罪タル頗ル複雜シテ容易ニ完全ナル定義ヲ下タスコト能ハサルニ由ルヘント雖モ學者概テ國法學ヲ究メス單ニ沿革ニ成リタル古來ノ成典ニ拘泥シ學理上ノ考察ヲ下スコトヲ務メサルニ原因スルモノト云ハサルヲ得ス余モ此定義ニ付キ思考ヲ費シタル

モ未タ確固タルノ定説ヲ得ス學者ノ説ハ如何ニト試ミニ諸書ヲ精閲シタリト雖
 モ一モ取ルニ足ルモノアルコトナシ唯タ博士クニツシキ一氏ノ定義稍々完全ナル
 ナ覺フノミ氏ノ定義ニ曰ク國事犯トハ國家ノ自斷權ヲ侵害シ以テ現存スル憲法
 國土ヲ變亂シ又ハ國主ノ一身ヲ犯スノ所爲ヲ云フト此定義ノミニテハ他ノ諸説
 トノ區別ヲ知ル難ケレハ諸學者ノ説ト比較對照シテ論セサルヘカラス
 通常學者ハ國事犯ヲ以テ國家ノ存立ヲ害スルノ所爲ナリト云ヒ現世紀ノ始メニ
 當リ盛ニ唱道シタル所ノモノナレトモ之ヲ道理ニ照ストキハ適當ナリト云フナ
 得ス何トナレハ國家ハ國事犯ニ依テ消滅スルモノニ非ス唯タ其体面ニ變更ヲ來
 スノミナレハナリ然ルニ學者其説ヲ強固ニセントシ舊國倒レテ新國起ル場合即
 チ君主政体ヲ變シテ共和政体トナシ又タ共和政体ヲ君主政体トナシタルモノナ
 以テ之ヲ證スレトモ是レ政体ノ變更ニシテ新政府ハ舊政府ノ有シタル權利義務
 ナ繼承シタルニ過キス若シ國事犯ヲ以テ學者ノ説ノ如クセハ暴力ヲ用ヒス平和
 ノ手段ニ依リ正當ニ其憲法ヲ改正變更スルトキモ常ニ新國生シテ舊國ノ權利義
 務ヲ繼承シタルモノナレハ亦國事犯ト云ハサルヲ得サルニ至ルヘシ故ニ政体ノ

變更ヲ以テ國家ノ存立ヲ害スルモノトナスノ不可ナルヲ知ルヘキナリ
 博士フニードル氏ノ如キハ此非難ヲ免ル、カ爲メ説ヲナシテ曰ク暴力ニ出テタル
 憲法ノ改正ハ必ス國家ノ一個人タル資格ヲ害スルモノニシテ此一個人タルノ資
 格ヲ害セラル、トキハ合セテ自斷權ヲ害セラルヘシ凡ソ國家ノ國家タル所以
 ノモノハ一個人ノ資格ヲ有シ自ラ活動スルノ權力即チ自斷權アルヲ以テナリ若
 シ其權力ナクンハ國家ハ意志ナキ死物ナリ死物ノ國家豈ニ能ク自ラ活動スルヲ
 得ヘケンヤ故ニ國家カ完全ノ意志ヲ有シ其意志ニ依リ憲法ヲ變更スルハ少シモ
 妨ケサル所ナレトモ暴力ヲ用ヒ國家ノ意志ヲ顯シタル所ノ憲法ヲ變更スルトキ
 ハ其自斷權ヲ害シタルモノナリト是フニードル氏ノ説モ尙ホ幾分カ充分ナラサ
 ルノ點アルヲ以テ今日ノ學者ハ之ニ少シノ修正ヲ加ヘタリ
 此自斷權タルヤ國家カ其意志ニ從ヒ自由ニ活動スル所ノ權力ナリ故ニ國事犯者
 カ自己ノ意志ヲ以テ國家ノ意志ヲ變更シ國家ノ自由ニ動ク所ノ權力ヲ侵害スル
 ハ國事犯ノ所爲タルナリ故ニ苟モ此權ヲ侵害スル以上ハ必スシモ暴力ニ由ルヲ
 要セサルナリ假令ハ內閣大臣自己ノ私意ヲ逞フシ國會ノ議決ヲ待タスシテ法律

ヲ頒布シ之ヲ實行シタル場合ノ如キハ一己人ノ私意ヲ以テ一般ノ意志ニ代ヘ以テ國家ノ自斷權ヲ犯シタルモノナレハ國事犯ト云ハサルヲ得サルナリ之ニ反シ騷亂ヲ起スモ國家ノ自斷權ヲ害セザルトキハ國事犯ト云フヲ得ス假令ハ行政又ハ司法處分ノ施行ニ對シ大兵ヲ以テ之ニ抵抗シタル如キハ少シモ國家ノ自斷權ニ影響ヲ及ホスモノニ非ザルナリ

又憲法國土及君主ハ國家ヲ組織スルノ要素ナレハ不法ニ其一ヲ變更シタルトキハ國家ノ自斷權ヲ害シタルモノト云フヘシ故ニ此三者ハ國家組織ニ必要欠クヘカラサルモノナリ然レトモ國土ニ就テハ或學者ハ無形人ナル國家ヲ組織スルニ國土ナシト雖モ組織スヘカラサルモノニ非レハ國土ハ必要ナルモノニ非スト云ヘリ嚴格ナル理論ヨリ考フルトキハ或ハ然ラズ然レトモ實際空中ニ國家ヲ構造スルコトヲ得サルヲ以テ國土モ亦國家組織ノ一要素トシテ論スルヲ正當ナリトス

前定義ニ示シタル如ク國事犯ハ國家ノ自斷權ヲ害シ合セテ現存スル憲法國土及君主ノ一ヲ侵害スルモノナルヲ以テ自斷權ヲ害シタルノミニテ他ノ一ヲ害セザ

内亂ニ關スル罪

第二節 内亂ニ關スル罪

ルトキハ狹意ノ國事犯ヲ組成セサルコトアリ假令ハ腕力ヲ用ヒ國會ノ議場ヲ妨ケ或ハ脅迫ノ手段ニ依リ法律ノ制定ヲナサ、ラシムル如キハ充分國家ノ自斷權ヲ害シタルモノナレトモ現存ノ憲法ニハ如何ナル影響ヲ及ホサ、レハ狹意ノ國事犯ニ非スシテ參政權ヲ害シタル廣義ノ國事犯トハナル者ナリ故ニ國事犯ハ國家ノ自斷權ヲ害シ合セテ憲法國土及君主ノ一ヲ害シタル者ナラサルヘカラス

刑法第二百一十一條ニ於テ「政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他期憲ヲ紊亂スルコトヲ目的トナシ内亂ヲ起シタル者」云々ト規定シタルハ是内亂ニ關スル犯罪ナリ今此法文ニ從フトキハ我刑法ノ内亂ニ關スル罪即チ國事犯ハ政府ヲ顛覆シ邦土ヲ僭竊シ其他期憲ヲ紊亂スルコトヲ目的トシタル内亂ノ所爲ヲ罰スルモノ、如シ何トナシ其期憲ヲ紊亂スルコトヲ目的トシタル内亂ノ所爲ヲ罰スルモノ、如シ何トナレハ明テカニ政府顛覆邦土僭竊期憲紊亂ヲ目的トシテ内亂ヲ起シタルモノハ云々ト規定セルヲ以テナリ此ノ如ク我刑法ハ犯罪ノ目的ヨリ定義ヲ下シタレトモ既ニ汎論ニ詳述シタル如ク目的ハ各人各異ノ性質ヲ帶フルモノニシテ各人各異

ノ性質アル目的ノ異同ヲ以テ犯罪ヲ區別スルハ其當ヲ得タルモノニ非ス若シ夫レ單ニ法文ノ字句ニ拘泥シ目的ヲ以テ本罪ヲ構成スルノ要素ト解スルコトアラハ宗教改革ヲ目的トナシ内乱ヲ起シタルニ其結果タルヤ朝憲ヲ紊乱スルモ本條ニ依テ之ヲ罰スルヲ得サルニ至ルヘシ又現在朝憲ヲ紊乱スルモ其目的タル唯私慾ヲ遂クル爲メナルトキハ亦之ヲ國事犯トナスヘカラサルニ至ラシ余ノ前篇ニ於テ皇室ニ對スル犯罪ヲ論スルニ際シ目的ノ國事ニアルト私慾ニ出ツルトヲ問ハス其在位ノ天皇タルコトヲ知リツ、之ニ對シテ危害ヲ加フルモノハ即チ國家ノ主權者ヲ害スルモノナリト謂フモ亦同一理ト云フヘシ之ニ反シ内乱ヲ起シ兵ヲ舉グルモノアリトモ爲メニ朝憲ヲ紊乱シ邦土ヲ僭竊スルコトナキモノハ國事犯トシテ之ヲ罰スルヲ得ス是ヲ以テ朝憲ヲ紊乱スルノ目的ヲ以テ内閣大臣ヲ謀殺スルモ實際朝憲ヲ紊乱スルモノニ非レハ國事犯トハナラサルナリ然レハ刑法第百二十三條ニ政府ヲ顛覆スルノ目的ヲ以テ人ヲ謀殺シタル者ハ云々ト規定セルモ真正ノ國事犯ニ非スシテ唯之ニ準シテ規定シタルニ外ナラサルナリ我刑法ノ如ク目的ニ隨ヒ國事犯ト常事犯トノ區別ヲナセハ彼ノ英法ニ規定スル如ク目的

二

ハ如何ナルモ政府ニ對シ内乱ヲ起スモノハ總テ國事犯ナリトナスヨリモ尙ホ不可ナル規定ナリト謂ハサルヲ得ス故ニ我刑法ノ國事犯ヲ解釋セント欲セハ目的ナル文字ニ拘泥スルコト能ハサルヤ知ルヘシ又我刑法ニ政府ヲ顛覆シ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊乱スルノ目的ヲ以テ内乱ヲ起シタル者ト規定シタルトモ内亂ハ犯罪ノ手段ニ過キサルヲ以テ此ノ手段ニ依リ政府ヲ顛覆シ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊乱スルノ所爲ハ即チ國事犯タルナリ然レトモ内亂ノ手段ヲ用ヒ朝憲政府國土ノ一ヲ現ニ變更セハ是ト同時ニ新憲法ヲ制定スルモノナルヲ以テ法律ハ其所爲ヲ罪トシ之ヲ罰セントスルモ得ヘケンヤ故ニ法律ノ罰スル點ハ其内亂ノ所爲ヲ遂クヘキ企圖ヲ罰スルニ過キサルモノトス此ニ稱スル企圖トハ其企圖カ直ニ朝憲ヲ紊乱スルニ足ルノ手段タル所爲ヲ云フモノナリ故ニ内亂ニ依リ朝憲ヲ紊乱スル所ノ所爲ノ未遂犯ハ即チ朝憲紊亂ノ結果ヲ發生スヘキ内亂ノ所爲ノ既遂犯ナリ而シテ現行刑法ニ於テハ全ク此已遂犯ヨリ犯罪タル所爲ヲ定メタルヲ以テ其法文ヲ解釋スルニ當リテハ之ヲ政府顛覆邦土僭竊其他朝憲紊亂ノ結果ヲ生スヘキ内亂ノ罪トセサルヲ得サルナリ

(主体)國事犯ノ主体タルヲ得ヘキモノハ日本國ニ服從スル義務アルモノニシテ皇室ニ對スル國事犯ノ主体ト少シモ差異アルコトナシ
 (物体)國事犯ノ物体タルヘキモノハ國家ノ自斷權ナリ然レトモ此自斷權ハ憲法ニ於テ始メテ其形ヲ現ハスモノナレハ直接ニ被害ノ物体タルヘキモノハ朝憲ト云フヘキナリ我刑法ノ正條ニハ政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊乱スルモノハ云々ト云ヒ三種ノ場合ヲ規定シタルヲ以テ此三個ノ場合ハ互ニ相異ナル如クナレトモ政府顛覆邦土僭竊モ尙ホ朝憲紊乱ノ所爲ナレハ特ニ之ヲ記載スルノ必要アラサルヘシ然ルニ此ノ如キ規定ヲナシタルハ蓋立法官小説的ノ思想ヲ抱キタルヨリ生シタルナラン

(犯意)内乱ノ罪ハ必スシモ惡意アルヲ要セス故意アルヲ以テ足レリトス或學者ハ惡意アルヲ要スト論スレトモ別ニ惡意ト稱スルニ及ハス唯憲法ヲ紊乱スルノ結果ヲ生スヘキコトヲ知ルノ意志アレハ可ナリ特ニ之ヲ惡意ト云フヲ得サルヘシ又其結果ヲ知ルノ意志ナケレハ第七十七條ニ規定シタル罪トナルノ事實ヲ知ラサルモノハ云々ノ場合ニ適合シテ犯罪成立スヘキモノニ非サルナリ

三

(所爲)内乱ノ所爲ハ戰爭一揆等ニシテ必スシモ英國法ノ如ク兵ヲ擧グルコトヲ要セス凡テ國內ニ於ケル暴動ヲ指示スルモノナレトモ其所謂暴動ナルモノハ有形的即チ腕力上ノ暴動ナルカ或ハ無形的ノ暴動ヲモ包含スルヤ否ヤハ學者間ニ於テ議論ノアル所ニシテオツペンホツア氏ハ無形的ノ場合ヲモ包含スルモノトセリ然レトモ單ニ脅迫ノミニ止ルトキハ内乱ノ所爲トハナサルナリベルチル氏モ亦此說ニ同意シテ曰ク上ヨリ爲ス暴行即チ公權ヲ濫用シ法律又ハ憲法ニ反シ違令命令ヲ發シテ之カ實行ヲ企ツル如キハ國事犯トナルヘキナリト假令ハ在朝ノ大臣憲法ニ反シタル法律ヲ實行セント企テタル場合ノ如キヲ云フナリ是ニ由テ之ヲ觀レハ無形ノ暴行ハ有形ノ暴行ト脅迫トノ中間ニ存スルモノナリ然レトモヨーンシツツエー等ノ學者ハ之ニ反對シテ無形ノ暴行ハ此犯罪ヲ構成スヘキモノニ非サルコトヲ主張セリ
 我刑法ハ内亂ノ所爲ノミヲ以テ國事犯トナセハ無形ノ暴行ハ含蓄スルモノトナスコトヲ得サレハ無形暴行ノ未遂犯罪及豫備穩謀等アリト雖モ悉ク之ヲ罰スルヲ得サルナリ

又我刑法ハ必スシモ内亂ヲ起スヲ要セス内亂ノ爲メ兵器彈藥船舶金穀其他軍備ノ物品ヲ掠奪シタルモノハ内亂ヲ起シタルモノト同視セリ(第二百二十二條)

又第二百二十三條ニ於テ政府ヲ變亂スルノ目的ヲ以テ人ヲ謀殺シタル者ハ兵ヲ擧グルニ至ラスト雖モ内亂ト同シク論ストアリ然レトモ前ニ論シタル如ク假令内亂ノ目的ニ出ストモ目的ニ依テ犯罪ヲ定ムルコト能ハサルヲ以テ此第二百二十三條ハ單正ナル國事犯ノ性質ヲ具備スルモノニ非レハ特ニ之ヲ規定スルノ必要ヲ見サルナリ或ル學者ハ其目的内亂ニ在レハ是レ亦國事犯ナリト云ヘリ若シ果シテ然リトセハ甚タ不都合ナル結果ヲ生スルニ至ラン何トナレハ法文ニ人ヲ謀殺シタルモノ云々トアル其人トハ畜ニ在朝ノ大臣ニ止マラサレハ政府ヲ變亂スルノ目的ニ因リ小兒ヲ謀殺シタルトキモ内亂ト云ハサルヲ得サルニ至レハナリ

(已遂未遂)國事犯ハ未遂ノ場合ニ於テ本刑ヲ科スルヲ以テ原則トス何トナレハ法律ハ朝憲紊亂ノ已遂ハ之レヲ罰スルコト能ハサレハナリ但シ我刑法ハ之ヲ已遂トナス者ニ非ラスシテ内亂ノ所爲ヲ已遂トナシ之ニ制裁ヲ加フルモノナレハ別ニ未遂罪ノ正條ヲ設クルノ必要ナシ然ルニ第二百二十四條ニ於テ内亂ノ未遂ハ本

刑ヲ科スヘキコトヲ規定シタリ故ニ我刑法ノ國事犯ヲ朝憲紊亂トナシ此點ヨリ推考スルトキハ第二百二十四條ハ朝憲紊亂ノ未遂ナル内亂ノ所爲ノ未遂ニ本刑ヲ科スル者ト云フヘキナリ

(豫備陰謀)國事犯ハ國家ニ對スル重大ナル犯罪ナレハ豫備陰謀ヲ罰シテ其害ヲ防遏スルハ甚タ正當ニシテ各國皆ナ同一ノ規定ニ出テタリ然レトモ我刑法ハ各國ト異ナリ嚴ニ失スルノ誹リヲ免レヌ何トナレハ刑法ノ豫備陰謀ハ朝憲紊亂ノ豫備陰謀ニ非スシテ内亂ノ所爲ノ豫備陰謀ナレハナリ是ヲ以テ朝憲紊亂ノ豫備陰謀ハ反テ之ヲ罰スルコト能ハサルノ結果ヲ生スヘシ(第二百五條)

(共犯)内亂ノ罪ハ必スシモ多數アルヲ要スヘキモノニ非サルモ數人共犯ノ場合ニ係ラサルモノハ殆ント之ヲ絶無ト云フヘキノミナラス往々數千萬ノ共犯者アルヘキモノナルヲ以テ從テ之ヲ處分スルコト甚タ困難ナリ是ヲ以テ我立法官ハ第二百一十一條ニ於テ特ニ共犯例ヲ設ケ其困難ヲ避ケントセリ第一首魁及ヒ教唆者第二群集ノ指揮ヲ爲シ其他樞要ノ職務ヲ爲シタル者第三兵器金穀ヲ資給シ又ハ諸般ノ職務ヲ爲シタル者第四教唆ニ乘シテ附加隨行シ又ハ指揮ヲ受ケテ雜役

ニ供シタル者トセリ然レトモ此特例ハ學理ニ準據シタル者ニ非スシテ當時西南ノ役後ニ際シ其人數甚タ多クシテ困難シタルヲ想像シタルニ出タルナルヘシ殊ニ附加隨行者ヲ悉ク從犯トナス時ハ酷ニ失スルノ憂アルヲ以テ此規定ヲナシタルニ過キサルナリ故ニ五人或ハ六人ヨリ成立シタル共犯者ヲ處分シ現行ノ法律ヲ適用センニハ又タ大ナル困難ヲ生スヘキナリ何トナレハ僅々タル數人中尙ホ首魁及ヒ補佐者ヲ定メサルヲ得サレハナリ今我刑法ノ共犯例ヲ再記セハ左ノ如シ

一、首魁及教唆者

死刑

二、群衆ノ指揮ヲ爲シ其他樞要ノ職務ヲ爲シタル者

無期流刑其情輕キモノハ有期流刑

三、兵器金銀ヲ資給シ又ハ諸般ノ職務ヲナシタル者

重禁獄其情輕キモノハ輕禁獄

四、教唆ニ乘シテ附加隨行シ又ハ指揮ヲ受ケテ雜役ニ供シタル者

二年以上五年以下ノ輕禁錮

此ノ如ク共犯例ヲ設ケタリト雖モ各部分ノ教唆者ニ付テハ別ニ之ヲ規定セサレハ總則ノ例ヲ處分スヘキナリ又タ國事犯全体ノ教唆者ハ首魁ト同一ニ論シテ別ニ之カ區別ヲナスノ必要ヲ見サルナリ

又我刑法ハ第二百二十七條ヲ以テ從犯ニ就キ一ノ特例ヲ設ケタリト雖モ別ニ之ヲ論スルコトヲ要セス

(數罪俱發)凡ソ内亂ノ所爲ハ一ノ所爲ノミニ非スシテ數多ノ所爲ノ集合シタル者ヨリ組成スルモノナルヲ以テ其各分子ナル所爲ニシテ同時ニ他罪ヲ構成スルニ當リテハ數罪俱發シタルモノ、如キ觀アリト雖モ法律ニ於テ内亂ノ所爲ヲ定メタル以上ハ其所爲中ニ含ム所ノ所爲ハ個々ノ別罪ヲ爲スニ非スシテ想像的ノ數罪俱發ナリ然レハ内亂ノ所爲ニハ如何ナル所爲ヲ含ムヤハ豫メ一定スルコトヲ得ズ之ヲ知ラシニハ唯普通ノ意義ニ從フテ解釋スルノ外他ニ方法ヲキモノト思惟スルナリ此普通ノ意義トハ通常人ノ思考ニヨリ其所爲ハ内亂ノ所爲ニ含ムトナカカ或ハ然ラヌトナスカノ如キ方法ニ依テ判別スルヲ云フモノナリ是ヲ以テ如

何ニ多シノ所爲ト雖モ内乱ノ所爲中ニアルモノハ皆數罪俱發トナスヲ得ヘシ之
 ニ反シテ其所爲カ内乱ノ所爲外ニ涉リタルトキハ如何ニ密接シタル者ト雖モ純
 然タル數罪俱發ニシテ内乱ノ所爲ト云フヘカラス假令ハ官軍ニ抵抗シテ官兵ヲ
 殺シタルハ内乱ノ所爲ナレトモ若シ戰爭中味方ノ兵ヲ斬殺スル如キハ内乱ノ所
 爲トナスヲ得ス又内乱ヲ起シ猥リニ人家ニ放火シタル如キモ亦内乱ニ必要ナル
 者ニ非サルナリ故ニ是等ハ常事犯トシテ別罪ニ問フヘキナリ
 又刑法第二百二十八條ニ内乱ニ乘シテ人ノ身体財産ニ對シ内乱ノ目的ニ關セサル
 重罪輕罪ヲ犯シタルモノハ通常ノ刑ニ照シテ重キニ從テ處斷スト云ヘルハ即チ
 内乱ノ所爲中ニ入ラサルノ場合ヲ規定シタルモノニシテ此理由ヲ推ストキハ内
 乱ノ豫備陰謀ハ多ク内乱ノ所爲トナラス他ノ刑名ニ觸ル、者ナレハ數罪俱發又
 ハ常事犯ヲ以テ之ヲ罰セサルヘカヲサルナリ假令ハ内乱ヲ起サントシ金錢ノ不
 足ヲ生シタルヲ以テ強盜ノ手段ニ依リ金錢ヲ集ムル如キ内乱ノ所爲ニ非スシテ
 純然タル強盜罪ナリ何トナレハ内乱ニ要スル金錢ハ敢テ強盜ノ手段ヲ用ヒサル
 モ充分集聚スルヲ得ヘケレハナリ是恰カモ刀ヲ以テ人ヲ殺サントシ其刀ヲ盜ミ

タルトキハ竊盜タルト少シモ異ナルコトナシ是ヲ以テ内乱ノ豫備陰謀ハ其所爲
 カ他ノ犯罪ヲ構成セサル時ニ於テ始メテ内乱ノ豫備陰謀ノ所爲ニ包含スヘキモ
 ノトス

〔刑罰〕首魁及ヒ教唆者ハ死刑ニ處シ樞要ノ職務ヲナシタルモノハ情狀ノ輕重ニ從
 ヒ無期流刑又ハ有期流刑ニ處シ諸般ノ職務ヲ爲シタルモノハ重禁獄又ハ輕禁獄
 ニ處シ附加隨行シ又ハ雜役ヲ爲シタルモノハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ
 其輕罪ノ刑ニ處スルモノハ尙六月以上二年以下ノ監視ニ附ス然レトモ豫備ノ所
 爲アルモノハ一等ヲ減シ隱謀ニ止マルモノハ二等ヲ減シ未タ其事ヲ行ハサル前
 ニ於テ官ニ自首スルモノハ本刑ヲ免シ單ニ六ヶ月以上三年以下ノ監視ニ附ス〔第
 百二十一條乃至第二百二十八條及第三百三十五條〕

外患ニ關
 スル罪

第三節 外患ニ關スル罪

現行刑法ニ於テハ外患ニ關スル罪ハ外國ニ對シ交戰中ナラサレハ之ヲ組成スル
 モノニ非ス是此罪ニ就テ注意スヘキ所ノ時ニ關スル一ノ區別ナリトス或ル學者
 ハ交戰中ナラサルモ尙ホ外患罪ヲ構成スルコトヲ得ヘキモノトスレトモ法文ニ

依リ之ヲ推考スルトキハ決シテ正當ナル説ト云フヲ得ス然レトモ實際戰爭ヲ起シ彈丸ヲ飛シ劍戟ヲ弄スルノ場合ノミヲ指シタルニ非ス或ル外國ヲ以テ敵國ト布告シタルトキハ實際戰ヲ交ヘサルモ法文ニ所謂交戰中ナル者ナリ是ヲ以テ第百二十三條ノ私ニ外國ニ對シ戰端ヲ開キタルモノ云々ノ場合ハ交戰中ニ非レハ眞正ノ外患ニ非スシテ外國ニ對スルノ罪ナリ然ルニ我刑法ハ此ノ所爲ヲ以テ外患ニ關スル犯罪中ニ規定シタルハ道理ニ依リタル者ニ非スシテ單ニ便宜上ヨリ規定シタルニ外ナラサルヘシ今外患ニ關スル罪ヲ分折スレハ左ノ如シ

(主体) 日本人民又ハ我國ニ滞在スル外國人ナリ然レトモ軍人軍屬ハ陸海軍ノ刑法ニ於テ支配セラル、モノナレハ是等ノ人ニシテ此犯罪ヲ犯スコトアルモ普通刑法ニ依リ處分スルコトヲ得サルナリ

(物体) 凡ソ主權ハ內國ニ對シテ行ハレ又外國ニ對シテ行ハル、モノナリ外患ニ關スル罪ノ物体ハ此外國ニ對スル日本國ノ主權ナリトス故ニ刑法第百三十三條ノ場合ノ如キハ毫末モ日本ノ主權ヲ害スルコトナク其直接ノ被害者ハ外國ノ主權者タルヲ以テ之ヲ外患ニ關スル犯罪トハナスコトヲ得サルナリ

外患罪ノ所爲及刑罰左ノ如シ

- 一、外國ニ與シテ本國ニ抗敵シ又ハ外國ト交戰中同盟國ニ抗敵シ其他本國ニ背叛シテ敵兵ニ附屬シタル者ハ死刑ヲ以テ其罪ヲ論ス(第百二十九條)
- 二、助勢ノ罪 交戰中敵兵ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシメ若クハ本國及同盟國ノ都府、城塞又ハ兵器、彈藥、船艦其他軍事ニ關スル土地家屋物件ヲ敵國ニ交付シタルモノハ死刑ニ處ス(第百三十條)
- 三、秘密漏泄ノ罪 本國及ヒ同盟國ノ軍情機密ヲ敵國ニ漏泄シ若クハ兵隊屯集ノ要地又ハ道路ノ險夷ヲ敵國ニ通知シ又ハ敵國ノ間諜ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシメ若クハ之ヲ藏匿シタル者ハ無期徒刑ニ處ス(第百三十一條)
- 四、軍備ノ欠乏ヲ致スノ罪 陸海軍ノ委任ヲ受ケ物品ヲ供給シ及ヒ工作ヲ爲スモノノ交戰ノ際敵國ニ通謀シ又ハ其賄賂ヲ收受シテ命令ニ違背シ軍備ノ欠乏ヲ致シタル者ハ有期流刑ニ處シ仍ホ輕罪ノ刑ニ處スル場合ニ於テハ前三項ノ罪ト等シク之ヲ六月以上二年以下ノ監視ニ附ス(第百三十二條及第百三十五條)

第二章 外國ニ對スル罪

日本人民及本國在留ノ外國人ハ日本國ノ主權ニ服從スルノ義務アリト雖モ外國ノ主權ニ服從スルノ義務アルコトナケレハ外國ニ對シ如何ナル舉動ヲナスモ國事犯トナルコトナシ然ルニ我刑法ニ於テ此罪ヲ設定シタルハ學者ノ譏ヲ避ケントスルモ能ハサル所ナリ何トナレハ日本人ノ外國ニ對シテ此犯罪ヲナシタルトキハ我國之ヲ罰シ外國ノ人民我國ニ對シテ此所爲ヲナスモ外國ハ其國ノ主權ヲ害スルコトナキヲ以テ之ヲ罰スルコトナカルヘケレハナリ故ニ我刑法ハ我國ニ取リテ少シモ痛痒相關セサル犯罪ヲ罰スルモノト云フヘキナリ彼ノ英國ノ主權トナリ其名ヲ海内ニ轟シタルピールコンスフィールド侯ハ法律家ニ非サレトモビ、アングレー(侯カ英國ノ總理大臣トナルニ先タテ其外交政畧ヲ世人ニ示サンカ爲メ著述シタルモノ)ナル小説ヲ著ハシ其小説中語ヲ親王リ、ブットノ口ニ假リ「己ノ當ニ奉スヘキ君主ニ非サルモノニ對シテ國事犯トハ何ソヤ」ト云ヘルハ眞ニ能ク此意ヲ得タルモノト云フヘシ然レトモ特別ニ條約アルカ又ハ外國ノ刑法ニ此罪ヲ規定シ相互ニ之レヲ罰スルコトヲ定メタルトキハ外國ノ告訴ニ依リ之ヲ罰スル

ハ敢テ不都合トセサル所ナリ彼ノ獨逸國ノ如キハ是等ノ罪ヲ和親國ニ對スル罪ト稱シ外國ノ君主ニ對スル不敬罪等ハ本國ノ君主ニ對スルモノヨリハ稍輕キ刑罰ニ處スト雖モ而モ通常ノ誹譏罪等ヨリハ重キ刑罰ニ處スルカ如シ但シ外國ニ於テモ此罪ヲ規定スル場合ニ限り之ヲ適用スルコト、セリ而シテ我邦ノ如キ治外法權ノ存スル今日ニ於テハ日本人民ニシテ外國ニ在テ此等ノ罪ヲ犯シタルトキハ外國ノ法律ニ依リ處斷セラルヘキモ本邦在留ノ外國人ニシテ此等ノ罪ヲ犯スモ我刑法ニ依リ之ヲ處斷スルヲ得ス我刑法ハ外國ニ對スル二個ノ犯罪ヲ認メタリ即チ第一、外國ニ對シ私ニ戰端ヲ開キタル罪(第三百三十三條)第二、局外中立ノ布告ニ違背シタル罪(第三百三十四條)是レナリ(主体)此犯罪ノ主体ハ一人タル日本人又ハ本國在留ノ外國人ナリ故ニ日本政府ハ此犯罪ノ主体トナルヲ得ス若シ日本政府ニシテ外國ニ對シ戰端ヲ開キタルトキハ公法上ノ戰爭ニシテ外國ニ對スルノ犯罪ニ非サルナリ(物体)外國ノ主權ハ此犯罪ノ被害物体ナリ然レトモ我刑法ノ如ク此罪ヲ定メタル

トキハ法律ニ背反スルノ所爲ト謂フヲ得ヘキモ我國ノ主權ヲ害シタル者ニ非レハ國事犯トナルコトナシ

(所爲)戰端ハ此犯罪ノ所爲ニシテ其戰端トハ如何ナル場合ヲ指示スルカハ只之ヲ普通ノ意義ニ依テ定メサルヘカラス元來此犯罪ハ一個人ト外國政府トニ關スルノ所爲ニシテ國ト國又ハ人民ト人民トノ關係ナルトキハ決シテ此犯罪トナラサルナリ又局外中立ヲ破ルノ罪ハ其處爲一様ナラス外國ト外國ト戰爭中本國ニ於テ時々布告シタル法律ニ依リ之ヲ知ルヘキノミ

(刑罰)外國ニ對シ私ニ戰端ヲ開キタル者ハ有期流刑ニ處シ其豫備ニ止ルモノハ一等又ハ二等ヲ減シ外國交戦ノ際本國ニ於テ局外中立ヲ布告シタル時其布告ニ違背シタル者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス但シ輕罪ノ刑ニ處スルモノト雖モ仍ホ六月以上二年以下ノ監視ニ附ス(第三百三十三條乃至第三百三十五條)

第三章 官權ノ執行ニ抗スル罪

第一節 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

官權ノ執行ニ抗スル罪
 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

現行刑法ノ規定ニ依レハ官吏ノ職務執行ヲ妨害スル罪ヲ分テ二トス即チ(一)抗命ノ罪(二)官吏侮辱ノ罪是レナリ

(一)抗命ノ罪

刑法第二百二十九條ノ明文ニ依レハ此ノ抗命ノ罪ハ官吏其職務ヲ以テ法律規則ヲ執行シ又ハ行政司法官署ノ命令ヲ執行スルニ當リ暴行脅迫ヲ以テ之ニ抗命シ(第三百二十九條)又ハ暴行脅迫ヲ以テ其官吏ノ爲スヘカヲサルコトヲ行ハシムル者モ亦同シ(同第二項)ト規定セラレタリ余ハ例ニ依リ官吏ノ職務執行ニ關スル犯罪構成ノ條件ヲ左ニ説明セン

(主体)何人ト雖モ法律上ノ能力ヲ有スルモノハ本罪ノ主体タルニ妨ケナシ故ニ此罪ノ犯人ハ法律又ハ命令ノ執行ヲ受クル人ノミナラス第三者ニテモ其抗命ノ事實ニシテ存在スル場合ニハ抗命ノ罪ニ關スル主体タルヲ得ヘシ

(物体)此罪ノ物体ハ國家ノ執行權ナリ故ニ官吏ニ抗拒スル罪ハ其官吏カ職務ノ執行中即チ法律命令ヲ執行スル場合ニシテ正當ニ官吏タルノ職分ヲ有スル時ナラサルヘカラス左レハ其人官吏ニ非サルカ或ハ官吏ノ執行スル處法律命令ニ背

抗命ノ罪

反スルカ又ハ抗拒ニシテ法律命令ノ執行中ニアラスシテ其前後ナル場合ニ在テハ抗命ノ罪ハ決シテ成立スルモノニ非ス然レトモ官吏ノ行フ所其職務ヲ超ヘ又ハ其處分ノ不正ナル場合ニ於テハ其所爲苟モ官民共ニ了知スヘキ法律規則ニ反シタルモノナレハ素ヨリ此犯罪ヲ組成スヘシトハ汎論ヲ參照セハ自ラ明晰ナラズ

茲ニ一言注意スヘキハ法律命令ヲ執行スルニ際シ官吏ハ法律ノ精神ナリト思考シ又人民ハ官吏ノ執行スル所ハ法律ニ背キタルモリト思考シタル場合ニハ如何スヘキヤ官吏ハ自己ノ責任ヲ以テ執行シ人民モ又自己ノ責任ヲ以テ抗命シ判決後官吏ノ執行ハ果シテ正當ナルモノナルトキハ人民ハ抗命ノ罪ヲ受ケ若シ又官吏ノ執行ハ法律ノ精神ニアラサル場合ハ人民ニ抗命ノ罪ヲ免レ官吏ハ不法處分ノ責任ヲ負ハサル可ラサルモノトス

(手段) 抗命ノ手段ハ必ス暴行脅迫ヲ以テ官權ノ執行ニ妨害ヲ加ヘタル者ナルヲ要ス而シテ此ノ暴行脅迫ハ必ス官吏ノ一身ニ對シテ加ヘタル者ナラサルアラズ故ニ巡查カ現行犯ヲ捕縛セントスルニ當リ逃走スルカ如キハ官吏ノ命令ニ從ハ

ルニ相違ナキモ暴行脅迫ノ手段ヲ加フルコトナキヲ以テ此罪ヲ組成スルコトナシ

(所爲) 抗命トハ官吏ノ執行スル命令處分ニ服從セサル所爲ヲ云フ故ニ官吏ニ對シテ暴行脅迫ヲ加フルモノ之レニ抗拒スルコトナク謹テ之レニ服從シタルトキハ此罪ナク只常人ニ對スル暴行脅迫罪タルニ過サルヘシ

然ルニ日本刑法第三百三十一條第二項ニハ一種ノ抗命罪ヲ定メテ官吏ノ爲ス可ラサル事件ヲ暴行脅迫ヲ以テ爲サシメタルトキハ亦同シク此犯罪トシテ罰スルコト、セリ然シ法文曖昧ニシテ大ニ明晰ヲ欠クト雖モ蓋シ此項ノ適用ハ只暴行脅迫ニシテ未ダ抗拒スヘカラサル強制ト云フヘキノ甚タシキニ至ラス又官吏ノ行ヒタル事件ニシテ他ノ犯罪タラサルトキニ限ルヘシ何トナレハ抗拒ス可ラサル強制ニ由リ官吏ニ犯罪ヲ爲サシメタルモノハ自ラ其罪ヲ犯シタルモノニシテ其罪ニ問フヘキモノナレハナリ

(刑罰) 暴行脅迫ヲ以テ抗拒シタル者ハ四ヶ月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第三百三十九條)

其官吏ヲ毆打シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一章ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス
(第四百十條)

官吏侮辱ノ罪

(一) 官吏侮辱ノ罪

官吏侮辱ノ罪ハ官吏タルノ各譽ヲ毀損スルノ罪ニシテ現行刑法ニ於テハ官吏ノ職務ニ對シ刊行ノ文書圖書若クハ公法ノ演說又ハ其目前ニ於テ形容若クハ言語ヲ以テ侮辱スルノ所爲ヲ云フ(第四百十一條)

(物体) 官吏侮辱ノ物体ハ官吏ノ官吏タルノ名譽即チ公平正直ナルコト官吏タル技藝又ハ能力アルコトニシテ通常人ノ名譽トハ稍々其趣キヲ異ニスル者トス例ヘハ一般ノ人ニ對シテ不公平ノ處分ヲ爲シタリト云フモ其人ノ名譽ヲ毀損シタルモノニアラサルモ若シ官吏ニ對シテ其處分ハ不公平ナリト言フモノアラハ官吏ヲ侮辱シタル者トシテ本罪ニ問ハルヘシ何トナレハ職務ニ對シテ有スル公平正直ナル名譽ヲ誹毀セラレタルモノナレハナリ又通常人ト官吏タル資格アルモノトニ付キ斯ル區別アル點ヲ今一層詳述スレハ通常人ニ對シテ法律ヲ知ラサル人ナリト云ヒタルモ侮辱トナルコトナケレトモ若シ裁判官ニ向テ貴官ハ法律ヲ

知ラスト云フモノアラハ官吏侮辱ノ罪ヲ成立スルモノナリ

然リト雖モ官吏モ亦通常人ニ外ナラサレハ其官吏ニシテ通常人ノ有スル名譽ヲ誹毀セラレタルトキハ通常人ニ對スル誹毀ニシテ官吏侮辱ノ罪トハナラサルナリ例令ハ或ル新聞紙ニテ某官ハ曩日某宴會ニ於テ斯ノ如キ醜行アリシト記載スルコトアルモ通常ノ誹毀犯ニシテ決シテ官吏侮辱トシテ罰セラル、コトナカルヘシ然レトモ爰ニ注意スヘキコトハ官吏ノ職務執行中ニ通常人ノ名譽ヲ侮辱シタルトキハ通常人ニ對スル侮辱トナラスシテ官吏侮辱ノ罪トナルノ一事是ナリ蓋官吏ノ職務ヲ執行シ居ル場合ニハ官吏ノ資格ト通常人ノ資格トチ一身ニ集合シ同時ニ併有シタルモノナレハナリ

(二) 手段 官吏ノ目前ニ於テ形容言語若クハ刊行ノ文書圖書又ハ公然ノ演說等ニシテ別ニ詳述スヘキ點ナキモ只通常人ニ對スル手段ノ内ニテ偶像ハ此犯罪ニ就キテ手段トシテ論スルコトナシ

(四) 所爲 名譽ヲ毀損スヘキコトヲ第三者ニ對シテ公ニスルコトナリ故ニ名譽ノ毀損自身ハ本罪ノ所爲ニ非スシテ名譽ヲ毀損セラル、以外ノ人ニ對シ其名譽ヲ

毀損スル事實ヲ公ニスルコトヲ以テ此罪ノ所爲トスルナリ是ヲ以テ直接ニ官吏ニ對シ書面ヲ送り名譽ヲ毀損シ侮辱スルコトアルモ官吏侮辱トシテ罰スヘキニアラス又此罪ハ誹毀罪ト異ニシテ惡事醜行ノ事實ヲ摘發スルコトヲ要セス何トナレハ事實ノ有無ヲ問ハサルモノナレハナリ之レ法文ノ特ニ之ヲ明記セサル所以ナリ

(五)刑罰 官吏ノ職務ニ對シ其目前ニ於テ形容若クハ言語ヲ以テ侮辱シタルモノハ一月以上一年以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第四百十一條)其目前ニ非ラサルモ文書圖畫又ハ公然ノ演說ヲ以テ侮辱シタル者亦同シ(第四百四十一條)

囚徒逃走ニ關スル罪

既ニ汎論ニ述ヘタル如ク既決ノ囚徒ニ對シテハ法律ハ決シテ刑ノ執行ヲ受シルノ義務ヲ負ハシムヘキモノニ非スシテ刑ハ法律終局ノ制裁ニ外ナラサルナリ若シ夫レ已決ノ囚徒ニ此義務ヲ負ハシメシカ是即法律ノ制裁ニ法律上ノ制裁ヲ以テスル者ニシテ法律ノ制裁ハ果シテ何レノ處ニ至リ結局スヘキカ知ルヘカラサ

ルハ勿論遂ニ法律執行ノ實効ヲ見ルコト能ハサルニ至ルヘシ

此既決囚徒ノ逃走スル罪ノ如キモ亦法律ノ制裁ニ法律ノ制裁ヲ以テスルカ如キ嫌ナキニアラス但シ囚徒逃走ニ關スル罪ノ成立スルニハ逃走ノ囚徒ノ外他人ニシテ囚徒ヲ逃走セシメ若クハ其逃走ヲ幫助シ又ハ既決ノ囚徒ニ在テハ獄舎ヲ破毀シ其他暴行ノ手段ヲ以テ法律ノ執行ニ抗拒シタル場合ニ限ルナリ囚徒看守ノ獄舎ヲ閉鎖スルコトヲ怠リ開扉シタルニ乘シテ囚徒ノ逃走スルコトアルモ本罪ニ問フヘキニ非ス何トナレハ既決ノ囚徒ハ必ラス刑ニ服スルノ義務ヲケレハナリ是レ獨佛二國ノ囚徒逃走罪ヲ認メス只獄則違反トスル所以ナリ然レトモ日英二國ノ法律ニ於テハ之ヲ罰スルニ囚徒逃走罪ヲ主トシテ定メタルニ係ラス却ツテ從犯即チ囚徒逃走ヲ幫助シタル者ヲ罰スルニ主タル逃走罪ヨリ重キ刑ヲ科スルニ至テハ余其何ノ故タルヲ知ルニ苦ムモノナリ(第四百四十二條及第四百四十六條第四百四十七條參照)

(主体) 既決未決ノ囚徒ニシテ法律ノ命スル所ニ從ヒ司法處分ニ依リ獄舎ニアルモノニ非レハ此罪ヲ犯スコトヲ得ス故ニ一時行政官廳又ハ警察署等ニ拘留セラ

レタル者ハ本罪ノ主体即チ囚徒トシテ論スルコトヲ得ス從テ密賣淫ノ如キモ單ニ懲戒處分ニ過キサレハ刑法ノ所謂囚徒トスルヲ得サルナリ尤モ是レハ學理ニ基キ囚徒ヲ解釋シタルモノニシテ實際ハ之ニ反シテ賭博犯密賣淫ニ依テ懲戒處分ヲ受ケタル者ヲ以テ囚徒トシテ取扱フモノ、如シ

此犯罪ノ主体ニハ斯ク特別ノ資格ヲ要スルカ故ニ已決囚徒ノ逃走シタル場合ニ於テハ初犯ノ刑ニ對シ常ニ再犯タルヲ以テ我刑法ハ刑期限内再ヒ逃走シタルモノニ非レハ再犯ヲ以テ論スルコトナシ又ク囚徒ヲ逃走セシムル爲メニ第四百四六條及第四百四十七條ニ該ル場合ハ何人ト雖モ本罪ノ主体タルヲ得レトモ第四百四十八條ノ如キハ看守又ハ囚徒ノ護送者ニ非レハ犯スコトヲ得ス而シテ第四百四十五條ナル通謀逃走罪ニ主体ハ必ス三人以上ナラサルヘカラス

(物体) 此犯罪ノ物体ハ國家ノ刑罪執行權ナルヲ以テ囚徒逃走ノ場合ニ於テハ囚徒自ラ此權ヲ犯シ囚徒劫奪又ハ逃走幫助ノ場合ニ於テハ何人ト雖モ其犯者タルモノ此權利ヲ侵害ス

(手段) 本罪ノ手段ハ破獄又ハ暴行脅迫ニ出テタルトキハ其刑ヲ重クス(第四百四十

二條第二項及ヒ第四百四十七條)但シ此暴行強逼ハ逃走ノ際手段トシテ看守又ハ護送者ニ施シタルモノナラサル可ラス

(所爲) 囚徒逃走罪ハ國家ノ刑罰執行權ニ抗拒スルノ所爲ナリ故ニ學理上ヨリ論スルトキハ單純ナル既決囚徒ノ逃走罪ハ國家ノ執行權ニ對シテモ毫モ抗拒ノ所爲ナキモ其結果ノ同一ナルヨリシテ遂ニ消極的ノ點ヨリ之ヲ罰スルナリ

(刑罰) 輕罪囚徒ノ逃走ヲ幫助シタル者ハ輕罪トシ重罪囚徒ノ逃走ヲ幫助シタルモノヲ重罪ノ刑ニ處スヘキモノト規定シタルハ學理ニ適シタル區別ト云フヲ得ス然シ其囚徒ノ逃走シタルハ全ク懈怠ニ出テタル場合ハ只財產刑ニ止マルナリ

(一)未決囚徒ノ逃走シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

(二)破獄又ハ暴行脅迫ヲ爲シテ逃走シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

(第四百四十二條)

(三)通謀逃走シタル者ハ第四百四十二條ノ例ニ照シ一等ヲ加フ(第四百四十五條)

(四)囚徒ヲ逃走セシムル爲メ凶器ヲ給シ又ハ方法ヲ指示シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第四百四十六條)

(五) 囚徒ヲ劫奪シ又ハ暴行ヲ以テ囚徒ノ逃走ヲ助ケタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第四百十七條)

(六) 看守又ハ護送者ノ懈怠ニ依リ囚徒ヲ逃走セシメタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス(第五百十條)

罪人藏匿ニ關スル罪

罪人藏匿ニ關スル罪トハ其犯罪人タルコトヲ知リテ藏匿スルト又ハ他人ノ罪跡ヲ隠蔽スル爲メニ藏匿スルトノ二種アレトモ性質上別ニ差異アルニアラサレハ同一ニシテ論述スヘシ

(主体) 親屬外ノ人ナレハ何人ト雖モ本罪ノ主体トナルコトヲ得ヘシ然レトモ此犯罪ノ如キ國家ノ權力ヲ害シ公益ニ重大ナル關係アルモノヲ單ニ親屬間ノ愛情ニ過キサル道德上ノ理由ヲ以テ不問ニ附スルハ其當ヲ得タルモノニ非サルヘシ又此等ノ罪ハ一種ノ犯罪ニシテ他ノ犯罪ノ從犯ニアラサルコトハ己ニ汎論ニ於テ辯論セリ然レトモ犯罪人ヲ藏匿センコトヲ犯罪前ニ約シ置キテ之ヲ藏匿スルトキハ純然タル從犯ニシテ親屬タリト雖モ此罪ヲ免ルヘキニアラス

六

(物体) 此罪ニ關スル被害ノ物体ハ犯罪ノ搜查權ナレトモ直接ニ之ヲ云ヘハ官署ノ逮捕又ハ搜查セントスル執行官ナリトス即チ犯罪人ハ逃走ノ囚徒ニシテ監視者ハ本罪ノ物体タルヘシ刑法第五百十一條ノ犯罪人トハ眞ニ犯罪人タルコトヲ要セス唯犯罪人タルノ嫌疑ヨリシテ國家ノ搜查スル者ナレハ可ナリ然シ現ニ犯罪人トノ明文アル以上ハ眞ニ犯罪者タルヲ要スレトモ本罪ノ如キハ贓物故買ノ罪ト同シク一種特別ノ罪ナレハ茲ニ謂ユル犯罪人トハ裁判宣告ニ依リ確定シタル犯人ナルヲ要セス裁判官ハ此罪ヲ判定スルノ當時ニ於テ單ニ此罪ヲ處斷スルノ目的ニ於テノミ藏匿セラレタル犯罪人ノ果シテ法律上ノ犯罪人タルヤ否ヤヲ定メ其裁判ノ言渡ヲナスヘキモノトス而シテ此場合ニ於テハ一方ニ於テハ犯罪人トシ一方ニ於テハ無罪ト宣告スルカ如キ二箇ノ裁判相抵觸スルコトアルヘキモ裁判ハ各事件ニ就テ言渡スモノナレハ毫モ之ニ關係セサルナリ最モ斯ル場合ニハ特典ヲ以テ之ヲ救正スルコトアラン而シテ此二箇ノ裁判ノ相抵觸スルハ却テ法律ノ精神ナルコトアルヘシ其ハ罪人ヲ藏匿シタル爲メニ無罪ノ言渡アリタレハ之ニ對スル有罪ノ言渡ト相抵觸スルコトハ當然ノコトナレハナリ

(犯意) 此犯罪ニ就テノ犯意ハ犯罪人又ハ囚徒ノ逃走人ナルコトヲ知ルヲ要スルモノトス然シ之ヲ知ルト知ラサルトハ事實ノ問題ナレハ總則ニ依リ決スヘシ又現ニ事實ヲ知リテ其行爲ハ法律ノ罰スル處ニアラスト考フル場合アルヘシ假令ハ某々ノ人ハ斯ク々々ノ所業ヲ爲シタルモノタルコトヲ知リ之ヲ藏匿スルモ其所業ハ法律ニ觸ル、モノニ非スト信シタル場合ノ如キ是ナリ然レトモ法律ノ不識ハ犯罪ノ責任ヲ免ル能ハサルハ刑法一般ニ適用スヘキ原則ニシテ犯人ノ知ラサルノ故ヲ以テ其効力ヲ空フセシムルコトヲ得サルナリ最モ實際ノ誤解ヨリ生スルコトモアルヘシ然ルトキハ犯意ナキヲ以テ無罪トシテ論スルコソ學理ニ適スルモノナラン何トナレハ罪人藏匿ノ所爲ハ此犯人ヲ藏匿シテ刑罰ヲ免レシメントノ犯意ヲ有スル場合ニ法律ハ之ヲ罰スルノ精神ナレハナリ

(所爲) 藏匿ニ要スル所爲ハ其藏匿セントスル犯人ヲ自己ノ管督内ニ納レサルヘカラス又隠避ニ關スル所爲ハ自己ノ管督外ニ於テ官ノ搜查ヲ避ケシムルノ所爲アレハ足レリトス

(刑罰) 犯人又ハ逃走ノ囚徒及被監視者タルヲ知テ藏シ又ハ隠避シタル者及ヒ他

人ノ罪ヲ免レシメンカ爲メ罪證ト爲ル物件ヲ隠蔽シタル者ハ十一日以上六ヶ月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第百五十一條及第百五十二條)

第四節 附加刑ノ執行ヲ逃ル、罪

此犯罪ハ刑法ニ規定シアレトモ其條ヲ適用シテ之ヲ罰スル場合ハ殆ント勿ルヘシ何トナレハ公權ヲ剝奪シ又ハ停止セラレタル者カ町村及府縣會ノ議員トナルコトアルモ其撰擧ハ無効ニ歸スルナリ然ラサレハ多クハ身分詐稱ノ罪ヲ以テ罰セラルヘシ或ハ外國ノ勳章ヲ僭用シタルトキハ勳章僭用ノ罪ヲ以テ問ハルヘケレハナリ

監視規則違背ノ場合ハ只監視規則違背ノ所爲ニシテ附加刑ノ執行ヲ逃ル、罪ニアラサルコトハ既ニ汎論ニ述ヘタルカ如ク監視ハ行政官カ犯人ノ行狀ヲ監視スル迄ノモノナレハ之ヲ逃ル、コトヲ得サルハ期滿免除ノ規則ヲ適用セサルヲ以テモ知ルヘシ約言スレハ監視規則ハ犯人ノ行狀ヲ視察スル爲メニ設ケタルモノナレハ附加刑ノ執行ヲ逃ル、罪トシ論スルコトヲ得ス蓋シ監視規則ノ執行ハ

附加刑ノ執行ヲ逃ル、罪

視自身ノ執行トハ其間大差アルヘキモノニシテ監視規則ハ只監視自身ノ執行
ヲ犯人ノ行狀ヲ觀察スルニ便宜ナル爲メ特ニ設ケタル規則ニシテ監視ノ外尙別
ニ犯人ヨリ或權利ヲ剝キ又ハ或ル義務ヲ犯人ニ負ハシメタルモノナリ故ニ刑法
第百五十五條ハ監視規則ニ違犯シタルモノ、罪ヲ定メタルモノニシテ監視ノ執
行ヲ遁ル、罪ヲ定メタルモノニアラス

此罪ヲ構成スル所ノ(主体)(物体)(所爲)等ニ就テハ特ニ説明ヲ要スヘキモノナシ
而シテ其刑罰ニ就テハ私ニ公權ヲ行フノ罪ハ一年以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ
二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加シ監視規則違犯ノ罪ハ十五日以上六月以下ノ
重禁錮ニ處ス但シ是等ノ罪ハ囚徒逃走ノ罪ト等シク已ニ一タヒ處刑ヲ受ケタル
モノニアラサレハ犯スコトヲ得サルヲ以テ刑期限内再ヒ犯シタルモノニアラサ
レハ再犯ヲ以テ論スルコトナシ(第百五十六條)

第五節 官ノ封印ヲ破毀スルノ罪

官ノ封印ヲ破毀スルノ罪トハ官廳ノ處分ヲシテ其効力ヲ失ハシムル犯罪ノ一種
ナリ

官ノ封印
ヲ破毀ス
ルノ罪

抑モ官廳ノ處分ヲシテ無効ヲラシムルノ罪ハ官ニ於テ公然揭示シタル官廳ノ公
達告示又ハ命令書等ヲ破毀汚損スルノ罪其他封印ヲ破毀スル罪等其區域甚タ廣
シト雖モ我刑法ハ其文書ニ係ルモノハ之ヲ官文書偽造ノ一種トシ其他ニ在テハ
之ヲ財産ニ對スル罪ヲ記載スル條下ニ附記シ只官ノ封印ヲ破毀スル罪ニ就キ將
ニ一節ヲ設ケタリ(第百七十四條乃至第百七十六條)封印破毀ノ罪ハ甚タ單一ニシ
テ其構成ニ就テハ特ニ論述スヘキモノナシト雖モ法文解釋上一二ノ疑點ナキニ
アラス第一法文ニ特別ニ施シタル封印ト特記スレトモ特別トハ物件差押ヘ其他
官ノ處分ノ目的ノ爲ニセルモノヲ指示スルニ過キスシテ特ニ他意アルニアラス
第二封印ヲ破毀スルトハ單ニ印影ノ存在スル部分ヲ破毀スルニ止マラス廣シ一
般人ニ對シテ封印ノ効力ヲ失ハシムルノ所爲ヲ指示セルモノト解セサルヲ得ス
設令ハ茲ニ一條ノ繩ヲ以テ倉庫ニ繞ラシ倉庫ノ入口ニ至リテ官ノ封印ヲ施シタ
ルニ際シ印影外ナル部分ヲ切斷シ之レヲ棄ツルモ尙封印破毀ノ罪アルヘシト雖
モ若シ竊盜アリ地下ヲ穿テ倉庫ニ入りタルトキハ此所爲ヲ以テ封印ヲ破毀シ
タルモノト云フコトヲ得ス何トナレハ封印ハ尙一般人ニ對シテ効力存スレハナ

封印破毀ノ罪ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ看守者自ラ犯シタルトキハ一等ヲ加ヘ其懈怠ニヨリ封印ヲ破毀シ又ハ物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルコトヲ覺ラサルトキハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス但シ官印ヲ破棄シテ其物件ヲ盜取シ又ハ毀壞シタル者ハ盜罪及ヒ毀壞ノ各本條ニ照ラシ重キニ從テ處斷ス

第四章 政權ノ執行ニ抗拒スル罪

第一章 立法議會ノ議事ヲ妨害スル罪

立法議會ヲ解シ若クハ不正ノ議決ヲ爲サシメントスルノ暴行又ハ暴行強迫若クハ詐僞等ニヨリ議員ノ議場ニ臨席スルヲ妨クルカ如キハ直接ニ國家ノ立法權ヲ害スルモノニシテ素リ之ヲ不問ニ附スヘキモノニアラスト雖モ我刑法ニ在テハ特ニ是等ノ罪ヲ規定セス故ニ其所爲ニシテ他ノ刑名ニ觸ル、コトナキモノ、之ヲ罪トスルコトナシ尤モ今日ニ於テハ未タ國會ノ設ケナキカ故ニ現今ノ立法議會ハ一ノ官廳ニシテ其議員モ亦一ノ官吏ナルヲ以テ多クハ之ヲ官吏ノ職務ヲ妨害スルノ罪ニ問フコトヲ得ヘシ

政權ノ執行ニ抗拒スル罪
立法議會ノ議事ヲ妨害スル罪

刑法第二百三十四條ノ場合即チ賄賂ヲ以テ投票ヲ爲サシムルノ罪ハ或ハ之ヲ不正ノ議決ヲ爲サシムルノ罪トスルコトヲ得ヘキニ似タレトモ同條ノ所謂投票ナルモノハ單ニ公選ノ投票即チ選舉ノ目的ノミニ出テタル投票ヲ指示スルモノニ止リ敢テ議事ノ議決ニ關スル投票ヲ包含スルモノニアラス

第二節 公撰ノ投票ヲ僞ハル罪

公撰ノ投票ヲ僞ハル罪

公選ノ投票ヲ僞ルノ罪ハ公選ノ投票ヲ僞造増減シ又ハ賄賂ニ依リテ投票ヲ爲シ又ハ投票ノ結果ニ付詐欺ノ所爲アルモノヲ云フ

(主体) 公撰ノ投票ヲ僞造シ又ハ其數ヲ増減スル罪ハ何人ト雖モ之ヲ犯スコトヲ得ルモノニシテ投票人ニハ限ラサルモノトス例セハ無名投票ヲ許ス場合ニハ撰舉權ナキモノニテモ之ヲ犯スコトヲ得ルナリ然レトモ第二百三十五條及第二百三十六條ノ場合ニハ投票檢査又ハ結果報告ノ權力ヲ有スルモノニ非レハ本罪ノ主体タルコトヲ得ス然レ第二百三十四條ノ場合ハ然ラサルナリ (物体) 公ケノ事務ニ關スル公撰ノ投票ナリ故ニ公ケノ議會トハ參政權ニ關係ヲ有スルモノタルヘシ

(手段) 第二百三十四條ノ場合ニ於テハ賄賂ノ手段ニ依リ投票ヲ爲サシメ又ハ賄賂ヲ受ケテ投票シタルコトヲ要ス但シ賄賂ヲ授受スル契約ニ止ルトキハ一般此罪ヲ構成スルコトナシ然レトモ手附又ハ内拂トシテ幾分ヲ授受シタルトキハ等シク賄賂タルヘシ

(所爲) 本罪ノ所爲ヲ分チ左ノ三種トス

- 一 投票ヲ偽造スルコト
- 二 賄賂ヲ受ケテ投票ヲ爲サシムルコト
- 三 投票ノ數ヲ僞ハルコト

右三箇ノ所爲アルトキハ正當ノ撰舉人タルヲ要セサルナリ然シ賄賂ヲ受ケテ投票ヲ隱避スルノ所爲ハ含蓄セス

(五) 刑罰 投票ヲ偽造シ又ハ其數ヲ増減シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加シ賄賂ヲ受ケテ投票ヲ爲シ又ハ爲サシメタル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加シ投票ノ結果ヲ調査報告スルニ其結果ヲ僞ハリタル者ハ一年以上五年以下ノ輕禁

官吏瀆職ノ罪
總說

鋼ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第二百三十三條乃至第二百三十六條)

第五章 官吏瀆職ノ罪

第一節 總說

官吏瀆職ノ罪ハ犯罪ノ性質又ハ官吏ノ種類ニ依リ之ヲ區別スルヲ以テ學者ノ定説トス乃チ犯罪性質ノ點ニ於テハ純然タル職務上ノ犯罪ト常事ト職務ト混同セラル犯罪トニ區別シ往々純然タル職務上ノ犯罪ヲ稱シテ適當ノ意義ニ於ケル瀆職ノ罪ト云フ然レトモ我刑法ハ此罪ヲ以テ國家ニ對スル罪トスルハ學理ニ適シタルモノニ非ス獨乙刑典ニテハ全ク別罪トセリ又之ヲ犯罪夫レ自身ノ性質ヨリ考フルモ國家ノ權利ヲ妨害スルノ所爲ニハ非スシテ只自己ノ奉スル官職ヲ不正ニ利用シテ金利及財産上ノ權利ヲ享受シ又ハ之ヲ享受セントスルモノニ相違ナクレトモ苟モ一國ノ政治ニ干與スル官吏ニシテ職務上ノ罪アル場合ニハ又之ヲ國家ヲ害スルノ所爲ト云フコトヲ得サルニアラス

又タ官吏ノ種類ノ點ニ於テハ一般官吏ノ犯罪ト特種ナル官吏ノ犯罪トニ區別ス

然レトモ我刑法ハ更ニ一種ノ區別ヲ設ケ第一官吏公益ヲ害スル罪第二官吏人民ニ對スル罪第三官吏財産ニ對スル罪ノ三節ニ區別セリト雖モ是純然タル職務上ノ犯罪ト混同ノ犯罪ナルトヲ問ハス又一般官吏ニ係ルモノト特別ノ官吏ニ係ルモノトヲ論セス共ニ之ヲ同一節ニ混入シタルモノニシテ學理上大ニ當テ失シタルノ分類ト云フヘシ然リ而シテ官吏瀆職罪ノ一般犯罪ニ異ル要點ハ犯罪ノ主体ニ關係スルノミニシテ其他ハ一般ノ犯罪ヲ組成スル條件ヲ適用シ得ヘケレハ先ツ官吏瀆職ニ關スル一般ノ通則ヲ揭ケテ後本論ニ入り論スル所アラントス

(第一) 一般ノ官吏トハ給料ノ有無及ヒ其直接ト間接トヲ問ハス總テ日本帝國ノ國務ニ從事スル吏員ヲ云フ而シテ英語ノ「オッフヒーサー」ナル語ハ單ニ役人ノ意味ナレハ適當ナラス唯獨乙語ノ適切ニシテ能ク其意味ヲ表ハシタルニ如クコトナシ即チ獨乙語ノ「スタートシーネル」ハ國家ノ事務ニ服スル役人ナル字義ヲ有スルモノナレハナリ然ルニ其官吏ハ政府ノ官制ニテ定メテラレタル吏員ハ勿論巡查政府ノ行政事務ニ關係スル市邑ノ役人及ヒ戸長ノ如キ兼行事業ヲ取扱フ吏員モ一般官吏ノ内ニ含ムモノナレトモ國會議員公吏兵卒宮中ノ私吏及ヒ政府ノ事務ヲ

行フ任ナキ自治共同体ノ役人ハ刑法ニ所謂官吏トシテ此罪ノ主体タルコトヲ得サルヘシ

(第二) 純然タル職務上ノ瀆職罪ハ故意アルヲ必要トシ其過失怠慢ニ出ツルモノハ官吏懲戒令ニ照シテ處分スヘキノミ然ルニ第二百八十一條ノ水火震災ノ際解禁ヲ怠リタル場合ニ故意ナキモ之ヲ罰セラル、ハ過失罪トシテ問フノ精神ナラシ然シ第二百八十條ノ犯罪ノ如キハ學理上ヨリ之ヲ論スルトキハ純然タル官吏職務上ノ犯罪トスルハ少シク其當ヲ得サルニ似タリ

(第三) 職務ト常事トノ混同セル犯罪ハ官吏カ職權ヲ濫用シテ其極遂ニ通常人ニテモ犯罪トナルヘキ行爲ヲ犯シタル場合ニシテ此場合ハ犯意ノ如何ヲ問フノ必要ナキモノトス何トナレハ常人ノ犯セル罪ニ故意ヲ以テ足レリトスルモノナラハ官吏之ヲ犯スモ亦故意アルヲ必要トシ敢テ惡意アルヲ要セサレハナリ假令ハ第二百八十九條ノ場合ニ於テモ亦タ異ルコトナキカ如シ

(第四) 職務ト常事ト混同セル犯罪ハ主体ノ外ニ物体手段及所爲等ノ條件ニ至テハ常人ノ犯罪ニ要スル場合ト異ルコトナシ因テ此官吏瀆職ノ罪ニ關シテハ右ニ

逃へタル四箇ノ要點ヨリ外ニ詳述スヘキコトナケレハ主体ニ於テ其差異アルコトヲ研究スレハ足レリトセシノミ

官吏公益
ヲ害スル
罪

第二節 官吏公益ヲ害スル罪

第一 法律規則ヲ施行スルノ義務アル官吏ニシテ其義務ヲ執行セス又ハ一般ノ官吏カ其法律規則ノ公布施行ヲ妨害シタル者ハ二月以上六月以下ノ輕禁錮十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス法文ニ「官吏其管掌ニ係ル」ト云フハ公布施行ノ義務アル官吏ヲ指シ之レニ反シテ其公布施行ヲ妨害シタル犯罪ノ主体ハ是等ノ義務アルモノニ止ラス廣ク一般ノ官吏ヲ指ス(第二百七十三條)

第二 陸海軍ノ將校カ兵隊ヲ要求シ及ヒ之ヲ使用スル權アル官吏兵權ヲ以テ鎮撫スヘキ時ニ當リ其處分ヲ爲サ、ル者ハ三月以上三年以下ノ輕禁錮二十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス之レニ反シテ陸海軍ノ將校タル者出兵ヲ要求スル權アル官署ヨリ要求ヲ受ケ故ナクシテ之ヲ肯セサルトキハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス斯ク將校ト否トニ從ヒ其刑ニ輕重ヲ設ケタルハ敢テ特別ノ理由アルヲ發見スルコト能ハサルノミナラス陸海軍ノ

將校ニシテ出兵ヲ肯セサルノ所爲ハ宣權ヲ行ハサルノ所爲ナルヲ以テ官吏公益ヲ害スル犯罪タルヘキニ特ニ之ヲ公務ヲ行フヲ妨害スルノ犯罪中ニ編入シ公ト官トナ同視シタルハ能ク國家ト社會トノ範圍ヲ明カニシタルモノト謂フヲ得ス(第二百十四條及第一百七十七條)

第三 官吏カ規則ニ違背シテ商業ヲ營ミタル場合ニハ日本刑法ハ一般ニ之ヲ罰スレトモ正當ニ論スルトキハ官吏懲戒令ニ依リ處ス可キモノニシテ刑法ニ之ヲ規定スヘキモノニアラス故ニ汎論ニ於テ論述シタル理由ニ從ヒ此犯罪ノ共犯人モ亦之ヲ此罪ノ共犯トシテ罰スヘキモノナレトモ往々之ヲ以テ其例外トスルヲ適當トスルノ論者アルヲ見ルニ至レリ然レトモ直接ニ人民ノ商業ニ關係ヲ有スル収税官吏會計吏ノ如キハ刑法ニ依リ處分スルハ他國ノ法律ニモ規定シアレトモ日本刑法ノ如ク一般ノ官吏ニ及ホシテ刑法ヲ適用スルハ他國ノ法律ニハ絶テナキ所ニシテ僅ニ印度刑法ニ於テ之ヲ見ルノミ

然ルニ官吏ニシテ職業ヲ行フコトアレハ或ハ官吏懲戒令ニ觸ル、コトアルモ刑法ヲ以テ之ヲ罰スルコトヲ得ス然ラハ則チ其職業ノ刑法ニ所謂商業トノ區別ハ

何レノ點ニアルヤヲ知ルヘカラサレハ今茲ニ是等ノ定義ヲ下シテ其差異ノアル所ヲ明ニスヘシ
 蓋シ職業トハ活動スル人間ヲ相手トスルモノヲ云ヒ商業トハ天造物又ハ之ニ人
 工ヲ加ヘタルモノヲ相手トスルモノヲ云フ之ヲ言ヒ換ユレハ職業ハ人間智識ノ
 活動ニシテ代言人教師醫業等ナリ之ニ反シテ商業ハ人間努力ノ活動ナレハ其相
 手ニハ必ラス天造物又ハ人工ヲ加ヘタル天造物ナルコトヲ要スルナリ故ニ此罪
 タル公達セラレタル規則ヲ以テ禁止シタル商業ヲ爲スノ所爲ヲ罰スルニ止ルヘ
 シ
 官吏此罪ヲ犯シタルトキハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處セラルヘシ(第二百
 七十五條)

第三節 官吏人民ニ對スル罪

官吏人民ニ對スル罪

此官吏ノ人民ニ對スル罪ニ就テハ我刑法ノ規定ニ依レハ分チテ七種トナス
 (第一、威權濫用ノ罪) 法文ノミニテハ不充分ニシテ過當ノ意義ヲ欠クニ似タレト
 モ之ヲ正當ニ解釋スレハ其所謂濫リニ威權ヲ用ユルトハ官吏カ法律上ノ規定ニ

反シテ其職務ヲ濫用シタル場合ハ勿論又ハ其職務ヲ濫用セントシテ人民ヲ脅迫
 シタル場合ヲモ包含シ權利ナキ事ヲ行ハシムルトハ權利ト相對立スヘキ義務ヲ
 指シタルモノニシテ即チ應サニ爲スヘキ義務ナキ事ヲ行ハシメタル場合ヲ指示
 セルモノトセム

此罪ニ對スル刑罰ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮二圓以上廿圓以下ノ罰金トス
 (第二百七十六條)

(第二、被害者ヲ保護スルコトヲ怠ルノ罪) 人ノ身体財產ヲ妨害スル犯人アルニ當
 リ豫審判事檢察官其報告ヲ受ケテ速カニ保護ノ所分ヲ爲サ、ルモノハ十五
 日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(第二百七十
 七條)凡ソ是等ノ官吏ハ現行犯罪ノ通知ヲ得テ犯人ノ搜查其他證據取調等ヲ爲ス
 ノ義務アルハ當然ノ職分ナリト雖モ本條ハ更ニ是等ノ官吏ニ負ハシムルニ被害
 者ヲ保護スルノ義務ヲ以テセリ是レ本條ヲ以テ特ニ官吏ノ人民ニ對スル犯罪中ニ
 加入セル所以ナラン然レトモ現行犯罪ニシテ且犯人ノ尙ホ犯罪ヲ執行スルノ際
 ニアラサレハ保護ノ處分ヲ施スコト能ハサルヲ以テ本條ヲ適用スル場合極メテ

僅少ナラン

(第三、官吏人ヲ監禁スルノ罪) 逮捕官吏司獄官吏カ法律ニ定メタル法則ヲ遵守セズシテ人ヲ逮捕シ又ハ不正ニ人ヲ監禁シタル者ト司獄官吏ノ法則ヲ遵守セズシテ囚人ヲ監禁シ若クハ囚人ヲ出獄セシムヘキ時ニ至リ之ヲ放免セサル者トノ二種アリ共ニ十五日以上三月以下ノ重禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處シ十日ヲ過クルコトニ一等ヲ加フ若シ是等ノ官吏及護送者ニシテ苛酷ノ處爲テ施シタル時ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス因テ人ヲ死傷ニ致シ又ハ水火震災ノ際ニ其監禁ヲ解クコトヲ怠リ因テ死ニ致シタル者ハ殴打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加フ(第二百七十八條乃至第二百八十一條)

蓋シ司獄官吏ニ就テハ法律上囚人ヲ出獄セシムヘキ時ニ至リ之ヲ放免セサル者モ尙監禁ノ罪ヲ犯シタルモノトナシ又水火震災ノ際過失ニアラス故意ヲ以テ囚人ノ監禁ヲ解カサルトキハ謀殺若クハ放殺ノ罪タルヘシ何トナレハ水火震災ニ際シ之ヲ其儘ニ放任スルトキハ自然ノ結果トシテ自由ヲ奪ハレタル囚人ノ死傷

ニ至ルヘキハ司獄官吏ノ熟知スル所ナリ而シテ自ラ知リテ故意ニ之ヲ解放セサルニ至テハ囚人ノ死ヲ欲スルノ意ナキモ之ヲ殺スノ意ナキモノトスルコトヲ得サルナリ

(第四、受理審判ヲ拒ムノ罪) 此犯罪ハ特別官吏ナル裁判官檢察官ノ犯スヘキ所爲ニシテ其事件ノ刑事タルト民事ナルトヲ問ハサルナリ

此罪ニ對スル刑罪ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金トス(第二百八十三條)

(第五、賄賂收受ノ罪) 此犯罪ハ刑法第二百八十四條ニ規定セラレタレトモ余ハ先ツ賄賂罪ニ關シテ學理上ノ定義ヲ與ヘ然ル後チ本罪ヲ組成スル條件ヲ畧述ス

定義 官吏其職務ヲ執行スルノ報酬若クハ原因トシテ適法ノ報酬ノ外ニ他ニ満足ヲ受ケ又ハ受ケンコトヲ承諾スルコトヲ云フ

主体 日本刑法ニテハ官吏ノ資格アルモノニ非レハ本罪ノ主体タルヲ得ス然レトモ英佛二國ノ法律ニテハ授受者ヲ共ニ罰スルヲ以テ之ヲ授與スル人モ本罪ノ

主体トナルコトヲ得而シテ英法ハ一步ヲ進メ或官吏ナシテ職務上ノ事ヲ爲サシ
 メン爲メ通常人ノ間ニ金錢ヲ贈與シタル場合ニテモ尙ホ賄賂罪ヲ構成スルモノ
 トセリ左レト日本刑法ハ其賄賂トシテ物品ヲ贈ル者ヲ罰スルコトナシ若シ然ラ
 スシテ其賄賂ノ物品ヲ贈ルモノヲモ俱ニ罰センカ其刑罰ニ觸レンヲ恐レテ之ヲ
 隠匿スルニ至リ其結果ハ遂ニ賄賂罪ノ證據ヲ得ルノ道ヲ失シテ本罪ヲ發見シ難
 キ弊ナキヲ得ヌ又爰ニ云フ官吏トハ犯罪ノ當時現ニ官吏ノ位置ニアル者ニアラ
 サレハ縱令明日某官ニ就任スヘキ召喚狀ヲ受居ルモ刑法ニ所謂官吏タル者ニア
 ラサルヘク從テ此罪ノ主体タルコトヲ得サルヘシ

物体 犯人ノ満足ナリ其満足トハ必スシモ金錢及財産ニ限ラス其他犯罪人ノ親
 屬ヲ官吏ニ登庸スルトカ又ハ負債ノ義務免除若クハ男女ノ情交ヲ約束スル等一
 ニニシテ足ラス但シ我刑法ハ賄賂ヲ收受シ云々ト明言スルヲ以テ收受シ得ヘキ
 物体ニアラサレハ本條ノ犯罪ナカルヘシ

所爲 此罪ノ所爲ハ單ニ満足ヲ受ケ又ハ受クルコトヲ約諾シタル而已ニテ現ニ
 之ヲ受クルコトヲナキモ以テ充分ニシテ敢テ官吏カ其満足ノ報酬トシテ不法ノ所

分ヲ爲スコトヲ要セス

又其所爲ハ官吏ノ職務ヲ執行スル前ニアラサレハ本罪成立セスト論スル者アレ
 トモ實際英法ノ如ク其時ノ前後ヲ問ハサルモノトスルニアサラサレハ以テ此弊
 ナ救フニ足ラサルナリ而シテ官吏ニ與フル満足ニ對スル報酬則チ官吏ヲシテ其
 満足ノ爲メニ行ハシムル所爲ハ敢テ不法ナルヲ要セサルナリ

犯意 犯人ハ賄賂ヲ贈與スル人ノ希望スル所ノ事柄ヲ執行スル意志アルヲ必要
 トセサレトモ犯人カ賄賂ヲ贈與スルハ何ニカ爲メニスル所アルナルヘシト知り
 テ之ヲ受クルトキハ本罪ニ關スル犯意アリトシテ論ズヘシ

種類及刑罰 主体即チ官吏ノ種類ニヨリテ其刑罰異ニスルコト左ノ如シ

但シ何ツレノ場合ニ於テモ已ニ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收シ費用シタルモノ
 ハ其價格ヲ沒收スルヲ以テ我刑法ノ規定トス然レトモ此追徵ハ固リ刑罰ニア
 ラスシテ沒收ノ一方法ナリトス故ニ犯人ニシテ裁判言渡後ニ死亡スルモ更ラ
 ニ之ヲ追徵スルヲ得ス然ラスノハ犯者以外ノ者ニ向テ刑罰ヲ執行スルモノト
 ナルヘシ

刑罰 官吏人ノ囑托ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス(第二百八十四條)

裁判官民事ノ裁判ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス(第二百八十五條)

裁判官檢察警察官判事ノ裁判ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタルモノハ二月以上二年以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス(第二百八十六條)

(第六枉斷ノ罪) 一般ノ官吏及民事裁判官ニシテ賄賂罪ヲ犯シ因テ不正ノ所分ヲ爲シタルトキハ賄賂罪ニ照シ各々一等ヲ加ヘ(第二百八十四條第二項及ヒ第二百八十五條第二項裁判官檢察警察官賄賂ニヨリ又ハ私情私怨ノ爲メ被告人ヲ

曲庇シタルトキハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス其之ヲ陷害シタルモノハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス若シ枉斷シタル所ノ刑ヨリ重キ時ハ第二百二十一條及ヒ第二百二十二條ノ例ニ照シテ處斷ス

(第七拷問ノ罪) 苟モ法律ニ於テ拷問ヲ禁止スル以上ハ拷問ノ罪モ亦タ官權濫用

官吏財産ニ對スル罪

罪ノ一種ニ過キサレトモ我刑法ハ特條ヲ設ケテ之ヲ一種ノ重キ罪トセリ即チ裁判官檢察及ヒ警察官被告人ニ對シ罪狀ノ陳述ヲ強ユルノ方便トシテ被告人ニ對シ暴行ヲ加ヘ又ハ凌虐ノ所爲アルモノハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス因テ被告人ヲ死傷ニ致シタルトキハ歐打創傷ノ各本條ニ照ラシ一等ヲ加ヘ重キニ從テ所斷ス

第四章 官吏財産ニ對スル罪

(第一監守盜) 官吏自ラ監守スル所ノ金穀物件ヲ竊取シタル者ハ輕懲役ニ所シ因テ官ノ文書簿冊ヲ増減變換シ又ハ毀棄シタルトキハ自ラ監守スルト否トヲ問ハス(第二百五條ノ例ニ照シテ處斷ス其輕罪ノ刑ニ止ルモノト雖モ六月以上二年以下ノ監視ニ附ス(第二百八十九條及ヒ第二百九十一條)

(第二正數外ノ金穀ヲ徵収スル罪) 租稅其他諸般ノ入額ヲ徵収スル官吏正數外ノ金穀ヲ徵収シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス監視ハ前項ニ同シ(第二百九十條)

但シ法文ニハ正數外ト特書スルモ法律ニ於テ徵収スルコトヲ許サ、レハ勿論

上納期限ノ未タ至ラサル金錢財物ヲ徴収スルモ亦同シカルヘシ

違警罪

總說

第五編 違警罪

第一節 總說

抑モ違警罪ナルモノハ其犯罪ノ度數及犯者ノ人數ヨリ之ヲ調査スルトキハ實際
 上極メテ重大ノ關係ヲ有スヘキモノナレトモ各罪ノ性質及之ニ對スル刑罰ヨリ
 考究スルトキハ實ニ輕微ノ犯罪ニシテ逐次之ヲ詳說スルノ必要ヲ見サルナリ故
 ニ予ハ專ラ學理上ヨリ其大綱ヲ畧說スルニ止メム

借違警罪ハ諸君ノ熟知セラル、如ク僅カニ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料若
 シハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處スヘキ犯罪ニシテ刑典及達令ヲ以テ之ヲ規定
 スルモノナリ故ニ違警罪ノ内ニハ法律ニ違犯スル所爲及達令ニ違犯スル所爲ノ
 二者ヲ含蓄スルモノトス以下總般ノ違警罪ニ關スル通則ヲ說述セントス

(第一)違警罪ハ重罪及輕罪ニ比スレハ全ク其性質ヲ異ニシ近世ニ於ケル刑法折衷
 主義ニ於テハ重罪輕罪ハ國家ト正義ヲ害スルモノナレハ其刑罰ハ反坐ノ性質ヲ
 具備スヘク刑罰第二ノ目的タル社會ノ利益ハ此反坐ノ性質ヲ變セサル區域内即
 チ各刑罰ノ範圍内ニ於テノミ始メテ之ヲ計畫スルコトヲ得ヘキモノナルハ余ノ

既ニ汎論ニ於テ詳述シタル所ナリ然ルニ違警罪ハ之ニ反シテ全ク社會ノ利益ヲ
 増進シ地方ノ平安ヲ保維スルヲ以テ其目的トシ犯人カ正義ヲ傷害シ權利ヲ毀損
 シタルノ大小及惡意ノ輕重ニ從ヒ刑罰ヲ以テ之ニ反坐スルモノニアラス是即チ
 違警罪ハ過失怠慢ニ係ルモノヲ罰シ惡意ノ有無ヲ問ハサルコト多キ所以ナリ是
 故ニ重罪輕罪タル性質ヲ有スヘキ違警罪ヲ設クルコトヲ得ス彼ノ普國刑法ニ於
 テ違警罪ヲ區別シ重罪ト等シク身體財産自由及名譽等ニ對スル違警罪ヲ列叙
 シタルハ全ク此罪ノ性質ヲ誤リタルモノニシテ識者ノ冷笑スル所ナリ例ハ刑
 法ノ欠典ヲ補充センカ爲メニ重罪又ハ輕罪ノ性質ヲ有スル犯罪ヲ違警罪トシテ
 所分シ或ハ毒殺罪ノ豫備ヲ罰センカ爲メニ違警罪ヲ設クルカ如キハ實ニ不當ノ
 甚シキモノナリ何トナレハ違警罪裁判所ニ於テ此所爲ヲ所分セントスルニハ必
 ス先ツ其豫備ノ目的トナリタル毒殺罪ノ事實ヲ審理セサルヲ得サルノ不都合ヲ
 生スルヲ以テナリ去レトモ安寧警察ノ目的ヲ達センカ爲メ夜間ニ刀劍等ヲ賣買
 スルヲ禁止シ或ハ醫師ノ證明ナクシテ毒藥ヲ賣買スルモノヲ罪スルカ如キハ一
 般ニ刀劍又ハ毒藥ノ所爲ヲ罰スルニ過キサルカ故ニ違警罪ノ性質ヲ害スルモノ

ニハアラサルナリ

(第二)公衆一般ノ安寧ヲ計畫スル場合ニ於テ各人ヲシテ必ス其規定ヲ遵奉セシメ
 サレハ其安寧ヲ維持スル能ハサルトキ例ハ流行病及火災警察ニ關スル規則ノ
 如キハ違警罪ノ制裁ヲ以テ之ヲ強制スルコトヲ得ヘシト雖モ唯モ唯地方一般ノ利益
 ヲ増進スルノ目的ニ出テタル規則ニシテ之ヲ遵守セサルモノハ自己ノ利益ヲ失
 ヒ又ハ之ヲ増進スルコト能ハサル場合ニ在テハ違警罪ヲ以テ其違犯者ヲ罰スル
 コトヲ得ス例ハ或商業上ノ利益ヲ目的トスル地方組合ニ加入ヲ命スル規則ノ
 如キ即チ是ナリ

(第三)凡ソ此刑法總則ニ於テ認メタル一般ノ原理ハ違警罪ニモ亦之ヲ適用スヘキ
 モノナレトモ其重罪ト相異ナル要點ヲ擧ケンニ

(一)内國及我治外法權ヲ及ホシ得ヘキ外國ニ於テ犯シタル違警罪ニアラサレハ
 其罪ヲ問フコトナシ

(二)違警罪ハ各地方ニ固有ナルモノアリテ全國ヲ通シ必スシモ同一ノ違警罪ア
 ルヘキモノニアラス

- (三) 附加刑ハ沒収ノ外違警罪ニ適用スルモノナシ然レトモ實際ニ於テハ沒収モ亦之ヲ違警罪ニ適用スルコトナキ慣例タルカ如シ
- (四) 違警罪ニハ假出獄及復權ヲ用ヒス又大赦及特赦ハ法律ニ明文ナシト雖モ實際之ヲ適用スルコトナカルヘシ
- (五) 違警罪ニ就テハ特別ノ不論罪宥減輕又ハ自首減輕ノ例ヲ適用セサレトモ其一般ノ不論罪ニ就テハ第八十三條ノ特例ヲ適用ス又違警罪ニ於テハ法律上財産ニ對スル罪アルコトヲ認メサルヲ以テ第八十六條及第八十九條ノ減等例ヲ適用スルコトナカルヘシ
- (六) 數罪俱發ハ第一百一條ノ特例ヲ適用シ再犯加重ハ第九十三條ノ特例ヲ適用ス
- (七) 違警罪ニ於テハ教唆者及從犯ナシ然レトモ幼者又ハ其他ノ不能力者ヲ教唆シ或ハ其從犯タルモノ、如キハ自ラ正犯タルモノニシテ共犯ノ例ヲ適用スヘキモノニアラス
- (八) 違警罪ノ未遂犯ハ之ヲ罰スルノ明文ナシト雖モ輕罪ノ刑ヨリ減等シテ違警罪ノ刑ニ下ルトキハ其減輕シタル結果ヲ以テ本刑トスルヤ否ヲ考察シ之ヲ

ニ

三三

刑典ニ於テ認メタル各種ノ違警罪

本刑トスル場合ニ在テハ數罪俱發及共犯等ハ違警罪ノ例ヲ適用スヘク若シ單ニ刑ノ減輕ニ止マリ之ヲ本刑トナサ、ル場合ニ在テハ其實際ニ於テ科スル所ノ刑ハ違警罪ノ刑ナルモ仍ホ輕罪ノ例ヲ適用セサルヘカラサルナリ

第二節 刑典ニ於テ認メタル各種ノ違警罪

我刑法ハ單ニ刑罰ノ輕重ニ依リ違警罪ヲ區分シテ五種トナシ(第一)五錢以上五十錢以下ノ科料(第二)一日ノ拘留又ハ十錢以上一圓以下ノ科料(第三)二日以上三日以下ノ拘留又ハ二十錢以上一圓二十五錢以下ノ科料(第四)二日以上五日以下ノ拘留又ハ五十錢以上一圓五十錢以下ノ科料(第五)三日以上十日以下ノ拘留又ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處スヘキモノトセリ夫レ斯ノ如ク僅カニ一日以上十日ノ拘留又ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ナル狹隘ノ範圍内ニ在リテ之ヲ五種ニ區分セルハ其計算ノ精密ナルヲ驚クノ外學理上毫モ感スヘキ所アルニアラス而シテ或學者ノ著書及普通刑法ニ依レハ違警罪ニ就テモ重罪及輕罪ノ類別ト同一ナル方法ヲ採用スレトモ是又違警罪ヲ以テ單ニ重罪若クハ輕罪ノ輕微ナルモノト同視スルノ謬見タルニ過キサルナリ故ニ予ハ罵詈嘲弄ノ罪(第四百二

十六條第十二項他人ノ牛馬其他ノ獸類ヲ解放スルノ罪他人ノ舟筏ヲ解放スル罪
官許ヲ得スシテ獸類ヲ官有地ニ放ツ等ノ罪第四百二十八條第八、十、十一項並ニ他
人ノ田野等ニ於テ菜葉ヲ採食シ他人ノ田園ヲ通行スル等ノ罪第四百二十九條第
九、十五、十六、十七、十八項ノ如キモノト雖モ他ノ重大ナル犯罪ヲ豫防スル等專ラ行
政上ノ目的ヨリ之ヲ罰スルモノトシ以下逐次現行法ノ規定ヲ示サントス

(第一)安寧警察ノ目的ニ出テタル違警罪ハ公ケノ危険ヲ豫防シ又ハ私權利ノ安全
ヲ保護スルモノヲ含蓄ス即チ左ノ如シ

規則ヲ遵守セスシテ火藥破烈質又ハ發火質ノ物品ヲ運搬シ又ハ貯藏シ官許ヲ得
スシテ烟火ヲ製造販賣シ又ハ之ヲ玩ヒ、蒸氣器械烟筒等ノ建造掃除ニ關スル規則
ニ違背シ崩壞セントスル家屋等ノ修理ヲ怠リ官許ヲ得スシテ死屍ヲ解剖シ自己
ノ所有地内ニ死屍アルコトヲ知テ官署ニ申告セス又ハ之ヲ他所ニ移ス等ノ所爲
(第四百二十五條第一、二、三、四、五、六、七、八、十一、十三項)人家等ノ近傍ニ於テ濫リニ火ヲ
焚キ水火等ノ變ニ際シ防禦スヘキ官令ヲ背セス、通路ノ危険ナル井溝等ニ防圍ヲ
爲サス、路上ニ於テ獸類ヲ嘯シ又ハ驚逸セシメ發狂人ノ看守ヲ怠リ路上ニ徘徊セ

シメ狂犬猛獸等ヲ路上ニ放チ變死人ノ檢視ヲ受ケスシテ埋葬スル等ノ所爲第四
百二十六條第一、二、五、六、七、八、九項)車馬ヲ疾驅シテ行人ヲ妨害シ、制止ニ背キ群衆ノ
場所へ車馬ヲ牽キ入レ夜中無提燈ニテ車馬ヲ疾驅シ出入ヲ禁シタル場所ニ出入
シ及ヒ路上ノ常燈ヲ消ス等ノ所爲(第四百三十七條第二、三項及第四百二十九條第
九、十三項)等

(第二)營業警察ノ目的ニ出テタル違警罪ハ警察規則ニ違背シテ商工ノ業ヲ爲シ或
ハ官署ヨリ價額ヲ定メタル物品ヲ定價以上ニ販賣スル等ノ所爲(第四百二十七條
第八項、第四百二十八條第一項)ヲ包含ス

(第三)健康警察ハ衛生並ニ醫事ニ關スル行政ヲ指示スルモノニシテ此種ニ屬スル
違警罪ハ即チ左ノ如シ

健康保護又ハ傳染病豫防規則ニ違背シ不熟ノ果物又ハ腐敗シタル飲食物ヲ販賣
シ、禽獸ノ死屍ヲ道路ニ棄擲シ、醫師穩婆等故ナク急病人ノ招キニ應セス、死亡ノ申
告ヲ爲サスシテ埋葬シ、溝渠下水ヲ毀損シ又ハ之ヲ浚ハサルノ所爲等(第四百二十
六條第三、四項、第四百二十七條第六、七、九、十項、第四百二十八條第六項)

(第四)建築警察及交通警察ノ目的ニ出テタル違警罪ハ左ノモノヲ含蓄ス
 木石ヲ道路ニ堆積シ又ハ棄擲シ、私有地外ニ家屋牆壁等ヲ設ケ、官許ヲ得スシテ路傍又ハ河岸ニ床店等ヲ開キ、路上ノ植木市街ノ常燈又ハ公示シタル通行禁止及指道標ヲ毀損シ、渡船橋梁等ニ於テ定額以上ノ通行錢ヲ取り又ハ通行ヲ妨ケ或ハ濫リニ之ヲ通行シ、制止ヲ肯セスシテ路傍ニ露店ヲ出シ、橋梁又ハ堤防ノ害トナルヘキ場所ニ舟筏ヲ繫キ道路ニ牛馬諸車又ハ木石等ヲ放擲シテ通行人ヲ妨ケ又ハ水路ニ舟ヲ並ヘテ通船ヲ妨害シ、道路ニ氷雪等ヲ投棄シ又ハ通路ノ掃除ヲ怠ル等ノ所爲(第四百二十七條第四、五、十三、十四、十五、十六項第四百二十八條第二、三、七項第四百二十九條第一項乃至十項)

(第五)風俗警察ノ目的ニ出テタル違警罪ハ左ノモノヲ含蓄ス
 密賣淫又ハ其媒合容止ヲ爲シ、定リタル住居ナシ又常業ナシシテ諸方ニ徘徊シ、違警罪ノ犯人ヲ曲庇シ、墓碑神佛ヲ汚損シ、流言浮説ヲ爲シ、又ハ符呪等ヲ以テ人ヲ惑シ路上ニ於テ賭博ニ類スル商業ヲ爲シ其他道路ニ於テ放歌高聲ヲ發シ又ハ酩酊前シテ路上ニ喧噪シ若クハ醉臥スル等ノ罪(第四百二十五條第十、十二、十四項第四百

刑典以外ノ違警罪

二十六條第十、十一項第四百二十七條第十一、十二項第四百二十八條第四、九項第四百二十九條第十一、第十二項

第三節 刑典以外ノ違警罪

此刑法ニ定メタルモノ、外尙ホ他ノ法律及中央又ハ地方行政官省ノ達令閣令省令府縣令市條例ヲ以テ規定シタル違警罪甚タ數多ナリトス刑法第四百三十條ハ單ニ地方ノ便宜ニ依リ規定スル所ノ違警罪ヲ犯シタルモノハ其罰則ニ從テ處斷スト云ヒ中央官署ノ定メタル違警罪ニ就テハ明言スル所ナシト雖モ中央權ト地方權トヲ問ハス總テ行政官衙ノ達令ヲ以テ規定スヘキ違警罪目ハ左ノ原則ニ從フヘキモノトス

(第一)達令制定權ハ法律ノ明許又ハ默許ニ依リ始メテ中央若クハ地方官廳ニ歸スヘキモノナレトモ達令自身ハ敢テ主權者ノ認可ヲ經タルモノニアラサルナリ故ニ法律即チ主權者ノ認可セル規則ト達令トハ互ニ抵觸スルコトアルモ、時ノ後ナルモノハ時ノ前ナルモノニ勝ツト云フ原則ヲ適用スルコト能ハス必ス達令ヲ以テ其効力ナキモノトナシ裁判官ハ之ヲ無効トスルノ裁判ヲ下スコトヲ得ヘシ

(第二)法律ノ明許ニ出テタル違令規則ハ如何ナル事項ト雖其許與セラレタル權内ニ屬スル以上ハ之ヲ制定スルコトヲ得レトモ其黙諾ニ出テタル場合ハ行政警察ノ範圍ニ屬スヘキ事項ニアラサレハ違令規則ヲ制定スルコト能ハサルモノト推測スルヲ以テ當然トス彼ノ市條例ニ科料ノ制裁ヲ附スルコトヲ得ヘキハ法律ノ明文ヲ以テ許容スル所ナリト雖モ地方ノ便宜ニ基キ規定スル所ノ其他ノ違警罪ハ法律ノ黙許ニ出ツルモノナリ前ニ述ヘタル刑法第四百三十條ハ單ニ法律ニ於テ地方ニ黙許シタル違警罪ヲ處分スルノ例ヲ定メタルニ止リ同條ヲ以テ万般ノ違警罪ヲ設定スルノ權ヲ地方官署ニ委任シタルモノニアラス是ヲ以テ前ノ總說ニ於テ論述シタル原則ニ反對セル違警罪ヲ設クルカ如キハ行政警察ノ目的ニ出ツルモノニアラサルカ故ニ地方官廳ノ權内ニアラス

(第三)刑法ノ規定セル違警罪ト地方ノ違警罪トノ關係ハ之ヲ分解スルコト容易ナリ若シ地方官署ニシテ既ニ刑法ニ規定シタル違警罪ニ付刑法ノ刑ニ異リタル刑罰ヲ設ケ或ハ同一ナル刑ヲ設ケタルトキハ該地方官署ノ規定シタル違警罪ハ無効ナルヲ以テ裁判官ハ地方規則ノ規定ヲ顧ミルコトナシ單ニ刑法ノ正條ヲ適用

スルニ止マルヘシ例ヘハ刑法第四百二十六條第四項ニ於テ健康ヲ保護スル爲メ設定シタル規則ニ違背シタル者ハ二日以上五目以下ノ拘留ニ處シ又ハ五十錢以上一圓五十錢以下ノ科料ニ處スヘキコトヲ規定スルニ拘ハラズ地方ニ於テ此規則ヲ設ケ其制裁トシテ刑法ト同シキ違警罪刑ヲ定メ或ハ之ト異ナリタル刑ヲ設ケタルトキハ刑法ノ定メタル刑ヨリ重ク若クハ輕キトキハ勿論刑法ノ刑ノ範圍内ニ於テ別ニ適當ノ刑ヲ定メ又ハ拘留ノミニニ處シ若クハ科料ノミニニ處スヘキコトヲ定メタルトキト雖モ其地方違警罪目ハ何等ノ効力ヲモ有スルモノニアラス其理由タル刑法第四百三十條ハ刑法ニ規定シタル以外ノ事項ニ關スル地方違警罪ノミニヲ認ムルニ過キス又地方違警罪刑ニシテ刑法ト輕重ノ差違アルトキハ現ニ刑法ノ規定ヲ破ルモノタルヘシ又其範圍内ニ於テ別ニ刑罰ヲ定メ又ハ拘留ノミニニ處シ若クハ科料ノミニニ處スルコトヲ規定シタルトキハ刑法ノ定メタル刑ノ範圍内ニ於テハ裁判官ノ恩料ニ從ヒ自由ニ刑罰ノ適用ヲ爲スコトヲ得ヘキ裁判官ノ權力ヲ減縮シ行政權ニ依テ司法權ヲ拘束スルモノトナレハナリ

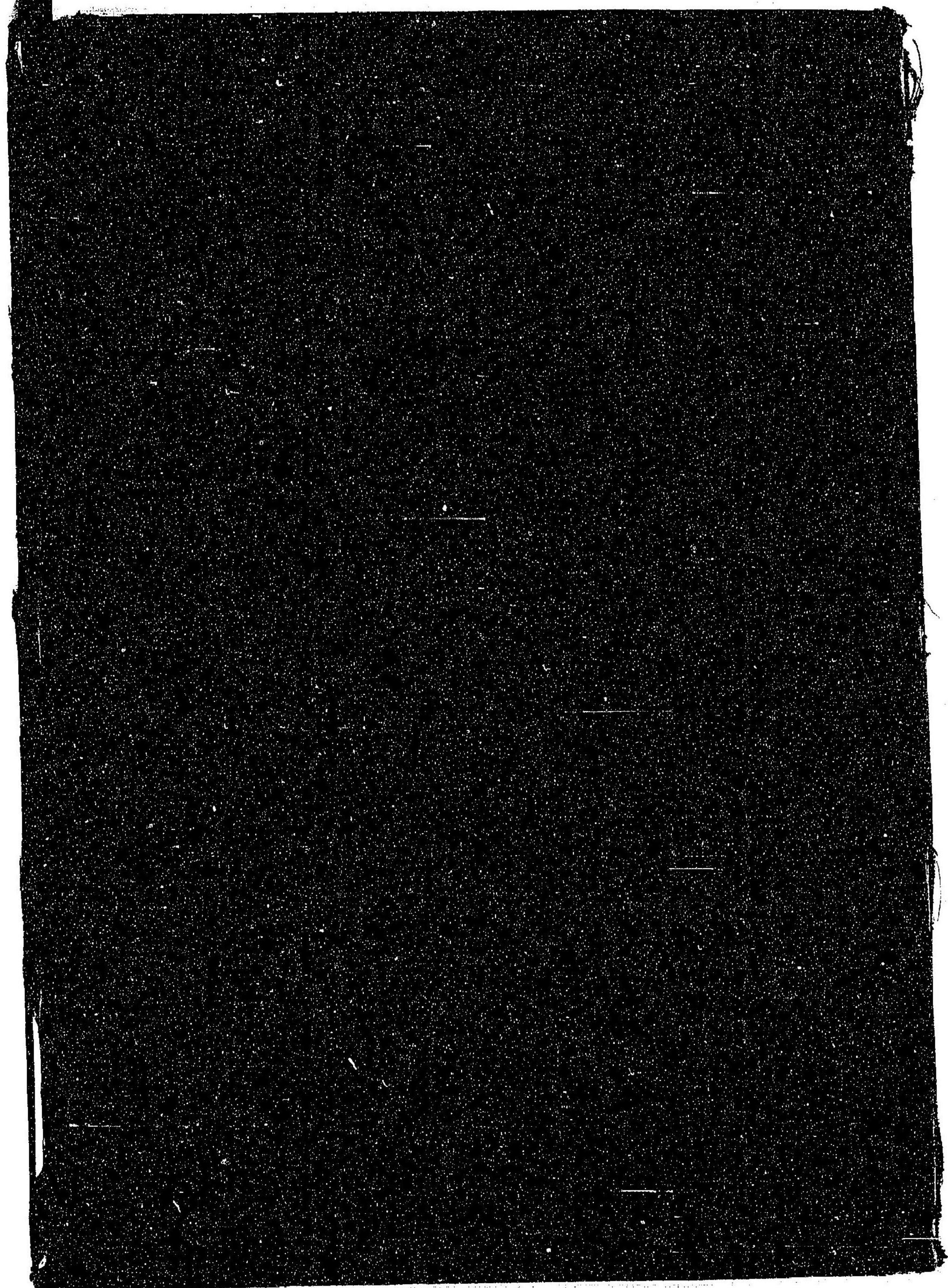
(第四)法律ノ黙諾ニ依リ地方ニ於テ制定スルコトヲ得ヘキ違警罪ハ必ス右ノ如ク

法律若シハ刑法ニ於テ既ニ定メタル以外ノ事項ニ属スルコトヲ要シ若シ地方違
 警罪ヲ以テ同一事ニ付キ法律ト同一ノ規定ヲ爲シ又ハ之ト輕重ノ差異アル刑罰
 ナ規定シタルトキハ法官ハ常ニ法律ヲ適用スヘキモノニシテ地方ノ違令ヲ適用
 スルコトアルヘカラス例ヘハ地方ニ於テ第四百二十八條第五項ノ劇場規則ヲ設
 ケ同條ト同一ノ刑ニ處シ又ハ之ト異リタル一種ノ刑ニ處スヘキコトヲ規定スル
 モ其制裁ハ第四百二十八條ノ制裁タルニ止リ地方違令ノ制裁ニアラス然レトモ
 地方官署ニシテ一ノ規則ヲ設定シタルニ其制裁ニシテ既ニ刑法ニ明定シタルモ
 ノナルトキハ其規則ハ刑法ノ制裁アルヘキコトヲ明解スルコトヲ妨ケス地方違
 令ノ末ニ於テ此規則ニ違背シタルモノハ刑法第何條ニ由リ所罰セラルヘシトノ
 一條ヲ設クルハ吾人ノ往々見ル所ニシテ斯ノ如キ注意ハ頗ル無用ニ属スルカ如
 シト雖モ亦大ニ緊要ノ關係ヲ及ホスモノアリ例ヘハ地方ニ於テ健康ヲ保護スル
 爲メ數十條ノ規則ヲ規定シタルコトアリトセンニ或ハ其條中眞ニ健康ヲ保護ス
 ルニ必要ナラサルモノアルヘク或ハ全ク他ノ關係ヨリ其規則中ニ包含セシメタ
 ルモノアルヘシ而シテ地方廳ハ尙ホ此等ノ條ニ就テモ其違反者ハ刑法第四百二

十六條第四項ノ刑ニ處セラルヘキコトヲ規定シタルトキハ地方廳ハ此等ノ條ヲ
 以テ事實上健康ヲ保護スルニ必要ナル規則ト認定セルヤ明カナリ然ルニ法官ニ
 シテ之ヲ行政上ニ必要ナラストシ以テ其効力ナキモノトスルコトアラハ是實ニ
 司法權ヲシテ行政權ヲ蹂躪セシムルノ端緒ヲ啓クモノト云ハサルヲ得又其規
 則ノ果シテ健康ヲ保護スルニ必要ナルモノナリヤ否ノ事實ヲ決定スルハ地方官
 廳ノ權内ニ在リ上等ノ行政官署ヨリ其規則ノ取消ヲ命令スルニアラサル以上ハ
 法官ハ決シテ其事實ヲ争フコトヲ得ス畢竟スルニ行政上ノ必要アリト否サルト
 ハ行政官ノ判定ニ一任スヘキモノニシテ他ニ亦之ヲ決スルモノナカルヘシ

日本刑法(完)

14
336



14

336ハ

036112-000-9

14-336ハ

日本刑法 各論之部

江木 衷/述

[M23?]

BBP-0767



